VSP4530B プリンタ装置

取扱説明書



安全な使用のために

このマニュアルの取り扱いについて

このマニュアルには、当製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。当製品を使 用になる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアルに記載されている『安全上の注 意事項』をよく読み、理解された上で当製品をご使用ください。また、このマニュアルは、当製品の使用中、 いつでも参照できるように大切に保管してください。

富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を 払っております。当製品を使用する際は、本マニュアルの説明に従ってください。

はじめに

VSP4530Bプリンタ装置は、グローバルサーバ、ビジネスサーバ(PRIMERGY 6000、SPARC Enterprise、 PRIMEPOWER、富士通 S series、PRIMEQUEST)に加えWindowsアプリケーションから印刷することが可能なVSP (Virtual System Printer)の小型、卓上型のカット紙レーザプリンタです。

本書は、本装置を使用するシステム設計者およびオペレータの手引きにすることを目的として解説したものです。

本書の内容についてよくご理解いただいた上でご使用ください。特に、オペレータの方は「第3章 操作説 明」をご一読の上ご使用ください。

2015年4月

警告表示について

本書では、お客様の身体や財産に損害を与えないよう、以下の警告表示をしています。



「▲警告」は、正しくご使用にならない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示して います。



「▲注意」は、正しくご使用にならない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、 当該製品自身またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業などの一般的用途を想定し て設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行 制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機 器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮 に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以 下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではござい ません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すこと なく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社 の担当営業までご相談ください。

この製品は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を 引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本製品は、日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。 したがって、日本国外でのご使用はできません。

部品故障に伴う交換を行う場合、保守員により設定情報の反映を行いますが、お客様に て設定された内容等、完全に反映できない場合があります。 その際は設定情報のご確認、再設定をお願いいたします。 またファームウェアについても、ご了承をいただいた上で最新版を適用させていただく 場合があります。

すべての SPARC 商標は、SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米 国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc.の米国およびその 他の国における登録商標あるいは商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国および その他の国における登録商標または商標です。

その他各種製品名は、各社の製品名称、商標または登録商標です。

本書に記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示((R)、TM)を付記していません。

※Oracle Solarisを、本書では『Solaris』、『Solarisオペレーティングシステム』、『Solaris Operating System』、『Solaris OS』と記載することがあります。

警告マークについて

本書では、安全上の注意事項を記述した箇所に、警告表示と共にその内容を示す警告マークを配置して一目で分かるように配慮しています。

使用している警告マークの意味は以下のとおりです。内容をよく理解した上で、お読みください。



感電する危険性について記述していることを示します。



高温による障害の危険性について記述していることを示します。



発火する危険性について記述していることを示します。



触れることによって障害が起こる可能性について記述していることを示します。



一般的な禁止事項を記述していることを示します。



一般的な注意事項を記述していることを示します。

安全上の注意事項

安全に関する注意事項を説明します。

(1) 表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財 産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようにな っています。



(2) 使用環境について

使用環境について守っていただきたいことを説明します。

▲警告	\bigcirc	 ・機械の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。 ・この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。 ・梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないように、注意してください。 窒息の原因になります。
▲注意	\bigcirc	 ・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や 感電の原因になります。 ・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に 置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの 原因になります。 ・直射日光のあたる場所への設置や炎天下の車内など、高 温になる場所に長時間放置は避けてください。動作不良 や故障の原因となります。
	0	 ・換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用する ときや、大量の印刷を行うときには、部屋の換気を十分 に行ってください。

(3) 電源プラグ、電源ケーブルの取り扱いについて

電源プラグ、電源ケーブルの取り扱いについて守っていただきたいことを説明します。

▲ 警告	\bigcirc	 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。 また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因 になります。 延長コードの使用は避けてください。 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工 しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱった り、無理に曲げたりすると電源ケーブルをいため、火災や 感電の原因になります。 電源プラグの刃に金属などが触れると火災や感電の原因 になります。
		 ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
	0	 ・同梱されている電源ケーブルは本装置専用です。本装置以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている 電源ケーブル以外の電源ケーブルは、本装置には使用しないでください。火災や感電の原因になります。
▲注意		 ・連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず 電源プラグをコンセントから抜いてください。 ・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いて ください。電源ケーブルを引っぱらないでください。コー ドが傷つき、火災や感電の原因になります。 ・お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントか ら抜いてください。
	0	 ・電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグ 差込み部を清掃してください。ほこりがたまると、火災の 原因になります。

(4) 本体の取り扱いについて

本体の取り扱いについて守っていただきたいことを説明します。

本体的成功放风		
▲ 警告		 ・機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。 ・電源ケーブルがいたんだり、芯線の露出・断線などが見られる場合は保守員に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
		 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そして保守員に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて保守員に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
▲ 注意		 ・機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
	0	 移動・移設を行うときは、保守員にご連絡ください。 構成変更を行うときは、保守員にご連絡ください。
		 オプションの取り付け、取り外しは、プリンタの主電源スイ ッチが切れていて、プリンタ本体が常温であることを確認し てから行ってください。やけどの原因になります。

(5) 機械内部の取り扱いについて

機械内部の取り扱いについて守っていただきたいことを説明します。

▲ 警告		 ・本書で指定している部分以外のカバーやネジは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザ光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理は保守員に依頼してください。 ・この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザ放射により失明のおそれがあります。
▲ 注意		 ・機械内部には高温の部分があります。用紙づまりの処置の際は、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。 ・レジストローラー周辺の清掃は、プリンタの電源が切れていて、プリンタ本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。
	\bigcirc	 用紙を送るためのローラー、コロ等が機械動作中は、回転していますので機械動作中は、触れないようご注意ください。
	0	 ・定着ユニットは高温になります。定着ユニットを取り外す際は、両面ユニットを引き出してから1時間以上待ち、定着ユニットが常温になってから行ってください。やけどの原因になります。

(6) 心臓ペースメーカーをお使いの方へ

心臓ペースメーカーをお使いの方に守っていただきたいことを説明します。



・機械から微弱な磁気が出ています。植え込み型医療機器(心臓ペースメーカーおよび除細動器)をご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。

(7) 消耗品の取り扱いについて

消耗品の取り扱いについて守っていただきたいことを説明します。

▲ 警告		 トナー(使用済みトナーを含む)または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。 使用済みの部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。 トナー(使用済みトナーを含む)または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。ロや鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。
▲ 注意	\bigcirc	 ステープル針が付いたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン 含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原 因になります。
		 ・プリントユニットは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。 ・トナー(使用済みトナーを含む)を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。 ・トナー(使用済みトナーを含む)が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。 ・トナー(使用済みトナーを含む)を飲み込んだ場合は、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。 ・トナー(使用済みトナーを含む)を飲み込んだ場合は、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。 ・用紙づまりの処置やプリントユニットを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚に付いた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。トナーが手などの皮膚に付いた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。 ・衣服に付いた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。 ・使用済みのプリントユニットは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください ・プリントユニットを無理に開けないでください。トナーが飛び散った場合、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。
		・用紙交換の際、指はさみ、指のけがにご注意ください。

(8) 安全に関する本装置の表示について

本装置に表示されている安全に関する情報です。

◆ 警告、注意のラベル位置

本装置には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、**①警告**、**①注意**のラベルがあります。 表示に従って安全にお使いください。



① トナーの操作注意



トナー(使用済みトナーを含む)または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにし てください。

② トナーの火中投棄警告



トナーまたはトナーの入った容器を直接焼却炉等の火中に投入しないでください。やけどをする おそれがあります。

③ 定着ユニットの高温注意(プリントユニットと定着ユニットの間にある遮へい板に貼られています)



(機械内部には)高温の部分があります。このラベルが貼ってある周辺には触れないでください。 やけど(けが)の原因になります。 ④ 定着ユニットの高温注意(本体排出ロカバーを開けたところから見える定着ユニットに貼られています)



(機械内部には)高温の部分があります。このラベルが貼ってある周辺には触れないでください。 やけど(けが)の原因になります。

⑤ 本体重量注意



機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を2人で持ち、ゆっくりと体に負担がか からない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、 けがの原因になります。

⑥ 定着ユニットの高温注意



(機械内部には)高温の部分があります。このラベルが貼ってある周辺には触れないでください。 やけど(けが)の原因になります。

(9) 主電源スイッチの記号について

本装置の主電源スイッチに記されている記号の意味は以下のとおりです。

- ・
 : 電源オン
- ・〇:電源オフ

	-	
	1	
_	•	
	1	

次

は	Ľ	め	に		 •••	 	 	•••	•••	 ••	 	 	 •••	•••	 •••	•••	•••	•••	 •••	 •••	 	•••		i
警告	7-	・クに	ついて	τ.	 •••	 	 	••	•••	 	 	 	 •••	•••	 	•••		•••	 •••	 •••	 	•••	 . i	iii
安全	上の	注意	事項		 •••	 	 		•••	 	 	 	 •••	•••	 	•••		•••	 •••	 •••	 	•••	 . i	iv

第	1章	概	要1
1	.1	概	要
1	. 2	接	続形態と装置構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	1.2	. 1	Windowsサーバ(Windows Server 2003/Server 2008)接続2
	1.2	2.2	Unix(Solaris)サーバ(SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通 S series)接続
	1.2	2.3	PRIMERGY 6000接続
	1.2	. 4	Windows PC (Windows XP/Vista/7) 接続5
	1.2	2.5	Linux接続5
	1.2	2.6	LAN接続時の設定一覧 6
	1.2	2.7	各部の名称とはたらき
1	. 3	装	置仕様
	1.3	5.1	基本仕様12
	1.3	5.2	66XXエミュレーション機能仕様 14
	1.3	3.3	69XXエミュレーション機能仕様 15
	1.3	8.4	FMエミュレーション機能仕様 16
	1.3	5.5	FNPエミュレーション機能仕様 17
1	.4	オ	プション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
	1.4	. 1	オプション
	1.4	. 2	オプションの仕様
	1.4	. 3	オプションと論理プリンタ設定数 19
1	. 5	複	数の論理プリンタを定義した場合の排紙について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
	1.5	5.1	NMC代替連携を行う(HOST PRINT <vspサービス>またはNetcompo<nmcサーバ>からの印刷を行う)場合20</nmcサーバ></vspサービス>
	1.5	5.2	NMC代替連携を行わない(サポートサーバ= "6680-NMC"の論理プリンタを設定しない)場合 20
1	. 6	66	80-NMC 優先印刷と割込み印刷機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	1.6	5.1	6680-NMC優先印刷について
	1.6	5.2	割込み印刷機能について
	1.6	5.3	割込み印刷の操作手順
	1.6	5.4	6680-NMC優先状態および割込み印刷時の注意事項
1	. 7	Wi	ndows 環境で使用するソフトウェア・・・・・ 25
	1.7	. 1	VSPリクエスタ
	1.7	. 2	VSP4530Bプリンタドライバ
	1.7	. 3	PrintWalker/PM
	1.7	. 4	PrintWalker/RS_Light
	1.7	. 5	外字フォント登録コマンド
	1.7	. 6	ポート構成コマンド
	1.7	. 7	PrintWalker/EM
1	. 8	Un	ix(Solaris)/Linux 環境で使用するソフトウェア ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
	1.8	8.1	PrintWalker/BPC

1.8	. 2	PrintWalker/LXE	26
1.9	泊	t意事項······	$\cdot \cdot 27$
1.9	. 1	バーコード印刷について	27
1.9	. 2	二次元コード (QRコード/マイクロQRコード) について	27
1.9	. 3	スイッチングハブとの接続について	29
1.9	.4	その他の注意事項	29
労の音	泸		9 9
宄 4 早	4	۳0H	
2.1	片		·· 33
2.1	. 1	使用できる用紙の種類とサイズ	33
2.1	.2	用紙の種類ごとの注意	35
2.1	. 3	印刷保証範囲	36
2.2	厈	1紙をセットする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 37
2.3	霍	電源ケーブルと LAN ケーブルの接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	$\cdot \cdot 51$
2.3	. 1	電源ケーブルの接続	51
2.3	. 2	LANケーブルの接続	51
笛 9 音	坮	品/在111日	53
始り早	19		55
3.1	律	『源の投入と切断・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	53
3.1	.1	電源の投入	53
3.1	.2	電源の切断	53
3.2	揁	操作パネルの配置と機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	$\cdot \cdot 54$
3.2	. 1	操作パネルの配置	54
3.3	重	カ作モードと操作パネル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	$\cdot \cdot 62$
3.3	. 1	動作モード	62
3.3	. 2	共通スタート画面	64
3.3	. 3	共通ストップ画面	65
3.3	.4	66XX・69XXスタート画面(エミュレーション個別画面)	71
3.3	. 5	66XX・69XXストップ画面(エミュレーション個別画面)	72
3.3	. 6	FM/FNPオンライン画面(エミュレーション個別画面)	73
3.3	. 7	FM/FNPオフライン画面(エミュレーション個別画面)	77
3.4	共	≒通セットアップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 78
3.4	. 1		79
3.4	. 2	メニュー画面	80
3.4	. 3	テストプリント(共通設定→1.テストプリント)	81
3.4	.4	濃度設定(共通設定→2. 濃度設定)	83
3.4	. 5	カール抑制設定(共通設定→3.カール抑制設定)	84
3.4	. 6	消耗品(共通設定→4. 消耗品)	85
3.4	. 7	ブザー音設定(共通設定→5.ブザー音設定)	86
3.4	. 8	GS1-128設定(共通設定→6.GS1-128設定)	87
3.4	. 9	プリントカウンタ(共通設定→7. プリントカウンタ)	88
3.4	. 10	手差し設定(共通設定→8. 手差し設定)	89
3.4	. 11	環境設定(共通設定→9.環境設定)	91
3.4	. 12	設定印刷(共通設定→9.環境設定→1.設定印刷)	93
3.4	. 13	環境初期化(共通設定→9.環境設定→2.環境初期化)	97
3.4	. 14	装置環境(共通設定→9.環境設定→3.装置環境)	99
3.4	. 15	管理コード(共通設定→9. 環境設定→3. 装置環境→1. 管理コード)	. 100
3.4	. 16	日付/時間設定(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→2.日付/時間)	. 101
3.4	. 17	MACアドレス(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→3.MACアドレス)	. 102

・トワーク設定(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→4.ネットワーク設定)	103
-タレート(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→5.データレート)	112
5-LINK (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK)	113
/ンネーム(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→7.マシンネーム)	126
NMP (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→8.SNMP)	127
- ネモード設定(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→9.省エネモード)	137
↓揃え設定(共通設定→9. 環境設定→3. 装置環境→10. 綴じ揃え設定)	139
! プリンタ(共通設定→9. 環境設定→4. 論理プリンタ)	140
役入時の論理プリンタ設定変更について	152
リンタセットアップ (66XX/69XX) ·····	154
- ユー 画 面 (66XX、69XXエミュレーション 個別設定)	155
パ設定 (66XX、69XXエミュレーション個別設定→1.ホッパ)	156
~ージンク機能設定(66XX、69XXエミュレーション値別設定→3.スムージンク)	158
リンタセットアップ (FM) ・・・・・	159
	160
- ユー 画面(FMエミュレーション個別設定)	161
- ユー印刷(FMエミュレーション個別設定→1. メーユー印刷)	164
記定 (FMエミュレーション個別設定→2. 保境設定)	104
h機能 (FMエミュレーション個別設定→4 補助機能)	186
k (FMエミュレーション個別設定→5. 登録)	193
アップ一階・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	194
/ / / 元	201
90 姥続すろための其太設定	201
- トウェイについての補足	212
P機能について	214
のた場	917
	217
トユニットを父操する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	219
生時の操作	223
入らない、印刷が始まらないとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	223
印刷できないとき・・・・・・	224
いいに印刷できないとき	224
モがうまくいかないとき	226
h	228
レイでの用紙フル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	229
ぎまり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	230
まりが発生したとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	232
テーコードが、90-01~02、91-11~16の場合(用紙づまり 11)	234
ラーコードが、90-03,91-18,21,22の場合(用紙づまり 2)	236
テーコードが、90-04,05、91-19,20,31の場合(用紙づまり 3)	239
テーコードが、90-06~08、91-17,32~36の場合(用紙づまり 4)	243
臣し印刷時に用紙づまりが発生した場合(用紙づまり 5)	246
カバーオープン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	250
トオープン ・・・・・	251
ーロックエラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	252
ータの異常(66XX・69XX時)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	254
	xiii
	トリーク設定(共通設定ー9.環境設定-3.装置環境-6.DS-L1NK) ーし1NK(共通設定-9.環境設定-3.装置環境-6.DS-L1NK) ハンネーム(共通設定-9.環境設定-3.装置環境-6.DS-L1NK) ハンネーム(共通設定-9.環境設定-3.装置環境-6.DS-L1NK) ハネモード設定(共通設定-9.環境設定-3.装置環境-0.1 線じ描え設定) パマリンタ(共通設定-9.環境設定-3.装置環境-0.1 線じ描え設定) パマリンタ(共通設定-9.環境設定-3.装置環境-0.1 線じ描え設定) パマリンタ(共通設定-9.環境設定-3.装置環境-0.1 線しば法設定) パマリンタ(共通設定-9.環境設定-3.装置環境-0.1 線しば加え設定) パマリンタ(大通設定-9.環境設定-3.装置環境の-0.1 線しい リンタセットアップ(66XX)(69XX) ユー両面(64X, 69XXエミュレーション個別設定) パ設定(66XX, 69XXエミュレーション個別設定) パ設定(66XX, 69XXエミュレーション個別設定) パジング(機能設定(66XX, 69XXエミュレーション個別設定) ニーー両面(FMエミュレーション(個別設定) パング パンジークジーク(の) 遭後 ニュー印刷(Mエミュレーション(個別設定) パンドラン(個別設定) パンドロレジョン(個別設定) パンドマン(1) パンドマン(1)

5.11	メカ系の障害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	255
5.12	ハードウェアの障害 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	256
5.13	I Pアドレス設定異常 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	257
5.14	消耗部品メッセージ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	258
5.15	消耗品の劣化(プリントユニット)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	260
5.16	SNDCGに関する異常(69XX時)	261
5.17	リクエスタサーバ接続異常(66XX時) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	262
5.18	プリントユニット異常 ・・・・・・	263
5.18	.1 非純正品のプリントユニットを使用した場合	263
5.18	.2 再充填品のプリントユニットを使用した場合	264
第6章	用紙仕様および帳票設計	265
6.1	用紙の規格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	265
6.2	特殊用紙の取り扱いと制約事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	267
6.3	再生紙の取り扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	267
6.4	用紙の取り扱いと保管 ・・・・・・	268
6.4.1	用紙の取り扱い上の注意	268
6.4.2	2 用紙の保管上の注意	268
6.4.3	3 使用できない用紙	269
6.5	- 帳 県 設 計 上 の 注 怠 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	270
6.5.2	·	270
		0.54
第7章	消耗品	271
7.1	消耗品·····	271
第8章	設置諸元	273
8.1	設置仕様·····	273
8.2	外形寸法と保守スペース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	274
第9章	使用上の注意	277
9.1	使用上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	277
9.2	廃棄· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	280
9.3	受信障害	280
9.4	移動、移設·····	280
第 10 章	清掃	281
10.1	清掃するときの注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	281
10.2	フリクションパッドを清掃する ・・・・・	282
10.3	給紙コロを清掃する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	283
10.4	レジストローラー周辺を清掃する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	285
付禄 1	メッセージー幣	901
日本11	ノノこ 、 売	291 201
	四市影下	291
[]]].∠	大地クトソノ 回田 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	293
竹丁 1.3	共品 / ツビーン (消れ in) · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	294
1丁 1.4		295

	付 1.5	異常メッセージ (オペレータコール) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	297
	付1.6	異常メッセージ(メカエラー CE コール)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	299
	付1.7	異常メッセージ(電源投入時/通常動作中) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	300
	付1.8	異常メッセージ(セットアップ) ・・・・・	301
	付録 2	PrintWalker/RS_Light のご紹介	303
	付 2.1	装置パネル表示-PrintWalker/RS_Light 状態表示 対応表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	304
1	付録3	リモート電源制御機能	311
1	付録 4	外字登録 (TrueType) ツールのご紹介	313
	付4.1	インストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	313
	付4.2	動作概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	313
	付4.3	外字フォントファイルの登録手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	314
	付4.3	3.1 外字の作成	314
	付4.3	3.2 登録情報定義ファイルの作成	314
	付4.3	3.3 登録コマンドにより外字フォントをプリンタ装置へ登録	317
	付4.4	コマンド起動形式・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	318
	付 4.5	メッセージ一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	319
	付4.5	5.1 登録動作時に表示するメッセージ	319
	付4.5	5.2 削除動作時に表示するメッセージ	320
	付4.5	5.3 確認動作時に表示するメッセージ	320
	付4.5	5.4 その他のメッセージ	321
1	付録 5	PrintWalker/LXE のご紹介	323
	付 5.1	PrintWalker/LXE の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	323
	付5.1	1 概要	323
	付5.1	2 機能	323
	付 5.2	動作環境 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	324
	付 5.3	システム構成	325
	付 5.4	留意事項 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	326
í	付録 6	リクエスタ未接続モード立ち上げ	327
	付 6.1	リクエスタ未接続モード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	327
	付 6.2	立ち上げ方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	327
	付 6.3	解除方法 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	327
	付 6.4	リクエスタ未接続モードでの注意事項・・・・・	328
1	付録 7	6680-NMC 未接続モード立ち上げ	329
	付 7.1	6680-NMC 未接続モード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	329
	付 7.2	立ち上げ方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	330
	付7.3	解除方法 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	330
	付7.4	6680-NMC 未接続モードでの注意事項 ・・・・・	331
,	付録 8	綴じ方向揃えについて	333

図目次

図 1.1	. 外 観	1
図 3.1	電源投入後の動作モード変化	63
図 3.2	2 ゲートウェイ	
図 3.3	3 ゲートウェイ接続の例	212
図 3.4	4 SNMP	
図 6.1	印刷領域	270
図 8.1	温湿度条件	273
図 8.2	2 外形寸法 〔単位:㎜〕	
図 8.3	3 本体設置スペース〔単位:㎜〕	
図 8.4	↓ 保守スペース〔単位:㎜〕	275

表目次

表 1.1	66XXエミュレーション機能仕様	14
表 1.2	69XXエミュレーション機能仕様	15
表 1.3	FMエミュレーション機能仕様	16
表 1.4	FNPエミュレーション機能仕様	17
表 5.1	エラーコード一覧表	231
表 6.1	推奨用紙	265
表 6.2	用紙の規格	266
表 7.1	消耗品	271
表 8.1	設置仕様	273

第1章 概要

本章では、本装置の概要、構成、動作概要、仕様、オプションおよびWindows環境で使用するソフ トウェアについて説明します。

1.1 概要

本装置は半導体レーザを使用した電子写真式の卓上型カット紙レーザプリンタであり、両面印刷機 構が搭載されています。A4サイズ・横送りで片面連続印刷時は毎分最大35枚、両面連続印刷時は毎分 最大16枚(32ページ)印刷を行うことができます。 本装置の外観を図1.1に示します。



図 1.1 外 観

1.2 接続形態と装置構成

本装置の接続形態、装置の構成、各部の名称について説明します。

1.2.1 Windowsサーバ(Windows Server 2003/Server 2008)接続



ホスト	サーバ			プリンタ	設定	備 老
<u> </u>	9		エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	取足	
GS/	PRIMERGY/	HOST PRINT	66XX	サポートサーバ:6680-NMC	1	
PRIMEFORCE	PRIMEQUEST	DS-LINK		伝送経路 :DS-LINK		
		HOST PRINT		サポートサーバ:6680-NMC	2	
	*1	TCP/IP		伝送経路 :TCP/IP		CC:声推挑进
		HOST PRINT		サホ [°] ートサーハ [*] :1pd	3	の運動機構
		lpd		伝送経路 :TCP/IP		オフションが必要
		HOST PRINT		サホ゜ートサーハ゛:	4	小心安
		PrintWalker		PrintWalker/PM		
		/PM		伝送経路:TCP/IP		
		TCP/IP				
PRIMERGY/		lpd	FM	サポートサーバ:1pd	9	
PRIMEQUEST		TCP/IP		伝送経路:TCP/IP		
*2		PrintWalker		サホ゜ートサーハ゛:	10	
*3		/PM		PrintWalker/PM		
		TCP/IP		伝送経路:TCP/IP		

カライアント	サーバ			プリンタ	設定	借	去
	2	<i>,</i> ,	エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路		VH	t.
PC	PRIMERGY/	lpd	FM	サポートサーバ:1pd	15		
	PRIMEQUEST	TCP/IP		伝送経路:TCP/IP			
*2		PrintWalke		サホ゜ートサーハ゛:	(16)		
	*3	/PM		PrintWalker/PM			
		TCP/IP		伝送経路:TCP/IP			

※ 本表の設定番号は、「1.2.6 LAN接続時の設定一覧」に対応しています。

*1) Itaniumサーバは接続できません。

*2) DOSアプリケーションからの直接印刷はできません。

*3) Windows Server 2003/Server 2008での1pd印刷は、OS標準機能のみサポートしています。

1.2.2 Unix(Solaris)サーバ(SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通 S series)接続



ホスト	サー	ーバ		プリンタ	設定	備考
		i	エミュレーション	₩ ->>> / 広达栓路		
GS	SPARC	Netcompo	66XX	サホ゜ートサーハ゛:6680-NMC	5	
PRIMEFORCE	Enterprise/	NMCサーハ゛		伝送経路 :DS-LINK		
	PRIMEPOWER/	DS-LINK				
	S series	Netcompo		サホ゜ートサーハ゛:6680-NMC	6	
		NMCサーハ		伝送経路 :TCP/IP		GS連携機構
	*1	TCP/IP				オプション
		PrintWalker		サホ゜ートサーハ゛:BSNPS	\overline{O}	が必要
		/BPC、Server		伝送経路 :TCP/IP		
		2000ホスト連携				
		プレミアム				
		TCP/IP				
SPARC	—	lpd	FM	サポートサーバ:1pd	(12)	
Enterprise/		TCP/IP		伝送経路 :TCP/IP		
PRIMEPOWER/						
S series		PrintWalker		サホ゜ートサーハ゛ :BSNPS	(13)	
		/BPC		伝送経路 :TCP/IP		
*1		TCP/IP				

クライアント	サーバ			プリンタ	設定	備	考
//////	·		エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路		1111	5
PC	SPARC	PrintWalker	FM	サホ゜ートサーハ゛:BSNPS	(17)		
	Enterprise/	/BPC		伝送経路:TCP/IP			
	PRIMEPOWER/	TCP/IP					
	S series						
	*1						

※ 本表の設定番号は、「1.2.6 LAN接続時の設定一覧」に対応しています。

*1) サポートOSは『Solaris 8 以降』です。

1.2.3 PRIMERGY 6000接続



オフト	サーバ			プリンタ	設定	借 老
			エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	成化	加一行
GS/	PRIMERGY	LAN7 [°] リンタ	69XX	サホ゜ートサーハ゛:BSNPS	8	拡張出力機構
PRIMEFORCE	6000	制御オプション		伝送経路:TCP/IP		オプションが必要
	TCP/IP					
	*1					
PRIMERGY	—	LANプリンタ		サホ゜ートサーハ゛:BSNPS	14)	拡張出力機構
6000		制御オプション		伝送経路:TCP/IP		オプションが必要
		TCP/IP				
*1						

カライマント	サーバ			プリンタ	設定	借 考
7747 7 F			エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	成化	加一行
PC	PRIMERGY 6000	LANプリンタ 制御オプション TCP/IP	69XX	サポートサーバ:BSNPS 伝送経路 :TCP/IP	18	拡張出力機構 オプションが必要
	*1					

※ 本表の設定番号は、「1.2.6 LAN接続時の設定一覧」に対応しています。

*1) サポートOSは『ASP V23以降』です。

1.2.4 Windows PC (Windows XP/Vista/7) 接続



 赤	スト	エミュレーション	設定	備	考	
Windows PC	PrintWalker/PM TCP/IP	FM	サボ ートサーハ : PrintWalker/PM 伝送経路:TCP/IP	19		
	lpd *1 TCP/IP		サポートサーバ:lpd 伝送経路:TCP/IP	20		

※ 本表の設定番号は、「1.2.6 LAN接続時の設定一覧」に対応しています。

*1) Windows XP/Vista/7での1pd印刷は、OS標準機能のみサポートしています。

1.2.5 Linux接続



ホスト				プリンタ	設定	備	去
			エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	取足	Vн	ل ،
PRIMERGY/		PrintWalker/LXE	FM	サホ゜ートサーハ゛:BSNPS	(1)		
PRIMEQUEST	*1	TCP/IP		伝送経路:TCP/IP			

※ 本表の設定番号は、「1.2.6 LAN接続時の設定一覧」に対応しています。

*1) Itaniumサーバは接続できません。

注) lpd 接続は未サポートです。

1.2.6 LAN接続時の設定一覧

以下に本装置を LAN 接続するための基本設定例を示します。 設定手順については「第3章3.4 共通セットアップ」を参照してください。 また、本表で示す設定番号の接続形態については「1.2.1~1.2.5項」を参照ください。

設定	ホスト/		サーバ		_	プリンタの設定
番号	クライアント	ハード	ソフト	フ゜ロトコル	-	ノリングの設定
1	GS/	PRIMERGY	HOST PRINT	DS-LINK	⇒	サホ゜ートサーハ゛: 6680-NMC
	PRIME-	PRIMEQUEST				伝送経路 : DS-LINK
	FORCE					エミュレーション : 66XX
2		*1		TCP/IP	⇒	サホ゜ートサーハ゛: 6680-NMC
						伝送経路 : TCP/IP
						エミュレーション : 66XX
3				lpd	⇒	サホ゜ートサーハ゛: 1pd
						伝送経路 : TCP/IP
						エミュレーション : 66XX
4			HOST PRINT	TCP/IP	⇒	サホ゜ートサーハ゛: PrintWalker/PM
			PrintWalker/PM			伝送経路 : TCP/IP
						エミュレーション : 66XX
5		SPARC Enterprise	Netcompo	DS-LINK	⇒	サホ゜ートサーハ゛: 6680-NMC
		PRIMEPOWER	NMC サーバ			伝送経路 : DS-LINK
		S series サーバ				エミュレーション : 66XX
6				TCP/IP	⇒	サホ゜ートサーハ゛: 6680-NMC
						伝送経路 : TCP/IP
						エミュレーション : 66XX
\overline{O}			PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇒	サホ゜ートサーハ゛: BSNPS
			、Server2000 ホスト			伝送経路 : TCP/IP
			連携プレミアム			エミュレーション : 66XX
8		PRIMERGY 6000	LANプリンタ制御	TCP/IP	⇒	サホ゜ートサーハ゛: BSNPS
			オフ゜ション			伝送経路 : TCP/IP
						エミュレーション : 69XX
9	PRIMERGY		lpd	TCP/IP	⇒	サホ゜ートサーハ゛: 1pd
	PRIMEQUEST	•				伝送経路 : TCP/IP
						エミュレーション : FM
10	*1		PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	サホ゜ートサーハ゛: PrintWalker/PM
						伝送経路 : TCP/IP
						エミュレーション : FM
(1)			PrintWalker/LXE	TCP/IP	⇒	サホ゜ートサーハ゛: BSNPS
						伝送経路 : TCP/IP
						エミュレーション : FM
12	SPARC Ente	rprise	lpd	TCP/IP	⇒	サホ゜ートサーハ゛: 1pd
	PRIMEPOWER					伝送経路 : TCP/IP
	S series サ	ーバ				エミュレーション : FM
13			PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇒	サホ゜ートサーハ゛: BSNPS
						伝送経路 : TCP/IP
						エミュレーション : FM
14	PRIMERGY 6	000	LANプリンタ制御	TCP/IP	⇒	サホ゜ートサーハ゛: BSNPS
			オフ゜ション			伝送経路 : TCP/IP
						エミュレーション : 69XX
				•	•	

(続く)

		-			-	
設定	ホスト/		サーバ		_	プリンタの設定
番号	クライアント	ハード	ソフト	フ゜ロトコル	_	
15	PC	PRIMERGY/	lpd	TCP/IP	⇒	サホ [°] ートサーハ [*] : 1pd
		PRIMEQUEST				伝送経路 : TCP/IP
						エミュレーション : FM
(16)		*1	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	サポートサーハ゛: PrintWalker/PM
						伝送経路 : TCP/IP
						エミュレーション : FM
(17)		SPARC Enterprise	PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇒	サホ゜ートサーハ゛: BSNPS
		PRIMEPOWER				伝送経路 : TCP/IP
		S series サーバ				エミュレーション : FM
(18)		PRIMERGY 6000	LANプリンタ制御	TCP/IP	⇒	サホ゜ートサーハ゛: BSNPS
			オフ゜ション			伝送経路 : TCP/IP
						エミュレーション : 69XX
(19)	Windows PC		PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	サポートサーハ゛: PrintWalker/PM
						伝送経路 : TCP/IP
						エミュレーション : FM
20			lpd	TCP/IP	⇒	サホ [°] ートサーハ [*] : 1pd
						伝送経路 : TCP/IP
						エミュレーション : FM

注1) (*1) Itaniumサーバは接続できません。

注2) VLAN (Virtual LAN)は未サポートです。

1.2.7 各部の名称とはたらき





1 用紙サイズダイヤル

給紙カセットにセットした用紙のサイズと方向に合わせます。

2 延長手差しトレイ

手差しトレイに用紙をセットするときに延ばします。

3 手差しトレイ

普通紙、厚紙に印刷するときに使用します。普通紙で最大100枚までセットできます。セットで きる用紙サイズと種類については、「2.1.1使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

4 延長排紙トレイ

A4 □ またはそれよりも長い用紙に印刷するときに延ばします。

5 操作パネル (オペレータパネル)

キーを使用して本装置を操作したり、画面で動作状態を確認します。

6 排紙トレイ

印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

7 排紙ロカバー

用紙づまりの処置をするときに開けます。

8 排気口

装置内部の温度上昇を防ぐために空気が排出されます。排気の向きは変えることができます。物 を立て掛けたりして排気口をふさがないでください。装置内部の温度が上昇すると故障の原因にな ります。

9 前カバーオープンボタン

ボタンを押すとロックが外れ、前カバーが開きます。

10 吸気口

プリンタ内部の温度上昇を防ぐための空気の取り入れ口です。プリンタ内部へのほこりの流入を 防ぐための防じんフィルタが付いています。物を立て掛けたりして排気口をふさがないでください。 装置内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

11 主電源スイッチ

プリンタ本体の電源をオン/オフの状態にします。 電源オフ操作は、操作パネルの電源切断準備キーを(2秒以上)押下して「電源を切断できます」 が表示された後に行ってください。

12 フリクションパッド

用紙を1 枚ずつ内部に送るために必要な部品です。何枚もの用紙が一度に送られる場合は清掃します。

13 給紙カセット [カセット1]

用紙をセットします。普通紙で最大500枚までセットできます。

14 給紙カセット [カセット2]

用紙をセットします。普通紙で最大500枚までセットできます。

15 給紙カセット [カセット3](オプション)

用紙をセットします。普通紙で最大500枚までセットできます。

16 両面ユニット

両面印刷を行うユニットです。



1本体電源コネクタ

装置の電源ケーブルを接続します。電源ケーブルの片方は、コンセントに差し込みます。

2 給紙カセットカバー

給紙カセットの延長トレイを引き出しているときに、ほこり等の混入を防ぐために取り付けます。 両面ユニット背面に取り付けるタイプと、カセット2またはカセット3に取り付けるタイプがあ ります。

3 吸気口

装置内部の温度上昇を防ぐための空気の取り入れ口です。物を立て掛けたりして吸気口をふさが ないでください。装置内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

4 イーサネットポート

本装置とパソコンを接続するLANケーブルを接続します。



1 プリントユニット (点線部)

トナーと感光体が一体化しているカートリッジです。「プリントユニット交換」のメッセージが 表示されたら交換します。

2 前カバー

プリントユニットや定期交換部品の交換、用紙づまりの処置をするときに開けます。

3 ガイド板

用紙づまりの処置をするときにAツマミ部を持って開けます。

4 レジストローラー

用紙を送るための銀色の金属製ローラーです。プリントユニットを交換するときなどに周辺の紙 粉を清掃します。

5 転写ローラーカバー

転写ローラーを保護するカバーです。 保守員が転写ローラーを交換するときに開けます。

6 転写ローラー

両端に緑色のギヤが付いたローラーです。 「定期交換部品キット準備」のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。 保守員にご連絡ください。

7 ペーパーガイド

転写ローラーから定着ユニットへ用紙を送るためのガイドです。

8 定着ユニット固定レバー

定着ユニットを取り外すときに、左右のレバーを上げます。

9 定着ユニット

「定期交換部品キット準備」のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。 保守員にご連絡ください。

10 定着圧レバー

本レバーは必ず上げた状態でご使用ください。

1.3 装置仕様

1.3.1 基本仕様

項	目					仕		様		
印刷方式		半導体レーザ書き込みによる乾式電子写真方式								
印刷速度 *1		(PPM)								
		用紙		A4	B4	A3	Β5	A5	レター	
		具合法库	片面	35	22	20	40	32	35	
		取向述及	両面	32	10	9	33	32	32	
		※上記値は、	カセッ	・ト1	からの	同一	ページ	の複	数コヒ	ー時です。
ウォームアップ。時間		90 秒以下(23℃、AC100V) *2								
ファーストプリント時間		7 秒以下 (23℃、AC100V、A4片面印刷、カセット1/本体排紙トレイ)								
用紙 *3	種類	カット紙 (普通紙、再生紙)								
	サイズ	カセット1~3 A4、B5、A5、レター・・・横送り固定 *4 A3、B4 ・・・縦送り固定 手差しトレイ *5 A3、B4、A4、B5、A5、レター・・・縦送り固定 *6								
	坪量	カセット1~ 手差し	2/ス	1セッ	ト3	(オプシ:	ョン):(:($54 \sim 10$ $54 \sim 14$	05g/m ² 57g/m ²	2
給紙容量 *7,*8		カセット1~2 : 1,000枚 (500枚×2段) カセット3 (オプション):500枚 手差しトレイ : 100枚								
排紙容量 *9		本体排紙トレイ (スタッカ):500枚								
接続インタフェース		LANインタフェース コネクタ:RJ45 (ツイストペアモジューラ用) サポートプロトコル:TCP/IP(IPv4/IPv6)、DS-LINK 接続速度:10Base-T/100Base-TX/1000Base-T								
データストリーム		JEF (F66XX:GS/PRIMEFORCE連携、NMC代替サーバ接続) JEF (F69XX:PRIMERGY6000連携) FM (FMLBP:Unix (Solaris)サーバ接続、Windowsサーバ接続、Windows PC接続) FNP (FNP:Unix (Solaris)サーバ接続、Windowsサーバ接続、Linuxサーバ接続、Windows PC接続)								
SNMP		SNMP V1(バージョン1)対応 / 設定可能コミュニティ数は1件 MIB II (RFC1213)、HostResourceMIB(RFC1759の範囲)、PrinterMIB(RFC1759) をサポート								

(続く)

第1章 概 要

(続き)

項目	仕 様
消耗品 *10	オペレータ交換 ・プリントユニット
定期交換部品	保守員交換 ・定期交換部品キット
寿命	60万ページ(A4換算)または5年のいずれか早い方(常温、常湿) *11

- *1 解像度を切り替えた場合、印刷速度は遅くなります。印刷するデータ量、解像度指定、圧縮指定、 メディアタイプ設定によっては、印刷速度が遅くなる場合があります。
- *2 ウォームアップ時間とは、主電源スイッチを投入してから印刷可能状態までの時間です。 なお、論理プリンタ設定はデフォルト設定(66XX資源ロード時は対象外)で、かつIPv4設定の場合。
- *3 用紙については第6章を参照してください。
- *4 A4、B5、A5、レターの縦送りは未サポートです。
- *5 手差しはWindowsプリンタドライバからの印刷のみサポートしています。また、両面印刷は行えません。
- *6 手差しの横送りは未サポートです。
- *7 オプション製品については、1.4項を参照してください。
- *8 各枚数は、坪量:75g/mの用紙の場合です。
- *9 枚数は、坪量:67g/m²の用紙の場合です。
- *10 手配仕様は第7章を参照してください。
- *11 月間印刷ページ数が10,000ページ以下(A4の場合)、1日の通電時間の合計が8時間程度の条件で、 使用年数を5年と想定しています。月間印刷ページ数が10,000ページを超えていたり、1日に合計 8時間以上電源が入っていたり、総印刷ページ数が600,000ページを超えたりすると、想定された 年数より使用年数が短くなる場合があります。

1.3.2 66XXエミュレーション機能仕様

本装置の66XXエミュレーション機能仕様を表1.1に示します。

項目	住 様
解像度	 • 240×240dpi • 300×240dpi (LP-B4縮小時) • 300×300dpi (80% 縮小時) • 300×360dpi (LP-A4縮小時)
印刷文字種	 ・明朝体 2バイト文字: JIS非漢字、第1水準/第2水準漢字、 半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字 1バイト文字: A/N20セット+LPモード用 ・ゴシック体 2バイト文字: JIS非漢字、第1水準/第2水準漢字、 半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字
文字サイズ	 ・漢字:7、9、12ポイント相当 縮小文字:半角、1/4角 拡大文字:平体、長体、倍角、ラベル文字 ・A/N:10、12、15字/25.4mm 13.3字/25.4mm (LPモード)
文字間隔	 ・漢字: 7ポ相当: 10字/25.4mm 9ポ相当: 5、6、6.6、7.5、8字/25.4mm 12ポ相当: 5、6字/25.4mm ・A/N: 10字/25.4mm 10、12、15字/25.4mm (文字配列テーブル使用時)
行間隔	6、8、12行/インチ
オーバレイ印刷	データ形式:Write圧縮
イメージ印刷 (拡張出力機構必須)	データ形式:非圧縮、MH、MR、MMR形式
図形印刷	文字・線・円・面塗りなどの描画
バーコード印刷	種類 : NW-7、標準JAN、短縮JAN、CODE 3 of 9、GS1-128(旧称: EAN-128) *1 Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、物流系、カスタマバーコード 〔バーコード読取装置の読取り仕様により、本装置で印刷した帳票の読取 り率が異なるので、運用に先立ち十分な事前確認が必要です〕

表 1.1 66XXエミュレーション機能仕様

※ 本エミュレーション機能を使用するには、GS連携機構(オプション)および拡張出力機構(オプ ション)が必須です。

*1 300dpi以上の印刷解像度が必要となる公共料金の代理収納にはご使用になれません。

1.3.3 69XXエミュレーション機能仕様

本装置の69XXエミュレーション機能仕様を表1.2に示します。

項	目	仕 様					
解像度		 ・240×240dpi ・300×240dpi (LP-B4縮小時) ・300×300dpi (80% 縮小時) ・300×360dpi (LP-A4縮小時) 					
印刷文字種		 ・明朝体 2バイト文字:JIS非漢字、第1水準/第2水準漢字、 半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字 1バイト文字:A/N標準・互換モード+LPモード用 (ソフト側指定によるコード表切り替えあり) ・ゴシック体 2バイト文字:JIS非漢字、第1水準/第2水準漢字、 半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字 					
文字サイズ		 ・漢字:7、9、12ポイント相当 縮小文字:半角、1/4角 拡大文字:平体、長体、倍角、ラベル文字 ・A/N:10、12、15字/25.4mm 13.3字/25.4mm (LPモード) 					
文字間隔	標準 モード	 漢字: 7ポ相当: 10字/25.4mm 9ポ相当: 5、6、6.6、7.5、8字/25.4mm 12ポ相当: 5、6字/25.4mm A/N: 10、12、15字/25.4mm 					
	互換モート゛	 ・漢字 : 7ポ相当: 5、6.6、10字/25.4mm 9ポ相当: 5、6.6、8字/25.4mm 12ポ相当: 5字/25.4mm ・A/N: 10、12、15字/25.4mm 					
縦書き		文字を90°回転					
行間隔		6、8、12行/25.4mm					
オーバレイ印刷		データ形式:ベクトルオーバレイ					
イメージ印刷		データ形式:非圧縮、MH、MR、MMR形式					
図形印刷		文字・線・円・面塗りなどの描画					
バーコード印刷		 種類:NW-7、標準JAN、短縮JAN、CODE 3 of 9 Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、カスタマバーコード [バーコード読取装置の読取り仕様により、本装置で印刷した帳票の読取り率が異なるので、運用に先立ち十分な事前確認が必要です] 					

表 1 2	69XXエミュレーション機能仕様
11 1.2	

※ 本エミュレーションを使用するには、拡張出力機構(オプション)が必須です。

1.3.4 FMエミュレーション機能仕様

本装置のFMエミュレーション機能仕様を表1.3に示します。

項目	住 様
解像度	 • 240×240dpi • 400×400dpi • 300×240dpi (LP-B4縮小時) • 300×360dpi (LP-A4縮小時)
印刷文字種	 ・明朝体 2バイト文字: JIS非漢字、第1水準/第2水準漢字、 半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字 1バイト文字: A/N文字 ・ゴシック体 2バイト文字: JIS非漢字、第1水準/第2水準漢字、 半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字
文字サイズ	 ・漢字: 7、9、10.5、12ポイント相当 縮小文字: 半角、1/4角 拡大文字: 平体、長体、倍角 ・A/N: 10、12、18cpi
文字間隔	任意指定
行間隔	任意指定
オーバレイ印刷	データ形式:マクロ形式
イメージ印刷	データ形式:非圧縮、MH形式
図形印刷	文字・線・円・面塗りなどの描画
特殊印刷	16進ダンプ印刷、リスト印刷1/2/3/LP-A4/LP-B4 縮小70%/75%
コマンド仕様	FMLPB115相当+両面印刷コマンド
バーコード仕様	 種類 : NW-7、標準JAN、短縮JAN、Code3 of 9、Industrial 2 of 5、 Interleaved 2 of 5、物流系、カスタマハ・ーコート・ 〔バーコード読取装置の読取り仕様により、本装置で印刷した帳票の読取 り率が異なるので、運用に先立ち十分な事前確認が必要です〕

表 1.3 FMエミュレーション機能仕様

※ SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通 S series接続時には、プリンタ接続ソフトウェア PrintWalker/BPCが必要です。
1.3.5 FNPエミュレーション機能仕様

本装置のFNPエミュレーション機能仕様を表1.4に示します。

項目	住 様
解像度	 • 240×240dpi • 400×400dpi • 600×600dpi • 1200×1200dpi (拡張出力機構が必須)
文字サイズ	1バイト系/2バイト系共に1~4096ドットの範囲で文字サイズ(高さと幅)を 指定可能 2バイト系についてはポイント数での文字サイズ(高さと幅)指定も可能 240 dpi 指定可能範囲: 0.1ポ~1228ポ 400 dpi 指定可能範囲: 0.1ポ~ 737ポ 600 dpi 指定可能範囲: 0.1ポ~ 491ポ 1200 dpi 指定可能範囲: 0.1ポ~ 245ポ
文字間隔	任意指定
行間隔	任意指定
オーバレイ印刷	データ形式:マクロ形式
イメージ印刷	データ形式:非圧縮、MH形式、MMR形式、SLC形式
図形印刷	文字・線・円・面塗りなどの描画
書体 *1,*2	アウトラインフォント 漢字 : 明朝体、ゴシック体 A/N : 欧文13書体、OCR-B
バーコード仕様 (範囲指定のみ) *3	種類 : NW-7、標準JAN、短縮JAN、CODE3 of 9、Industrial 2 of 5、 Interleaved 2 of 5、物流系、カスタマバーコード、GS1-128(旧 称:EAN-128)、QRコード(モデル2)、マイクロQRコード [バーコード読取装置の読取り仕様により、本装置で印刷した帳票の読 取り率が異なるので、運用に先立ち十分な事前確認が必要です]

表 1.4 FNPエミュレーション機能仕様

*1 アウトラインフォント出力時は、以下の条件でご使用ください。

• 解像度 400dpi以上

- 文字サイズ 9ポ以上
- *2 アウトラインフォントの外字作成時は、出力結果を十分ご確認の上、ご使用ください。

 *3 GS1-128(旧称:EAN-128)は用途により、300dpi以上の印刷解像度が必要な場合(公共料金の代理 収納)があります。この場合、240dpi印刷では対応できませんのでご注意ください。

- ※ SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通 S series接続時には、プリンタ接続用ソフトウェア PrintWalker/BPCが必要です。
- ※ PRIMERGY/ PRIMEQUEST(いずれもRed Hat Enterprise Linux)接続時には、プリンタ接続用ソフトウェアPrintWalker/LXEが必要です。

1.4 オプション

1.4.1 オプション

品名	概 要
VSP4530H5 給紙ユニット50	最大500枚まで自動給紙することができる給紙ユニットです。3段目の用紙カセットとして増設できます。
VSP4530EX 拡張出力機構	拡張用のメモリです。 論理プリンタの設定可能数が拡張(1→3)されます。 また、以下の場合に必須です。 ・69XXエミュレーション印刷 ・66XXエミュレーション印刷 ・解像度1200dpiの印刷
VSP4530GS GS連携機構	66XXエミュレーション印刷時に必須です。

1.4.2 オプションの仕様

VSP4530H5(給紙ユニット50)の仕様

項目		仕 様
外形寸法		468mm(幅)×410mm(奥行き)×130mm(高さ)
質量		約6kg
給紙容量 *1		最大 500枚 (標準紙)
用紙	種類	プリンタ本体仕様に準ずる
	サイズ	A3、B4、A4横、A5横、B5横、レター横 *2
	坪量 (使用可能範囲)	$64 \sim 105 \text{g/m}^2$

*1 坪量:75g/m²の用紙の場合

*2 工場出荷時はA4サイズとなっています。

1.4.3 オプションと論理プリンタ設定数

拡張出力機構オプション有無とGS連携機構オプション有無の組み合わせによる、各エミュレーションごとの論理プリンタの設定可能数について以下に示します。

なお、複数の論理プリンタを設定して運用する場合は、「1.5 複数の論理プリンタを定義した場合 の排紙について」も参照願います。

	論理プリンタの組合わせ(最大)				
オプション名 *1	GS/PRIMEFORCE シリース [*] GS/PRIMEFORCE シリース [*] PRIMERGY 6000 SPARC Enterpri PRIMERGY PRIMERGY PRIMEQUEST 1000 NMC代替連携 (VSPサード [*] ス等) *5 スプール連携 (帳票管理サード [*] ス等) Windows PC		SPARC Enterprise PRIMERGY PRIMEQUEST 1000 Windows PC	備考	
	66XXエミュレーション	66XXエミュレーション	69XXエミュレーション	FM/FNPエミュレーション	-
オプションなし	0	0	0	1	
拡張出力機構	0	0	0	3	
(VSP4530EX)	0	0	1	2	*2
拡張出力機構	0	0	0	3	
(VSP4530EX)	0	0	1	2	*2
GS連病機構 (VSP4530GS)	0	1	0	2	
	0	1	1	1	*2, 3
	1	1	0	1	*3, 4
	1	0	1	1	*2, 3
	1	0	0	2	

*1: GS連携機構導入時(66XXエミュレーション印刷時)は拡張出力機構も必須のため、GS連携機構のみの表 はありません。

*2:69XXは装置内に1個しか設定できません。

*3:66XX(NMC代替連携)/66XX(スプール連携)と69XXの合計が2を超えないこと。

*4:GS/PRIMEFORCE連携(66XXエミュレーション)を行う場合の2つの方法について

- NMC代替連携(VSPサービス等) NMC接続と互換を持つ機能で、GS/PRIMEFORCE 上のAPSライタにより印刷制御されます。リカバリ 指定等もAPSライタで行います。
- 2) スプール連携(帳票管理サービス等)

サーバ上のアプリケーション [HOST PRINT (帳票管理サービス)] 等の機能による印刷制御を行います。

印刷データはスプールされているため、従来GS/PRIMEFORCEで制御していた再印刷や必要とする ページのみの印刷指定等がサーバ上で行えます。

GS/PRIMEFORCE連携を2つ設定する場合、1)と2)を1 つずつの設定が可能です。

1)だけを2つ、または2)だけを2つという設定はできません。

*5:複数のGS/PRIMEFORCEからの印刷はできません。

1.5 複数の論理プリンタを定義した場合の排紙について

本装置に複数の論理プリンタを定義して運用する場合、全論理プリンタで1つのスタッカを共用する ため、スタッカに各論理プリンタの印刷物が混在したり、印刷を実行するためにプリンタ装置側での 操作が必要となる場合があります。

混在のしかたは、定義されている論理プリンタの種類によって2種類に分けられます。

1.5.1 NMC代替連携を行う(HOST PRINT<VSPサービス>またはNetcompo<NMCサーバ>からの印刷を行う)場合

NMC代替印刷(サポートサーバ= "6680-NMC"の論理プリンタ)を含む複数の論理プリンタが定義されている場合、"6680-NMC"の印刷を優先し他の論理プリンタへの印刷は待ち状態になります。(6680-NMC優先状態)

また、待ち状態となっている"6680-NMC"以外のデータを印刷する場合は、操作パネルの割込印刷キー (シフトキー+セットキー)を押下する必要があります。



"6680-NMC優先状態"および"割込み印刷機能"の詳細については、「1.6 6680-NMC優先印刷と割込 み印刷機能」を参照願います。

1.5.2 NMC代替連携を行わない(サポートサーバ= "6680-NMC"の論理プリンタを設定しない)場合

NMC代替連携を行わない(サポートサーバ= "6680-NMC"の論理プリンタを設定しない)場合、複数定義 した各論理プリンタへの印刷は上位装置のスプールを経由しジョブ単位で実行されます。このため、 ジョブ単位での混在が発生する可能性があります。(ジョブの途中で他の論理プリンタの印刷物が混在 することはありません。) また、各論理プリンタに優先順位はありません(受信したジョブの順に印刷を行います)。



1.6 6680-NMC優先印刷と割込み印刷機能

1.6.1 6680-NMC優先印刷について

本装置では、複数の論理プリンタを定義し、かつ、その一つがサポートサーバ= "6680-NMC"であった場合(すなわち、HOST PRINT<VSPサービス>またはNetcompo<NMCサーバ>で利用する論理プリンタを 含む場合)、他の論理プリンタとの複雑な排紙の混在を避けるため、"6680-NMC"の印刷を優先し他の 論理プリンタへの印刷は待ち状態となります。この状態を「6680-NMC優先状態」と呼びます。

- ・6680-NMC優先状態では、6680-NMCデータの処理中か非処理中かに関わらず、他の論理プリンタへの 印刷は装置使用中として待たされます。
- ・待ち状態の6680-NMC以外のデータは、後述の「割込み印刷機能」にて印刷できます。

1.6.2 割込み印刷機能について

6680-NMC優先状態において待ち状態となっている "6680-NMC以外"の印刷がある場合に、オペレータ 操作により一時的に6680-NMC優先状態を解除し、待ち状態の印刷を実行する機能です。

- ・待ち状態となっているデータの割込み印刷を行う場合、装置の操作パネルの割込印刷キー(シフトキー+セットキー)を押下します。
- ・6680-NMCのデータを処理していないときに割込印刷キー(シフトキー+セットキー)を押下した場合 は続行確認を行わず、すぐに割込み印刷が実行されます。
- ・6680-NMCのデータ処理中に割込印刷キーを押下した場合、処理中の6680-NMCデータを排出した後、 「割込印刷 印刷しますか? Y/N」と続行の確認が行われ、Yes キーを押下すると割込み印刷が 実行されます。
- ・割込み印刷は、待ち状態となっている1ジョブにのみ有効であり、1ジョブ分の印刷を終えると、 自動的に6680-NMC優先状態に戻ります。
- ・割込み印刷中は、6680-NMCの印刷はNotReady状態で待たされます。このため、APSライタのライタ定義(DFNWTRコマンド)のRETRYオペランドの"試行回数1"の指定値は、"255"(プリンタがReady状態になるまで10秒間隔でリトライ)を推奨します。

詳細は、「OSIV APS説明書」のライタの定義(DFNWTRコマンド)を参照願います。

なお、割込み印刷開始後、約10分間はプリンタ装置側で割込み印刷の終了を待ちます。このため、 割込み印刷の印刷量が多い場合、割込み印刷を開始してから約10分後にNotReady状態となります。

1.6.3 割込み印刷の操作手順

以下のように論理プリンタが定義されている場合を例にして、割込み印刷の手順を示します。

- ・論理プリンタ1=6680-NMC
- ・論理プリンタ2=PrintWalkerPM
- (1) 6680-NMCのデータを処理していないときに論理プリンタ2の印刷を起動した場合
 - 1) プリンタアイドル中



2) 論理プリンタ2への印刷を実行する。



3) 割込印刷 キー(シフト キー+セット キー)を押下する。



4) 6680-NMC優先状態が解除され論理プリンタ2のデータが印刷される。



5) 1ジョブ分の印刷完了後、自動的に「6680-NMC優先状態」に戻る。

- (2) 6680-NMCのデータ処理中に論理プリンタ2の印刷を起動した場合
 - 1) 論理プリンタ1 (6680-NMC)のデータ処理中

スタート 12	
<u> </u>	論理プリンタ1がデータ処理中
* * * * * * * * * *	であることを示す。

2) 論理プリンタ2への印刷を実行する。

スタート 12 🖉	論理プリンタ2が印刷待ち状態 となる。(ウェイトアイコン)
* * * * * * * * * *	このとき、論理プリンタ2の上位 側には"装置使用中"と見える。

3) 割込印刷 キー(シフト キー+セット キー)を押下する。



 ④信済みの論理プリンタ1(6680-NMC)のデータのうちページが完成したデータを印刷後に 6680-NMC優先状態が解除され、以下が表示される。

割込印刷 印刷しますか?
Y∕N

- ※ 受信済みデータのうち、ページが完成していないデータは保持します。
- ※本手順にて1分間放置すると、「6680-NMC優先状態」に戻り、手順2)の表示に戻ります。 このとき、論理プリンタ1の印刷は再開され、論理プリンタ2は待ち状態となります。
- ※割込印刷キー押下時、既に受信済の6680-NMCデータの印刷中に用紙切れや用紙づまり などのエラーが発生した場合、押下した割込印刷キーは無効になります。エラーを解除 してから、再度、割込印刷キーを押してください。
- 5) Yes キー押下により論理プリンタ2のデータが印刷される。

スタート	12	論理プリンタ2がデータ処理中 であることを示す。
* * * * *	* * * * *	

- ※ 手順4)にて「No キー」が押下されると、手順2)の表示に戻ります。(論理プリンタ1 の印刷が再開され、論理プリンタ2は待ち状態となります。)
- 6) 論理プリンタ2の1ジョブ分の印刷完了後、自動的に「6680-NMC優先状態」に戻り、論理プリ ンタ1の印刷が継続されます。(注1)



注1) ただし、割込印刷 キー(シフトキー+セットキー)押下後、割込み印刷中に10分(※) が経過すると、論理プリンタ1の上位装置にNot Readyが返され、印刷再開には上位装 置側からの印刷再開の指示が必要となります。

※割込み印刷の不可状態により数分程度延びる場合があります。

1.6.4 6680-NMC優先状態および割込み印刷時の注意事項

- (1) 割込み印刷機能は、装置本体のオペレータ操作(割込印刷キー(シフトキー+セットキー)の押下)を伴うことで、割り込んだ印刷物の取り忘れ防止を期待していますが、オペレータが割込み印刷による印刷物を取り忘れた場合はスタッカ上に 6680-NMC とその他の論理プリンタの印刷物が混在することになります。(このとき、ページ単位で混在する可能性があります。)
- (2) 割込み印刷機能を利用する場合、6680-NMC以外の論理プリンタのサポートサーバは、PrintWalker/PM または BSNPS の設定にしてください。 サポートサーバに 1pd を設定すると、0S 側の処理に伴って問題が発生する可能性があります。(例: 上位側でジョブ削除を実行した際にジョブ削除に時間がかかったような場合、ジョブが削除される前 に割込み印刷キーが押されると割込み印刷できてしまう。)
- (3) 6680-NMC 定義の論理プリンタが描画処理等で負荷が高い場合、一時的に割込印刷 キー(シフトキー +セットキー)が無効となる場合があります。この場合は再度割込印刷 キー(シフトキー+セットキー)を押下してください。
- (4) 6680-NMC 優先状態では、下記に示す資源ロード系のコマンドが正常に実行できません。 このような場合、「6680-NMC 未接続モード」にてコマンドを実行してください。(「6680-NMC 未接続 モード」については「付録7 6680-NMC 未接続モード立ち上げ」を参照してください。)

<PRIMERGY 6000>

- CGパターンの一括ダウンロードコマンド (SNDCG)
- オーバレイの一括ダウンロードコマンド (SNDOVLP)
- 各コマンドの詳細は、「ASP システムコマンド集」を参照願います。

<Unix(Solaris)サーバ>

- 66XXのCGプレロードコマンド (stupfont)
- 66XXのOVLプレロードコマンド (stupovly)
- FNP外字登録コマンド (stupttf)
- 各コマンドの詳細は、「PrintWalker/BPC説明書」を参照願います。

<Windowsサーバ>

- 外字登録ツール (F5EQTFLD. exe)
 本ツールの詳細は、「付録4 外字登録(TrueType)ツールのご紹介」を参照願います。

(5) 6680-NMC 優先状態では、PRIMERGY 6000 サーバからのリモート電源制御系のコマンド (POFFPRT, POWEROFF, CANALJOB)は無効となります。

1.7 Windows環境で使用するソフトウェア

VSPリクエスタ/VSP4530Bプリンタドライバ/PrintWalker/PMは、Windows環境で本装置を使用する 場合に有効なソフトウェアです。

これらソフトウェアは、装置添付のCD-ROM (PrintWalker) に格納されています。

インストール方法は、各ソフトウェアのReadme.txtに記載しています。

1.7.1 VSPリクエスタ

パソコンサーバと本装置間で印刷資源のやり取りを行うソフトウェアです。 Windows Server2003/Server2008(2008R2)で使用できます。

1.7.2 VSP4530Bプリンタドライバ

クライアント・パソコンから印刷を行う場合に必要なプリンタドライバです。 Windows XP/Vista/7/Server2003/Server2008(2008R2)用 があります。

1.7.3 PrintWalker/PM

VSPプリンタ装置への出力中に発生したエラー内容をWindows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008 (2008R2)に表示し、信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトウェアです。

1.7.4 PrintWalker/RS_Light

VSPプリンタ装置の運用管理をリモートで行うソフトウェアです。 Windows XP SP3以降/Vista/7/Server 2003 SP2以降/Server 2008(2008R2)で使用できます。 (※PrintWalker/RSは未対応)

1.7.5 外字フォント登録コマンド

FNPエミュレーションにて、Windows 上の外字エディタで作成した外字フォントファイルを、 True Typeフォント搭載プリンタ装置へ登録するコマンドです。 コマンドパラメータ指定により、登録/登録済みフォントの確認/登録済みフォントの削除ができ ます。明朝体、ゴシック体フォントをそれぞれ1ファイル登録が可能です。 Windows XP/Vista/7/Server2003/Server2008(2008R2)で使用できます。 詳細は「付録4」をご覧ください。

1.7.6 ポート構成コマンド

コマンドインタフェースによるPrintWalker/PMのポートの構成(作成、変更、削除)を可能とする コマンドです。

Windows XP/Vista/7/Server2003/Server2008(2008R2)で使用できます。

1.7.7 PrintWalker/EM

Systemwalker連携ソフトです。

Windows Server2003/Server2008(2008R2)で使用できます。

1.8 Unix (Solaris) /Linux環境で使用するソフトウェア

PrintWalker/BPCは、Unix(Solaris)環境で本装置を使用する場合に有効なソフトウェアです。 PrintWalker/LXEは、Linux環境で本装置を使用する場合に有効なソフトウェアです。 これらのソフトウェアは、装置添付のCD-ROM (PrintWalker) に格納されています。

1.8.1 PrintWalker/BPC

VSPプリンタ装置への出力中に発生したエラー内容をUnix(Solaris)サーバに表示し、信頼性の高い エラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトウェアです。

1.8.2 PrintWalker/LXE

VSPプリンタ装置への出力中に発生したエラー内容をLinuxサーバ(RHEL)に表示し、信頼性の高いエ ラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトウェアです。

1.9 注意事項

1.9.1 バーコード印刷について

- (1) 本装置で印刷するバーコードのバー幅は6ドット(600dpi時)、12ドット(1200dpi時)以上の幅で 作成してください。それより小さいバー幅のバーコードも印刷可能ですが、読み取り率が非常に 低くなるため推奨できません。
- (2) Windowsの一般的なアプリケーションでは、プリンタが持つバーコードの印刷機能を使用しておりません。アプリケーション側でバーコードのイメージデータを生成しているため、プリンタの解像度にあったデータを生成していない場合には読取り不良となる場合があります。運用に先立ち十分な読取りテストを実施してください。
- (3) 帳票設計上の注意は6.5.1. (2)を参照してください。

1.9.2 二次元コード (QRコード/マイクロQRコード) について

本装置では、指定された印刷領域に納まる最大のコードを選択して印刷を行います.同じデータを含む二次元コードであっても、セル(QRコード/マイクロQRコードを構成する最小の矩形単位)の大きさを段階的に変えることにより、印刷領域に最適な大きさで印刷されることになります。一般的に、このセルの大きさが大きいほど読み取り率が高くなるため、可能な限り大きな印刷領域を指定することを推奨します。

特に、解像度400dpi、 600dpi、 1200dpiで印刷する場合には、読み取り率を向上させるために、 以下に示す方法により求められた印刷領域よりも大きな範囲を指定する必要があります。

[QRコード] (解像度400dpiの場合)

- ① QRコードに収納する文字種により、コードで表現するときのビット数を算出します。(A_x:収納 する文字数)
 - ・数字のみ : A₁文字
 - $B_1 = 10 \times (A_1 \div 3) + 25$
 - ・英字、数字、記号:A₂文字
 - $B_2 = 11 \times (A_2 \div 2) + 29$
 - ・8ビットバイナリ : A₃文字
 - $B_3 = 8 \times A_3 + 20$
 - ·漢字、かな : A₄文字
 - $B_4 = 13 \!\times\! A_4 \!+\! 16$
 - 複数の文字種を収納する場合は、それぞれのビット数の合計を算出します。

 $B_{T} = B_1 + B_2 + B_3 + B_4$

- ② 誤り訂正レベルの指定により、QRコードに収納できるビット数が変わるため、次の演算を行います。
 - ・誤り訂正レベル :L
 - $B = B_T$
 - ・誤り訂正レベル :M
 - $B = B_T \times 1.31$
 - ・誤り訂正レベル :Q
 - $B = B_T \times 1.82$
 - ・誤り訂正レベル :H
 - $B = B_{T} \times 2.38$

③ B [ビット] を収納するために必要なQRコードのバージョン(コードの大きさ)を、下記の表から決定します。

[簡易的な計算による概算値であるため本来のものより1つ大きなバージョンになる場合があります]

バージョン	収納可能	ハーション	収納可能	ハーション	収納可能	ハーション	収納可能
	なビット数		なビット数		なビット数		なビット数
1	$\sim \! 152$	11	~ 2592	21	\sim 7456	31	$\sim \! 14744$
2	~ 272	12	~ 2960	22	$\sim \! 8048$	32	$\sim \! 15640$
3	$\sim \! 440$	13	~ 3424	23	$\sim \! 8752$	33	$\sim \! 16568$
4	~ 640	14	~ 3688	24	\sim 9392	34	$\sim \! 17528$
5	$\sim\!864$	15	~ 4184	25	~ 10208	35	$\sim \! 18448$
6	$\sim \! 1088$	16	$\sim \! 4712$	26	$\sim \! 10960$	36	\sim 19472
7	~ 1248	17	~ 5176	27	~ 11744	37	~ 20528
8	$\sim \! 1552$	18	~ 5768	28	~ 12248	38	~ 21616
9	~ 1856	19	~ 6360	29	~ 13048	39	~ 22496
10	~ 2192	20	~ 6888	30	~ 13880	40	~ 23648

- ④ 決定したバージョンにおけるセル数を算出します。
 S [セル] = ((バージョンの値) -1) ×4+21)
- ⑤ コードの上下左右には4セル分の余白(クワイエットゾーン)が必要となります。 S_T [セル] =S+8
- ⑥ 解像度400dpiにおいて、1セルを構成する推奨最小ドット数は6ドット(600dpiは9ドット, 1200dpiは18ドット)です。このことからコードを構成するドット数を算出します。
 D [ドット] =S_T×6(600dpiはD [ドット] =S_T×9, 1200dpiはD [ドット] =S_T×18)
- ⑦ 印刷領域を算出します。
 (解像度400dpiでは1インチが400ドットで,解像度600dpiでは1インチが600ドットで)

解像度1200dpiでは1インチが1200ドットで構成されます)

 $\mathbb{W} \left[\mathcal{T} \sim \mathcal{F} \right] = \mathbb{D} \div 400 \ (600 \text{dpi} \text{d} \mathbb{W} \left[\mathcal{T} \sim \mathcal{F} \right] = \mathbb{D} \div 600, \ 1200 \text{dpi} \text{d} \mathbb{W} \left[\mathcal{T} \sim \mathcal{F} \right] = \mathbb{D} \div 1200)$

短辺が₩インチ以上の印刷領域を指定する必要があります。

[マイクロQRコード]

① マイクロQRコードに収納する文字種/データ量/誤り訂正レベルから、印刷時に選択されるバージョ ンを決定します。

		データ量(最大入力文字数)			
バージョン	誤り訂正レベル	数字のみ	英数字記号	8ビット バイナリ	漢字かな
M1 $(=1)$	L	5	—		_
M2 $(=2)$	L	10	6	_	_
	М	8	5	_	_
M3 $(=3)$	L	23	14	9	6
	М	18	11	7	4
M4 $(=4)$	L	35	21	15	9
	М	30	18	13	8
	Q	21	13	9	5

② 決定したバージョンにおけるセル数を算出します。
 S [セル] = ((バージョンの値) -1) ×2+11)

- ③ コードの上下左右には2セル分の余白(クワイエットゾーン)が必要となります。 S_r [セル] =S+4
- ④ 解像度400dpiにおいて、1セルを構成する推奨最小ドット数は6ドット(600dpiは9ドット, 1200dpiは18ドット)です。このことからコードを構成するドット数を算出します。
 D [ドット] =S_T×6(600dpiはD [ドット] =S_T×9, 1200dpiはD [ドット] =S_T×18)
- ⑤ 印刷領域を算出します。(解像度400dpiでは1インチが400ドットで構成されます)
 W [インチ] =D÷400 (600dpiはW [インチ] =D÷600, 1200dpiはW [インチ] =D÷1200)

短辺がWインチ以上の印刷領域を指定する必要があります。

1.9.3 スイッチングハブとの接続について

本装置とスイッチングハブは、オートネゴシエーションでの接続を推奨します。 スイッチングハブをオートネゴシエーション以外に設定する場合、本装置は半二重(Half)で動作 するため、スイッチングハブも半二重(Half)に設定する必要があります。

1.9.4 その他の注意事項

- (1) 本プリンタは、MS-DOSからの直接印刷には対応しておりません。(印刷結果も保証しません。)
- (2) WSMGR やK端末エミュレータ等によりGS/PRIMEFORCEまたはPRIMERGY6000からのデータをPC上で FMエミュレーションに変換し、VSPプリンタドライバを経由せず本装置に出力する運用はサポート しておりません。よって、印刷結果についても保証できません。
- (3) Windowsからの印刷において、PrintWalker/PMと連携する場合、到着通知パネルを起動してください。(デフォルトはスタートアップに登録されます) 詳細につきましては、添付のCD-ROMに格納されていますPrintWalker/PMのReadme.txtをお読みください。
- (4) Windows の プリンタドライバに関する設定は、装置に添付している CD-ROMの ¥PRINTDRV¥VSP4530¥(各0Sのフォルダ)¥Readme.txtへ記載しています。
- (5) ソフトウェアに関する情報は、弊社ホームページ、カタログ等で確認ください。
- (6) 網かけのかかったグラフまたは図形をプリンタドライバの縮小指定(80%または66%)で印刷した場合、網かけの種類によっては以下のような現象が発生することがあります。
 このようなときは、アプリケーション側で予め縮小したデータで印刷するか、現象が目立たないパターンや色を選択して印刷してください。
 また、縮小機能を持たないアプリケーションの場合は、縮小方式の特性に影響されない網かけパターンを選択ください。
 (発生現象)
 ・シマ(縦、横、モアレ)、線の消滅、線の太り等

- (7) 以下のようなケースでは、印刷が遅くなる場合があります。
 - Windowsからの印刷で、TrueTypeフォントをデバイスフォントで代替して印刷した場合、 文字フォントの取込み処理が発生することがあるため、印刷の1枚目が遅い場合があります。
 - 手差しトレイは、全用紙サイズ縦送り方向にセットする仕様となっているため、A3/B4を 除く用紙サイズによる印刷時は、各カセットからの印刷時よりも、印刷性能が低下します。
 - ハードディスク電源制御(スタンバイ状態でハードディスクに一定時間アクセスがない場合、ディスク保護のため電源を切断します)を行っているため、ハードディスク電源切断中に印刷が行われたとき、印刷の1枚目が遅い場合があります。
 (通常時より約3~4秒遅くなります)
 - Windowsアプリケーションから"部数指定"で印刷した場合、1部目の印刷はハードディ スクにデータを保存しながら行うため、印刷性能が低下します。
 - 省エネモード中に印刷起動した場合、メカウォームアップ後に印刷動作を開始するため、 1枚目の印刷が遅くなります。
 - 厚紙印刷時は、メカウォームアップ後に印刷動作を開始するため、1枚目の印刷が遅くなります。
 - 複数の論理プリンタでそれぞれ異なる解像度の印刷を行うと、印刷前に「解像度切り替え 処理」が発生するため、その処理の時間だけ印刷が中断します。また、印刷動作中に縮小 印刷や偏倍などを行った場合、解像度切り替えのため、印刷中のページがトレイに排紙さ れるまで次のページの処理を保留します。
 - 用紙幅が230mm以下の狭い用紙を連続印刷するとき、定着温度安定化のために1分後から印刷間隔を広げて印刷します。厚紙の場合は、2分後からさらに印刷間隔を広げて印刷します。
 - 15℃以下の低温環境で使用された場合、定着温度安定化のために印刷を待機する場合があります。
 - 用紙カセット3からの両面印刷の場合、A4サイズ以下の用紙では2面目印刷後に給紙されるため印刷速度が遅くなります。
- (8)下記連携の設定で、実際に存在する上位サーバのアドレスを設定し、上位サーバ側ではプリンタとの接続設定を行わない状態(論理的には上位サーバと接続されていない状態)であった場合、本装置では「接続不可」を表示できません。
 - よって、接続確認時には注意願います。
 - 「VSPサービス連携」
 - ・サポートサーバ :6680-NMC
 - ・伝送経路 : DS-LINK
 - ・エミュレーション:66XX
- (9) "帳票管理サービス連携"を含む複数の論理プリンタを設定している場合に、装置立ち上げ時に本装置とFNAサーバが接続できない状態(物理的、論理的共に)であった場合は、すべての論理プリンタが使用できません。

この場合、オペレータパネルに以下のようなメッセージが表示されますので、物理的な伝送経路の接続確認、および、FNAサーバ(= VSPリクエスタサーバ)の電源投入状況を含む、起動状況や設定ミスといった論理的な接続状況を、ご確認ください。

表示 :	リクエスタサーバと 接続できません 再接続中です
------	--------------------------------

このとき、FNAサーバ(= VSPリクエスタサーバ)への接続が不要(帳票管理サービス連携での 印刷は行わない)であった場合は、セットアップモードへ移行し、FNAサーバと接続する論理プ リンタを削除するか、一時的に"リクエスタ未接続モード"にて本装置を起動してください。な お、リクエスタ未接続モードについては「付録6 リクエスタ未接続モード立ち上げ」を参照願い ます。

- (10)本装置の電源切断後の再投入は、制御回路の確実な電源断とハードディスク保護のため、5秒以 上時間を空けてから行ってください。 また、主電源スイッチの切断は、必ず操作パネルのキー操作で、電源切断可能状態にしてから行ってください。
- (11)「INITIALIZING」中の主電源スイッチによる電源切断は絶対に行わないでください。 ハードディスクの故障および、ハードディスク内のシステムが破壊される可能性があります。
- (12) 手差しトレイについては、論理給紙口と物理給紙口を1対1で対応させた固定設定となっており、 設定変更はできません。Windowsのプリンタドライバのみ指定が可能です。
- (13) 69XX連携時、CGデータ未受信(SNDCG未受信)状態で印刷を実施すると、下記エラーとなります。 SNDCGを実施してください。



(14) 部数指定印刷の制限

出力枚数の多い帳票を部数指定して印刷した場合、120ページを上限として、ページが分割されて 出力されます(両面印刷時の上限枚数は、以下の上限ページ数の半分)。

<例>130ページの帳票を2部出力した場合、以下のような出力となります。

- (1) 1~ 120ページ (1部目)
- (2) 1~ 120ページ (2部目)
- (3) 121~130ページ (1部目)
- (4) 121~130ページ (2部目)
- (15) IPv6設定時、ルータ環境によっては電源投入時のグローバルアドレス獲得に時間がかかる場合が あります。
- (16) 定着圧レバーは上げた状態で使用してください。また、定着ユニットを取り外す際は、本レバー が切り替わらないように注意してください。
- (17) 用紙サイズダイヤルは、セットした用紙サイズに必ず設定してください。間違ったサイズの用紙 をセットして印刷すると、用紙づまりや用紙サイズ不一致となりますが、用紙サイズによっては エラー検出ができず印刷される場合があります。 また、間違ったサイズの用紙をセットし用紙サイズ不一致エラーを起こしてしまった場合は、装 置内部がトナーで汚れることがあり、その際は再セット後の印刷での最初の数枚で印刷された用 紙に汚れが発生することがありますが、5~10位程度の印刷で解消します。
- (18)印刷濃度設定は、通常は「標準」にてご使用ください。濃度設定値を極端に濃くしたり淡くした 場合は、用紙印字面の地汚れ等の画像不良やプリントユニットの有効印刷枚数の低下などを起こ すおそれがあります。
- (19)一度の印刷量を少なくし、間隔を空けて印刷してください。連続して大量の印刷を行うと、用紙 搬送性の不具合や画像不具合の原因となります。
- (20) 1日の印刷量が2000ページを超えるような大量印刷は行わないでください。用紙搬送性の不具合 や画像不具合の原因となります。

第1章 概 要

第2章 準備

2.1 用紙について

使用できる用紙の用紙仕様は第6章を参照してください。

2.1.1 使用できる用紙の種類とサイズ

各給紙カセットにセットできる用紙の種類、サイズと方向、最大セット枚数について説明します。

□ は用紙搬送方向に対して縦長方向に用紙をセットすることを表します。

□ は用紙搬送方向に対して横長方向に用紙をセットすることを表します。

- ◆用紙表示内容 (2.1.2項 用紙の種類ごとの注意 参照)
 - ・NORMAL : 普通紙、 再生紙
 - ・HIGH : 厚紙1
- ◆ セットできる用紙の用紙厚

カセット/トレイ	セット可能な用紙厚
・カセット1~2 ・カセット3(オプション)	64~105 g/m ²
・手差しトレイ	64~157 g/m²

◆ 給紙カセット [カセット1, カセット2, カセット3 (オプション)]
 給紙カセットの用紙サイズダイヤルを、セットした用紙サイズに設定してください。

用紙の種類	セットできる用紙サイズ	最大セット枚数
NORMAL	・定形サイズ : A3 □ 、 B4 □ 、 A4 □ 、 B5 □ 、 A5 □ ・海外向けサイズ : レター*1 □	普通紙:500枚 (75g/㎡用紙使用時の目安)
*1 レターサイズは装置	では、8 ^{1/2} ×11と表示されています。	

◆ 手差しトレイ

用紙の種類	セットできる用紙サイズ	最大セット枚数
NORMAL HIGH	・定形サイズ : A3 D 、 B4 D 、 A4 D 、 B5 D 、 A5 D	普通紙:100枚 (75g/㎡用紙使用時の目安)
	・海外向けサイズ : レター 🕽	

2.1.2 用紙の種類ごとの注意

使用できる用紙種類の注意事項です。

■ 重要

カセット1~3では、セットした用紙と用紙サイズダイヤルを必ず合わせてください。 手差しトレイでは、使用する用紙サイズやメディアタイプを予め操作パネルにて設定してください。 設定方法については「3.4.10 手差し設定」を参照願います。

■ 参照

用紙の取扱いについては、「第6章 用紙仕様および帳票設計」を参照してください。

用紙の厚さ(目安)	64~105 g/m ²
操作パネルの 用紙の種類設定	カセット1~3 : 設定なし 手差しトレイ : [手差し設定]→[メディアタイプ] →[NORMAL]を選択
操作パネルの 用紙サイズ設定	カセット1~3 : 設定なし(ダイヤル設定) 手差しトレイ : [手差し設定]→[用紙サイズ] → 用紙を選択
給紙可能トレイ	すべてのカセット、トレイで給紙可
用紙セット可能枚数 (目安:75 g/㎡用紙)	 ・カセット1~カセット2 : 500 枚 ・カセット3(オプション) : 500 枚 ・手差しトレイ : 100 枚 セットする用紙の量は、カセット内の上限表示(▼▼)を超えないようにしてください。手差しトレイの場合は、用紙がサイドガイドのつめの下に収まっていることを確認してください。
両面印刷	可 (ただし手差しトレイは不可)

(1) 普通紙/再生紙 (NORMAL)

(2) 厚紙 (HIGH)

用紙の厚さ(目安)	$106 \sim 157 \text{ g/m}^2$
操作パネルの 用紙の種類設定	[手差し設定]→[メディアタイプ]→[H I G H]を選択
操作パネルの 用紙サイズ設定	[手差し設定]→[用紙サイズ] → 用紙を選択
給紙可能トレイ	手差しトレイのみ
用紙セット可能枚数 (目安:106 g/㎡)	手差しトレイ :65枚 用紙がサイドガイドのつめの下に収まっていることを確認して ください。
両面印刷	不可

2.1.3 印刷保証範囲

本装置の印刷保証範囲は以下の図のとおりです。



2.2 用紙をセットする

給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする方法を説明します。

(1) 給紙カセットに用紙をセットする

給紙カセット1、2、3(オプション)に用紙をセットする方法説明します。 ここでは給紙カセット [カセット1]を例に、出荷時に設定している用紙サイズ「A4」をセットする 場合を説明します。

A4サイズ以外の用紙をセットする場合は「(2)用紙サイズを変更する」を参照願います。

■ 重要

・セットする用紙の量は、給紙カセット内に示された上限表示を超えないようにしてください。
 用紙づまりの原因になります。

- ・カセット内の用紙は継ぎ足ししないで、使い切ってください。
- 1 給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出します。



2 前面を持ち上げて引き抜きます。



3 用紙ガイドのレバーをつまみながら、用紙ガイドを広げます。

A4、B5、A5、LTの用紙は、前面から見て横方向にセットしてください。



<注>トレイの底板にある①のレバーは矢印の方向にセットし、変更をしないでください。 (用紙づまり、重送、斜め送りの原因となります。)



4 印刷する面を下にして用紙をセットします。



- 重要
 - ・セットする用紙の量は、カセット内に示された上限表示(▼▼)を超えないようにしてください。
 - ・用紙は一括でセットし、継ぎ足しをしないで使い切ってください。
 (用紙づまり、重走、シワ、斜め送りの原因となります。)

5 用紙ガイドのレバーをつまみながら、用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。 エンドガイドはガイドの左右の突起部をサイズ表示ラインの中央になるように合わせます。 (サイズ表示ラインに合わせてすき間があく場合は、下記重要欄を参照してください。)



■ 重要

- ・用紙とサイドガイドの間にすき間がないことを確認してください。すき間がある場合は、用紙ガ イドを操作して調整してください。(用紙が斜めに送られ、用紙づまり等の原因になります。)
- ・用紙ガイドが動きづらい場合は、レバー部だけでなくガイド全体を持って動かしてください。
- ・用紙ガイドを用紙にきつく押し当てすぎると、給紙がうまくいかない原因になるので注意してくだ さい。
- ・セットした用紙を給紙カセットの中で大きく動かさないでください。トレイ底板のすき間に用紙端 部が入り、用紙づまりや用紙折れの原因になります。
- ・用紙ガイドをセットする際は、レバーをつまんだ状態で、こじらないように注意して用紙ガイドを 動かしてください。無理に動かすと、用紙カセットやガイドが破損することがあります。
- 6 少量の用紙をセットするときは、以下の手順でセットします。
- 6-1 用紙ガイドのレバーをつまみながら、用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。 エンドガイドは、ガイドの左右の突起部をサイズ表示ラインの中央になるように合わせます。





6-2 印刷面を下にして、①用紙先端をカセットの手前側の壁に突き当て、次に②用紙後端が図のように 用紙エンドガイドに突き当たるようにセットします。



[・]用紙後端が用紙エンドガイドに乗り上げないようにしてください。

7 前面を持ち上げるようにして給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



▲ 注意

- ・カセットを勢いよく入れると、カセットの用紙ガイドがずれることがありますので、ゆっくり入れてください。
- ・カセットを閉めてから装置がカセットの状態を認識するまでに数秒かかる場合があります。

参照

・カセットにセットできる用紙については、「2.1.1 使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

(2) 用紙サイズを変更する

給紙カセット1、2、3(オプション)の用紙サイズを変更する方法を説明します。



・セットする用紙のサイズ・用紙の方向に、用紙サイズダイヤルの表示を必ず合わせてください。
 用紙サイズダイヤルの表示が合っていないと、機械内部を汚したり、正しく印刷ができないなどの原因になります。

給紙カセットを止まる位置まで引き出し、用紙サイズダイヤルの表示をセットする用紙のサイズに合わせます。



2 前面を持ち上げて引き抜きます。



- 3 A4より大きいサイズの用紙をセットするときは、以下の手順で延長トレイを引き出します。
- 3-1 延長トレイの2箇所のロックを内側にスライドさせて外します。



3-2 延長トレイを引き出します。



3-3 延長トレイの2箇所のロックを外側にスライドさせて元に戻します。 延長トレイのロックがきちんとロックされていないと、用紙が正しく送られない原因になります。



- 4 用紙ガイドのレバーをつまみながら、用紙ガイドを広げます。
 - ▲ 注意

A4、B5、A5、LTの用紙は、前面から見て横方向にセットしてください。



<注>トレイの底板にある①のレバーは矢印の方向にセットし、変更をしないでください。 (用紙づまり、重送、シワ、斜め送りの原因となります。)



5 印刷する面を下にして用紙をセットします。



■ 重要

- ・セットする用紙の量は、カセット内に示された上限表示(▼▼)を超えないようにしてください。
 ・用紙は一括でセットし、継ぎ足しをしないで使い切ってください。
 - (用紙づまり、重送、シワ、斜め送りの原因となります。)
- 6 用紙ガイドのレバーをつまみながら、用紙ガイドを調節します。 エンドガイドはガイドの左右の突起部をサイズ表示ラインの中央になるように合わせます。



■ 重要

- ・用紙とサイドガイドの間にすき間がないことを確認してください。
- ・用紙ガイドが動きづらい場合は、レバー部だけでなくガイド全体を持って動かしてください。
- ・用紙ガイドを用紙にきつく押し当てすぎると、給紙がうまくいかない原因になるので注意してく ださい。
- ・セットした用紙を給紙カセットの中で大きく動かさないでください。トレイ底板のすき間に用紙 端部が入り、用紙づまりや用紙折れの原因になります。
- ・用紙ガイドをセットする際は、レバーをつまんだ状態で、こじらないように注意して用紙ガイド を動かしてください。無理に動かすと、用紙カセットやガイドが破損することがあります。
- ・カセットは左右に傾けないようにしてください。左右に傾けると用紙ガイドにすき間があく 場合があります。
- ・用紙は排出方向へ引き抜いてください。逆方向から引き抜くと部品が破損する場合があります。

- 7 少量の用紙をセットするときは、以下の手順でセットします。
- 7-1 用紙ガイドのレバーをつまみながら、用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。 エンドガイドは、ガイドの左右の突起部をサイズ表示ラインの中央になるように合わせます。



7-2 印刷面を下にして、①用紙先端をカセットの手前側の壁に突き当て、次に②用紙後端が図のように 用紙エンドガイドに突き当たるようにセットします。



▲ 注意

・用紙後端が用紙エンドガイドに乗り上げないようにしてください。

8 前面を持ち上げるようにして給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



▲ 注意

- カセットを勢いよく入れると、カセットの用紙ガイドがずれることがありますので、ゆっくり入れてください。
- ・カセットを閉めてから装置がカセットの状態を認識するまでに数秒かかる場合があります。

参照

- ・カセットにセットできる用紙については、「2.1.1 使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。
- 9 延長トレイを引き出した場合は、付属の給紙カセットカバーを取り付けます。 取り付け方については、「(5) 給紙カセットカバーの取り付け方」を参照してください。

(3) 手差しトレイに用紙をセットする

手差しトレイに用紙をセットする方法と、用紙サイズを変更して用紙をセットする方法を説明します。



- ・用紙は印刷する面を上*にして縦向きにセットしてください。 <注> カセットとは、セット面が逆になりますので注意してください。
- ・セットした用紙がサイドガイドのつめの下に収められていることを確認してください。
- ・手差しトレイからは両面印刷はできません。
- ・手差しトレイには用紙を放置しないでください。印刷終了後トレイに残った用紙は購入時 に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。
- 1 手差しトレイの上部(••••部分)を押して開け、延長トレイを引き出します。





2 用紙サイズに用紙ガイドを調整して、印刷面を上にして用紙が突き当たるまで差し込みます。



3 用紙ガイドを用紙に押し当てます。



▲ 注意

- ・セットした用紙がサイドガイドのつめの下に収められていることを確認してください。
- ・サイドガイドのつめいっぱいまで用紙をセットしないでください。用紙づまりの原因となります。
- ・用紙をセットしてから装置が用紙状態を認識するまでに数秒かかる場合があります。
- *4* 手差し印刷終了後は、延長トレイを戻し手差しトレイの上部(●●● 部分)を押してトレイを閉めま す。



- 参照
 - ・手差しトレイにセットできる用紙については、「2.1.1 使用できる用紙の種類とサイズ」を参照 してください。

(4) 手差しトレイの用紙種類と用紙サイズを設定する

手差しトレイの用紙種類の設定方法に関する説明です。 セットした用紙のサイズや種類に応じて設定を行ってください。

【共通セットアップ画面】

1 スタート状態から「ストップ」キーを押下し、「ストップ」画面にします。



2 「シフト」キーを押しながら、「スタート/ストップ」キーを同時に押下し、「共通設定」画面 にします。



※ 上記共通セットアップ表示については、以後省略します。 「第3章 3.4 共通セットアップ」を参照願います。 [共通セットアップより手差しの用紙の種類を設定します]

1 共通設定-> 8.手差し設定の順に設定後、下記手順にて設定してください。
 2 手差し設定にて「メディアタイプ」を選択し、「セット」キーを押下します。

手差し設定	1/2
1. 用紙サイズ	
2.メディアタ	イプ

3 メディアタイプにて、用紙の種類を選択し、「セット」キーで決定します。

メディアタイプ 1/2
1.NORMAL
* 2.HIGH

[表示内容]

- 1. NORMAL : 普通紙、 再生紙
- 2. HIGH : 厚紙
- ※ 現在の設定内容の左に「*」が表示されます。 (デフォルト値は、HIGHです)

[共通セットアップより手差しの用紙サイズを設定します]

- 1 共通設定-> 8.手差し設定-> の順に設定後、下記手順にて設定してください。
- 2 手差し設定にて「用紙サイズ」を選択し、「セット」キーを押下します。

手差し設定	1/2
1. 用紙サイズ	
2.メディアタイ	゚プ

3 用紙サイズにて、用紙のサイズを選択し、「セット」キーで決定します。

用紙サイズ	1/6
1.A3	
*2.A4	

[表示内容]

- A 3
 A 4
 A 5
- J. A.
- 4. B 4
- 5. B 5
- 6. L T
- ※ 現在の設定内容の左に「*」が表示されます。(デフォルト値はA4です)

(5) 給紙カセットカバーの取り付け方

給紙カセットカバーの取り付け方を説明します。

◆防じんカバー(カセット1)の取り付け方

防じんカバーおよび防じんカバー支えは両面ユニットに同梱されています。

1. 防じんカバー 2. 防じんカバー支え



1 防じんカバー支えの両面テープのはくり紙をはがし、防じんカバー支えを両面ユニットの下部に取り付けます。(本作業は保守員が行いますので、手順2より行ってください)



2 両面ユニットの下部に、防じんカバーを取り付けます。



3 防じんカバー上部の穴に、防じんカバー支えの突起部をはめ込みます。



- ◆ 給紙カセットカバー (カセット2、カセット3 (オプション))の取り付け方 給紙カセットカバーは、本体プリンタ部に同梱されています。
- 1 給紙カセットカバーを取り付けるカセットの上側のカセットを少し引き出します。
- 2 給紙カセットカバーの内側の穴に本体背面の用紙カセットの上にある突起部をはめ込み、給紙カセ ットカバーを取り付けます。



- ◆ 補足
 - ・給紙カセットカバーには取り付け用の穴が4つあります。穴の上には目印の突起があります。
 - ・給紙カセットカバーをカセット2、カセット3(オプション)に取り付けるときは、内側2つの穴 をカセット2、カセット3(オプション)の上の突起部にはめ込んで使用します。

2.3 電源ケーブルとLANケーブルの接続

電源ケーブルを接続してください。また、LANケーブルを本装置に設置することにより、ネットワ ークと接続します。



- 2.3.1 電源ケーブルの接続
 - 1 主電源が切れていることを確認します。 (Off(O)側に倒されていること)



- 2 本体背面右側の本体電源コネクタに電源コードをしっかりと差し込みます。
 - 重要

・電源コードが奥までしっかり差さっていないと、両面ユニットを引き出すときなどに電源ケ ーブルが抜ける原因になります。

- 3 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 2.3.2 LANケーブルの接続
 - 1本体の背面右側にあるイーサネットポートにケーブルを接続します。



2ケーブルの一方のコネクタをハブ(HUB)などのネットワーク機器に接続します。

第2章 準 備
第3章 操作説明

本章では、本装置の電源の投入と切断、操作パネルの配置と機能、動作モードと操作パネル、セットアップ、LAN接続、メッセージー覧および印刷時の操作について説明します。

3.1 電源の投入と切断

3.1.1 電源の投入



① 主電源スイッチをOn(|)側に倒します。

3.1.2 電源の切断

- 操作パネルに「電源切断準備中」メッセージが表示されるまで(約2秒間)「電源切断準備」キー を押し続けます。
- ② 装置は終了処理を行い、以下の表示に切り替わります。



③ 主電源スイッチをOff(○)側に倒します。



3.2 操作パネルの配置と機能

本装置の操作パネルは、操作に必要なスイッチ、LED、液晶パネルで構成されています。 液晶パネルには、装置の状態やエラーが発生したときのメッセージが表示されます。

3.2.1 操作パネルの配置

本装置の操作パネルの配置を図に示します。



ハードディスクにアクセス中に点灯します。

(1) 操作スイッチの機能

a) スタート/ストップ (セットアップ) キー



- 1) 印刷動作の開始・中断を指示します。
- 2) ストップ状態のとき、シフトキーを押下しながら本キーを押下することによりセットアップモード へ移行します。
- b) セレクト/ブザーオフ キー



- 1) ブザー鳴動時にいずれかのキーを押下するとブザーが停止します。
- 2) ▷ キー (右キー)

項目の選択、または、数字・文字列の入力時に押下します。 項目選択時は、次の選択項目を表示します。 数字・文字列入力時は、カーソルが右に一桁移動します。

3) 🗸 キー (左キー)

項目の選択、または、数字・文字列の入力時に押下します。 項目選択時は、前の選択項目を表示します。 数字・文字列入力時は、カーソルが左に一桁移動します。

- 4) △ キー(上キー)
 項目の選択、または、数字・文字列の入力時に押下します。
 項目選択時は、前の選択項目を表示します。
 数字・文字列入力時は、数字の増加、あるいは次候補文字を表示します。
 なお、共通ストップ画面にて、シフトキーを押しながら本キーを押下することにより「用紙づまり
 発生履歴」を表示します。(用紙づまり発生履歴については「3.3.3.4 用紙づまり履歴表示画面」
 を参照してください。)
- 5) ▽ キー(下キー) 項目の選択、または、数字・文字列の入力時に押下します。 項目選択時は、次の選択項目を表示します。 数字・文字列入力時は、数字の減少、あるいは前候補文字を表示します。 なお、本キーとセットキーを同時に押しながら電源を投入すると、装置が「6680-NMC未接続モー ド」で立ち上がります。(「6680-NMC未接続モード」については「付録7 6680-NMC未接続モード立 ち上げ」を参照してください。)
- c) セット/Yes (割込印刷) キー



- 1) 項目を確定させるときに押下します。
- 2) 装置からの問い合わせに対して同意するときに押下します。
- 3) 共通スタート画面、66XX・69XXスタート画面、FM/FNPオンライン画面にて、シフト キーを押しながら本キーを押下することにより、割込み印刷を実行します。(割込み印刷について は「1.6 6680-NMC優先印刷と割込み印刷機能」を参照してください。)
- 4) 本キーとリセットキーを同時に押しながら電源を投入すると、装置が「リクエスタ未接続モード」 で立ち上がります。(「リクエスタ未接続モード」については「付録6 リクエスタ未接続モード立 ち上げ」を参照してください。)
- 5) 本キーとセレクト (▽) キーを同時に押しながら電源を投入すると、装置が「6680-NMC未接続モー ド」で立ち上がります。(「6680-NMC未接続モード」については「付録7 6680-NMC未接続モード立 ち上げ」を参照してください。)

d) リセット/No キー



- 1) 操作を中止するときに押下します。
- 2) 装置からの問い合わせに対して同意しないときに押下します。
- 3) 用紙づまりなどのエラー状態を解除するときに押下します。
- 4) 本キーとセットキーを同時に押しながら電源を投入すると、装置が「リクエスタ未接続モード」で 立ち上がります。(「リクエスタ未接続モード」については「付録6 リクエスタ未接続モード立ち 上げ」を参照してください。)
- e) シフト キー



- ストップ状態のとき、本キーを押下しながらスタート/ストップキーを押下することによりセット アップモードへ移行します。
- 2) 共通スタート画面、66XX・69XXスタート画面、FM/FNPオンライン画面にて、本キー を押しながらセットキーを押下することにより、割込み印刷を実行します。(割込み印刷について は「1.6 6680-NMC優先印刷と割込み印刷機能」を参照してください。)
- 3) 共通ストップ画面にて、本キーを押しながら△キー(上キー)を押下することにより「用紙づまり 発生履歴」を表示します。(用紙づまり発生履歴については「3.3.3.4 用紙づまり履歴表示画面」 を参照してください。)

f) 電源切断準備 キー



装置の電源切断時に使用します。

本キーを2秒間押下し続けることでキー押下が確定され、キーランプが点灯します。 キー押下確定により、装置は終了処理を行い、以下のように表示します。この間、間欠のブザー音 を鳴らします。



その後、主電源スイッチで電源を切断します。

※1 データ受信中に本キーを押下した場合はメッセージ表示欄に以下のように表示します。

データ受信中
印刷を継続しますか?
Y∕N

「セット/Yes」キーを押下すると印刷を継続します。この場合、印刷完了後、再度「電源切断準備」キーを押下して電源切断処理を行ってください。

「リセット/No」キーを押下すると、印刷データを破棄して、電源切断可能状態になります。

※2 論理プリンタ FM のセットアップ中に本キーを押下した場合はメッセージ表示欄に以下のように 表示します。

「セット/Yes」キーを押下することにより、各設定を登録し、終了処理を開始します。 「リセット/No」キーを押下すると、登録を行わず、終了処理を開始します。

FM/FNP セットアッフ°
設定を
登録しますか?Y/N

※3 装置の終了処理においてメカがウォームアップ中であった場合はメッセージ表示欄に以下のよう に表示します。

電源断準備中					
メカ シャッ	トダウン				
処理中					

g) カセット キー



ストップ画面で押下すると、各カセットの用紙サイズおよび用紙残量を表示します。 詳細については 3.3.3.1項 を参照してください。 h) ショウモウヒン キー



ストップ画面で押下すると、消耗品の残量と消耗率を表示します。 詳細については 3.3.3.2項 を参照してください。

i) ネットワーク キー



ストップ画面で押下すると、ネットワーク設定を表示します。 詳細については 3.3.3.3項 を参照してください。

k) 主電源スイッチ



(1)装置の電源を投入するときに使用します。
 本スイッチをOn(|)側に倒すと電源が投入され、装置立ち上げ処理を行います。
 装置立ち上げ処理中はメッセージ表示欄に以下のように表示します。



表示中の"→"は、装置立ち上げ処理の進行度を示します。 装置立ち上げ処理が終了すれば、共通スタート画面に遷移します。

なお、操作パネルの以下のキーを押しながら電源投入した場合、特殊なモードで立ち上がります。

同時押下キー	立ち上げ後のモード	参照先	
セットキー+セレクト (▽) キー	6680-NMC未接続モード	付録7	
セットキー+リセットキー	リクエスタ未接続モード	付録6	

(2) 装置の電源を切断するときに使用します。

本スイッチをオフにすると電源が切断されます。

また、本スイッチをオフにする場合は、操作パネルの電源切断準備キーを押下して(約2秒間)、 「電源を切断できます」が表示されていることを確認した上で行ってください。

3.3 動作モードと操作パネル

- 3.3.1 動作モード
- (1) 電源投入後の動作モード変化

電源投入後の動作モードは、以下のとおりに変化します。図3.1に電源投入後の動作モード変化を示 します。

- a) イニシャルモード
 - 電源投入後は、まずイニシャルモードになり、以下の動作をします。
 - ハードウェアのチェックをします。
 ハードウェアエラーが検出されると、エラーコードが操作パネルに表示され、動作が停止します。このとき、電源を切断した後、再投入します。ハードウェアエラーが再現したときは担当
 保守員に連絡してください。
 - ウォーミングアップ動作をします。
 - 消耗品のチェックをします。
 - カバーオープンなど、メカのチェックをします。
 イニシャルモードの動作が正常に終了すると、スタートモードとなります。
- b) スタートモード
 - スタートモードは、印刷可能(印刷データ待ち)状態または印刷中の状態を示します。
 - ・ 以下の状態からスタートモードになります。
 ー イニシャルモードの動作が正常に終了
 ー ストップモードでスタートキー押下
 - ・ 消耗品交換の状態を検出すると、操作パネルに表示され、ステータスLEDが点滅します。
- c) ストップモード
 - ストップモードは、印刷動作停止の状態です。
 - ・ 以下の状態からストップモードになります。
 - スタートモードでストップキー押下
 - セットアップモードでリセットキー押下
 - ストップモードから、以下のモードに変わります。
 - シフトキー+スタート・ストップキーを押下すると、セットアップモードになります。
 スタートキーを押下すると、スタートモードになります。
- d) セットアップモード

セットアップモードは、各種の設定を行います(3.4項以降を参照)。



※上記表示例は種類の異なる論理プリンタを3つ設定している場合です。

図 3.1 電源投入後の動作モード変化

3.3.2 共通スタート画面

プリンタがスタート状態であることを示します。 電源投入による初期化処理が終了すると本画面が表示されます。



(1) 表示内容

- a) 状態表示
 - ① スタート : 印刷待機中
 - ② 印刷中 : 印刷動作中
- b) 論理プリンタ状態表示

プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。

- 印
 印刷待ち状態のプリンタ
- ② 1 : 受信データあり
- ③ 「「 : 上位装置電源断、データエラー(オペレーションチェック)
- ④ 📔 : 割込み印刷待ちのデータあり (ウェイトアイコン)

※ 設定していない論理プリンタ番号のアイコンは表示されません。

c) メッセージ表示

消耗品ニアライフ、または装置寿命が発生している場合にメッセージを表示します。

- ① プリントユニット準備 : プリントユニットのニアライフ
- ② 定期交換部品キット準備
 : 定期交換部品キット(定着器、転写ローラー、給紙コロ)の 交換時期
 ③ 定期交換部品キット交換
 : 定期交換部品キット(定着器、転写ローラー、給紙コロ)の 交換が必要
- ④ 装置寿命 : 装置寿命

※ 詳細は『5.14 消耗部品メッセージ』を参照のこと

- a) スタート・ストップ キー
 すべての論理プリンタをストップ・オフライン状態に遷移し、装置内の用紙を印刷・排出した後、
 共通ストップ画面(3.3.3項)に遷移します。
- b) セレクト▷ (
 し) キー
 最初の(最後の)論理プリンタのスタート/オンライン画面(3.3.4項、3.3.6項)に遷移します。

3.3.3 共通ストップ画面

プリンタがストップ状態であることを示します。(すべての論理プリンタが停止しています。)



(1) 表示内容

- a) 状態表示 ① ストップ : ストップ状態
- b) 論理プリンタ状態表示 プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。
 ① 「 上位装置電源断、ストップ/オフライン、データエラー(オペレーションチェック)

※ 設定していない論理プリンタ番号のアイコンは表示されません。

c) 状態表示キー表示
 表示下にあるキーの有効性を示します。

- a) スタート・ストップ キー すべての論理プリンタをスタート状態に遷移し、共通スタート画面(3.3.2項)を表示します。
- b) セットアップ キー (シフト キー+スタート・ストップ キー) 共通セットアップ画面(3.4項)に遷移します。ただし、プリンタがデータを保持している場合、セッ トアップは不可です。
- c) セレクト▷ (<) キー 最初の(最後の)論理プリンタ(個別)のストップ/オフライン画面(3.3.5項、3.3.7項)に遷移し ます。
- d) シフト キー+セレクト△ キー
 用紙づまり履歴表示画面(3.3.3.4項)に遷移します。
- e) カセット キー 各カセットの用紙サイズと用紙残量状況を表示します(3.3.3.1項)。
- f) ショウモウヒン キー
 各消耗品の残量または消耗率を表示します(3.3.3.2項)。
- g) ネットワーク キー ネットワークアドレスの情報を表示します(3.3.3.3項)。

3.3.3.1 カセット情報表示画面

各カセットの用紙サイズと用紙残量状況を表示します。



(1) 表示内容

- a) 状態表示
 - カセット 表示される種類は以下のとおりです。
 ・カセット1 ・カセット2 ・カセット3

※ カセット3は給紙ユニット増設時のみ表示します。※ カセットがセットされていない場合は「カセットX 未セット」を表示します。

- ② 用紙サイズ
 各カセットの用紙サイズを表示します。
 表示されるサイズは以下のとおりです。
 ・A3 ・A4 ・A5 ・B4 ・B5 ・LT
- ③ 用紙残量状況
 各カセットの用紙残量状況を表示します。
 表示される残量状況は以下のとおりです。
 ・100% ・70% ・30% ・10% ・用紙なし
 カセット内側に示された上限表示(▼▼)までセットすると「100%」となります。
- (2) キー機能
 - a) リセット キー 共通ストップ画面(3.3.3項)に戻ります。

3.3.3.2 消耗品情報表示画面

消耗品情報を表示します。



(1) 表示内容

a) 状態表示

- a) セレクト▽(△) キー
 消耗品情報表示画面を次(前)の画面に切り替えます。
- b) リセット キー 共通ストップ画面(3.3.3項)に戻ります。

3.3.3.3 ネットワーク設定表示画面

ネットワーク設定を表示します。



△/▽ キーで状態表示切替

(1) 表示内容

a) 状態表示

【有効プロトコル= I P v 4の場合】

① 有効プロトコル

	有効プロトコル IPv4
2	IPv4-IPアドレス
	IPv4-IPアドレス xxx. xxx. xxx. xxx
3	- IPv4-ネットマスク
	IPv4-ネットマスク xxx. xxx. xxx. xxx

④ IPv4-デフォルトルータ



※ ネットワークアドレスは10進数で表示します。



※ ネットワークアドレスは16進数で表示します。

【有効プロトコル=IPv4/IPv6の場合】
 IPv4/IPv6の両方の情報を表示します。
 IPv4につきましては、【有効プロトコル=IPv4の場合】を参照ください。
 IPv6につきましては、【有効プロトコル=IPv6の場合】を参照ください。

- a) セレクト▽(△) キー ネットワーク設定表示画面を次(前)の画面に切り替えます。
- b) リセット キー 共通ストップ画面(3.3.3項)に戻ります。

3.3.3.4 用紙づまり履歴表示画面

共通ストップ画面にて最新の用紙づまりの履歴(ただし、残紙系を除く)を最大2つ表示します。



用紙づまり履歴
1. E R 9 1 − 1 8
2. E R 9 1 − 1 1

(1) 表示内容

a) 用紙づまり履歴

最新の通常用紙づまり(91-XX)を最大2世代まで表示します。 用紙づまり履歴がない場合は「なし」を表示し、用紙づまり履歴が1つの場合は1つだけを表示しま す。

2世代表示時は、上側が新しい用紙づまり履歴です。

(2) キー機能

a) リセット キー 共通ストップ画面に戻る。 3.3.4 66XX・69XXスタート画面(エミュレーション個別画面)

論理プリンタがスタート状態であることを示します。



(1) 表示内容

a) 状態表示

スタート : 印刷待機中
 印刷中 : 印刷動作中

- b) エミュレーション種別
 ① 66XX : 66XXエミュレーション
 ② 69XX : 69XXエミュレーション
- c) 論理プリンタ状態表示

プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。

- ① □ : 印刷待ち状態のプリンタ
- ② 1 : 受信データあり
- ③ [] : 上位装置電源断
- d) メッセージ表示

 ①データエラー=XX : データエラー(オペレーションチェック)発生時に表示します。 XX:詳細コード(付録1.4 参照) 「リセット」キー押下にてクリアします。
 ②上位装置電源断 : 上位装置の電源が切断された場合など、上位装置との接続が不可能な 場合に表示します。 接続が確立された時点でクリアします。

※表示すべき情報がない場合は空白となります。

- a) スタート・ストップ キー すべての論理プリンタをストップ、オフライン状態とし、66XX・69XXストップ画面(3.3.5項)に遷移 します。
- b) セレクト▷ (
 次の(直前の)論理プリンタ情報画面に遷移します。
 最後の(最初の)論理プリンタの場合、共通スタート画面(3.3.2項)に遷移します。
- c) リセット/No キー
 状況表示欄にデータエラーが表示されている場合、表示をクリアします。

 3.3.5 66XX・69XXストップ画面(エミュレーション個別画面) 論理プリンタがストップ状態であることを示します。



- (1) 表示内容
 - a) 状態表示① ストップ : ストップ状態
 - b) エミュレーション種別
 - ① 66XX : 66XXエミュレーション
 - ② 69XX : 69XXエミュレーション
 - c) 論理プリンタ状態表示 プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。
 - ① [1] : 上位装置電源断、ストップ/オフライン、データエラー(オペレーションチェック)
 - ② 1 : 受信データあり
 - d) メッセージ表示
 ① 印刷データあり : この画面に遷移したときに印刷データが残っている場合、 あるいはモード遷移後に印刷データを受信した場合に表示

※ 表示すべき情報がない場合は空白となる。

- (2) キー機能
 - a) スタート・ストップ キー すべての論理プリンタをスタート、オンライン状態とし、66XX・69XXスタート(3.3.4項)画面に遷移 します。
 - b) セットアップ キー (シフト キー+スタート・ストップ キー)
 66XX、69XX 論理プリンタセットアップ(3.5項)に遷移します。ただし、プリンタがデータを保持している場合、セットアップに遷移できません。
 - c) セレクト▷ (<) キー
 次の(直前の)論理プリンタ情報画面に遷移します。
 最後の(最初の)論理プリンタの場合、共通ストップ画面(3.3.3項)に遷移します。

3.3.6.1 FMモード



(1) 表示内容

- a) 状態表示① オンライン : オンライン状態
- b) 解像度
 データ受信中の解像度を表示します。
 ① 240 : 240dpi
 ② 400 : 400dpi
- c) コマンドモード
 コマンドモードを表示します。
 F : FMLBPモード
- d) 両面印刷

データ受信中の印刷設定を表示します。

- □□□
 : 片面印刷(□は空白)
- ② 普通 : 普通綴じ両面印刷
- (3) 左
 : 左綴じ両面印刷
- ④ 右: 右綴じ両面印刷
- 5 上
 : 上綴じ両面印刷
- ⑥ 下 : 下綴じ両面印刷

e) 印刷モード

データ受信中の印刷モードを表示します。

- □□□□ : 通常印刷(□は空白)
- ② 75% : 75%縮小印刷
- ③ 70% : 70%縮小印刷
- ④ L1 : リスト1印刷
- L2 : リスト2印刷
- ⑥ L3 : リスト3印刷
- ⑦ L P : LP偏倍印刷
- 8 HEX : HEXダンプ印刷
- ⑨ 80% : 80%縮小印刷

 ^{3.3.6} FM/FNPオンライン画面(エミュレーション個別画面) 論理プリンタがオンライン状態であることを示します。

f) 論理プリンタ状態表示

プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。

- 印 印刷待ち状態のプリンタ
- ② 1 : 受信データあり
- ③ [1] : 上位装置電源断※
 - ※ 上位装置の電源が切断された場合など、上位装置との接続が不可能な場合は、パネル2行目の 論理プリンタのアイコンが ① (上位装置電源断)となります。このステータスは接続が確立した 時点でクリアされ、通常の表示に戻ります。
- g) 印刷方向

データ受信中の印刷報告を表示します。

- ① 縦 : ポートレート印刷
- ② 縦余白 : 余白付きポートレート印刷
- ③ 横 : ランドスケープ印刷
- ④ 横余白 : 余白付きランドスケープ印刷
- h) 給紙ロー用紙サイズ

データ受信中の給紙口・用紙サイズを表示します。

- AUTO : 自動給紙
- ② #-** : 給紙口、用紙サイズ表示

#]	1 :	カセット1	**] A	3:	A3用紙
4	2 :	カセット2	A	4 :	A4用紙
;	3 :	カセット3	А	5:	A5用紙
			В	4 :	B4用紙
			В	5:	B5用紙
			L	Г:	レター用紙

- a) スタート・ストップ キー すべての論理プリンタをストップ、オフライン状態とし、FMオフライン画面(3.3.7項)に遷移します。
- b) セレクト▷ (
 次の(直前の) 論理プリンタ情報画面に遷移します。
 最後の(最初の) 論理プリンタの場合、共通スタート画面(3.3.2項)に遷移します。

3.3.6.2 FNPモード

FNP指定で印刷要求された場合は、FMモードオンライン画面(3.3.6.1項)から以下のオンライン画面 となります。

FNP指定データ完了後は、FMモードオンライン画面(3.3.6.1項)に戻ります。



(1) 表示内容

- a) 状態表示① オンライン : オンライン状態
- b) 解像度

データ受信中の解像度を表示します。

- ① 240 : 240dpi
- ② 400 : 400dpi
- ③ 600 : 600dpi
- ④ 1200: 1200dpi
- c) コマンドモード

表示はありません。

d) 両面印刷

データ受信中の印刷設定を表示します。

- □□□ : 片面印刷(□は空白)
- 2 左 : 左綴じ両面印刷
- ③ 右 : 右綴じ両面印刷
- ④ 上 : 上綴じ両面印刷
- 5 下 : 下綴じ両面印刷

e) 印刷モード

データ受信中の印刷モードを表示します。

- ① □□□ : 通常印刷(□は空白)
- ② 66% : 66%縮小印刷
- ③ 80% : 80%縮小印刷
- ④ L P : LP偏倍印刷

f) 論理プリンタ状態表示

プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。

- 印 印刷待ち状態のプリンタ
- ② 1 : 受信データあり
- ③ [1] : 上位装置電源断※
 - ※ 上位装置の電源が切断された場合など、上位装置との接続が不可能な場合は、パネル2行目の 論理プリンタのアイコンが① (上位装置電源断)となります。このステータスは接続が確立した 時点でクリアされ、通常の表示に戻ります。
- g) 印刷方向
 - データ受信中の印刷報告を表示します。
 - ① 縦 : ポートレート印刷
 - ② 横 : ランドスケープ印刷
- h) 給紙ロー用紙サイズ

データ受信中の給紙口・用紙サイズを表示します。

- ① AUTO : 自動給紙
- ② #-** : 給紙口、用紙サイズ表示

#]	1	:	カセット1	**] A 3	:	A3用紙
	2	:	カセット2	A 4	:	A4用紙
	3	:	カセット3	A 5	:	A5用紙
	手	:	手差しトレイ※	В4	:	B4用紙
				В 5	:	B5用紙
				LT	:	レター用紙

※ 手差しはWindowsプリンタドライバからの印刷のみサポート

- (2) キー機能
 - a) スタート・ストップ キー すべての論理プリンタをストップ、オフライン状態とし、FNPオフライン画面(3.3.7項)に遷移しま す。
 - b) セレクト▷ (
 次の(直前の)論理プリンタ情報画面に遷移します。
 最後の(最初の)論理プリンタの場合、共通スタート画面(3.3.2項)に遷移します。

3.3.7 FM/FNPオフライン画面(エミュレーション個別画面)

論理プリンタがオフライン状態であることを示します。



【FNPモード】



(1) 表示内容

a) 状態表示

① オフライン : オフライン状態

b) 論理プリンタ状態表示

プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。

- ① 1 : 受信データあり
- ② [1] : 受信データなし

※ 上記 a)、b) 以外の表示につきましては、FM/FNPオンライン画面の項(3.3.6項)を参照してください。

- (2) キー機能
 - a) スタート・ストップ キー すべての論理プリンタをスタート、オンライン状態とし、FM/FNPオンライン画面(3.3.6項)に遷移し ます。
 - b) セットアップ キー (シフト キー+スタート・ストップ キー)
 FM 論理プリンタセットアップ(3.6項)に遷移します。ただし、プリンタがデータを保持している場合、セットアップは不可です。
 - c) セレクト▷ (○) キー
 次の(直前の)論理プリンタ情報画面に遷移します。
 最後の(最初の)論理プリンタの場合、共通ストップ画面(3.3.3項)に遷移します。

3.4 共通セットアップ

共通セットアップは、共通ストップ画面でシフトキーを押下しながらスタート/ストップキーを押下 することで遷移します。



共通セットアップモードでは、選択されている項目を反転して表示します。

3.4.1 画面遷移



3.4.2 メニュー画面

共通設定 1/9
 1. テストプリント
 2. 濃度設定

- (1) 表示内容
 - a) セットアップ項目

選択可能なセットアップ項目を表示します。

- ① 1. テストプリント
 : テストプリント (3.4.3 項) : 印刷濃度の設定 (3.4.4 項) ② 2. 濃度設定 ③ 3. カール抑制設定 : 用紙カール抑制の設定(3.4.5 項) ④ 4. 消耗品 : 消耗品表示 (3.4.6 項) ⑤ 5. ブザー音設定 : 異常発生時のブザー鳴動のオン/オフ(3.4.7 項) : GS1-128バーコードパターンの白黒補正 (3.4.8 項) ⑥ 6. GS1-128設定 ⑦ 7. プリントカウンタ : 装置の総印刷ページ数の表示 (3.4.9 項) ⑧ 8. 手差し設定 : 手差しの用紙サイズ/メディアタイプの設定(3.4.10項) ⑨ 9. 環境設定 : プリンタの各種環境設定(3.4.11 項)
- (2) キー機能
 - a) セレクト▽(△) キー
 次の(直前の)セットアップ項目を表示します。
 - b) セット キー 選択されているセットアップ画面に遷移します。
 - c) リセット キー

共通ストップ画面に戻ります。

※「9.環境設定」の「2.環境初期化」「3.装置環境」「4.論理プリンタ」いずれかの設定を変更してい た場合、本キーは無効となります(共通ストップ画面に遷移しません)。

3.4.3 テストプリント(共通設定→1. テストプリント)

テスト印刷を行います。



- (1) 表示内容
 - a) 給紙選択項目

選択可能な給紙元を表示します。

- ① カセット1 : カセット1
- ② カセット2 : カセット2
- ③ カセット3
 - : カセット3 (注)カセット3はオプション装着時のみ表示します。
- ④ 手差しトレイ
- b) 印刷面選択項目

選択可能な印刷モードを表示します。

- ① 片面 : 片面印刷モード
- ② 両面 : 両面印刷モード

- (2) キー機能

 a) セレクト(△/▽) キー
 設定する項目(給紙/パス)を選択します。
 - b) セレクト(▷/<) キー
 選択した項目の設定を切り替えます。
 - c) セット キー テストプリント開始確認画面に遷移します。 その後、スタートキーを押下すると設定した条件で印刷が開始され、印刷完了後「選択画面」に戻 ります。
 - d) リセット キー
 共通セットアップ項目選択画面に戻ります。
- (3) その他

手差しトレイが選択された場合の「用紙サイズ」「メディアタイプ」についてはセットアップの設定値 に従います。

「給紙=手差しトレイ」かつ「パス=両面」が指定された場合は、片面で印刷します。

3.4.4 濃度設定(共通設定→2.濃度設定)

印刷濃度の設定を行います。



(1) 表示内容

- a) 印刷濃度設定フィールド
 - 印刷濃度の設定値を表示します。
 - ① 濃度=-6
 - ② 濃度=-5
 - ③ 濃度=-4
 - ④ 濃度=-3
 - ⑤ 濃度=-2
 - ⑥ 濃度=-1
 - ⑦ 濃度=標準
 - ⑧ 濃度=+1
 - ⑨ 濃度=+2
 - ⑩ 濃度=+3
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "標準"です。
 - ※ 「+」側にすると濃くなります。

- a) セレクト(▷/◁) キー
 設定値を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を登録し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。
- (3) その他
 - ・濃度を変更する場合は、変更後の印刷内容に問題がないか確認を行ってください。特にバーコード 印刷を行っている場合は十分な読取り確認を実施してください。
 - ・標準より濃い設定を選択すると、トナーの消耗が早くなります。

第3章 操作説明

3.4.5 カール抑制設定(共通設定→3.カール抑制設定)

用紙がカールしにくい印刷モードの設定を行います。 両面印刷の薄紙などで、紙先端がカールして用紙づまり/シワなどの原因になる場合に設定します。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - ① 1. 無効 : 通常モードに設定します。
 - ② 2. 有効 : カール抑制モードに設定します。
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "無効"です。
- (2) キー機能
 - a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 現在の選択内容を登録し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。
 - c) リセット キー 選択操作を中止し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。
- (3) その他
 - ・カール抑制設定を「有効」に設定すると、ファーストプリント/省エネモードからの復帰時間が長くなる場合があります。
 - ・カール抑制設定を「有効」としている状態で厚紙を使用すると、トナーの定着性が低下する可能性があるため、十分に確認のうえご使用ください。

3.4.6 消耗品(共通設定→4.消耗品)

交換要求のある消耗品を表示します。



(1) 表示内容

a) 交換部品数表示 交換要求のある部品が存在する場合にはその合計の数を表示します。 存在しない場合には"交換部品はありません"と表示します。

b) 交換部品表示

交換要求のある部品名を表示します。
 プリントユニット
 プリントユニットの交換時期であることを示します。
 プリントユニットはお客様にて手配・交換いただく部品です。
 交換の手順は「4.1 プリントユニットを交換する」を参照願います。

 ② 定期交換部品キット
 : 定期交換部品キット(定着器、転写ローラー、給紙コロ)の交換時期 であることを示します。
 定期交換部品キットはCE交換部品です。保守員にご連絡ください。

- a) セレクト(△/▽) キー
 交換部品が複数あるとき、交換部品表示を切り替えます。
 交換部品表示は、交換要求のある部品だけ行い、要求のないものは行いません。
 交換要求のある部品をすべて表示し終えると、最初から表示を繰り返します。
- b) セット キー 交換品数表示で押下すると、交換品表示へ切り替えます。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、上位のメニュー画面に戻ります。

3.4.7 ブザー音設定(共通設定→5.ブザー音設定)

異常発生時のブザー鳴動のオン・オフを設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

① 1. パターン1: 異常発生時にブザー(パターン1)を鳴動します。
② 2. パターン2: 異常発生時にブザー(パターン2)を鳴動します。
③ 3. パターン3: 異常発生時にブザー(パターン3)を鳴動します。
④ 4. オフ : 異常発生時にブザー鳴動を行いません。
※ 現在の設定内容の左には '*'を表示します。 デフォルト値は "パターン1"です。

(2) キー機能

- a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を登録し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。
- (3) その他

ブザーの鳴動パターンは以下です。

- ①パターン1:0.3秒鳴動ON→0.3秒鳴動OFF→0.3秒鳴動ON→0.3秒鳴動OFF→・・
- ②パターン2:1.5秒鳴動ON→1秒鳴動OFF→1.5秒鳴動ON→1秒鳴動OFF→・・
- ③パターン3:0.2秒鳴動0N→0.2秒鳴動0FF→0.2秒鳴動0N→0.5秒鳴動0FF→0.2秒鳴動0N→
 0.2秒鳴動0FF→0.2秒鳴動0N→0.5秒鳴動0FF→・・

3.4.8 GS1-128設定(共通設定→6.GS1-128設定)

GS1-128(旧称: EAN-128) バーコードを印刷する際の黒/白バーパターンの補正を設定します。 本設定はFMエミュレーションのFNPモードの600/1200dpi印刷時のみ有効です。 GS1-128(料金代理収納用)バーコードは、高密度であるため十分な印字品質管理が必要です。 実運用に先立ち、事前に読取り確認を行うことを推奨します。 本設定と「3.4.4 濃度設定」がデフォルト値では、読取りが不十分な場合は、最適値に設定して

ください。



(1) 表示内容

- a) 選択項目
 - ① 1. 補正=白黒補正 : 白バーと黒バーの補正を行います。
 - ② 2. 補正=白補正 : 白バーの補正を行います。
 - ③ 3. 補正=なし : 補正なし
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "白黒補正"です。

(2) キー機能

- a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を登録し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。

(3) その他

補正値は以下です。(単位はdot)

解像度	白黒補正	白補正	無効(補正なし)	
600dpi	白 = +1 / 黒 = -1	白 = +1 / 黒 = 0	白 = 0 / 黒 = 0	
1200dpi	白 = +2 / 黒 = -2	白 = +2 / 黒 = 0	白 = 0 / 黒 = 0	

3.4.9 プリントカウンタ(共通設定→7. プリントカウンタ)

装置の総印刷ページ数を表示します。



- (1) 表示内容
 - a) 総印刷ページ数
 装置の総印刷ページ数を表示します。
 - 注)総印刷ページ数は、A3用紙の印刷で2カウントし、それ以外の用紙の印刷では1カウントし て算出しています。
- (2) キー機能
 - a) リセット キー 共通セットアップ項目選択画面に戻ります。
3.4.10 手差し設定(共通設定→8.手差し設定)

手差しトレイの用紙サイズとメディアタイプを設定します。



(1) 表示内容

- a) 手差し設定選択
 - 設定を行う選択項目を表示します。
 - ① 1. 用紙サイズ
 - ② 2.メディアタイプ
- b) 選択項目(用紙サイズ設定時)
 - 用紙サイズの設定を表示します。
 - ① 1. A 3 : A 3
 - ② 2. A 4 : A 4
 - ③ 3. A 5 : A 5
 - ④ 4. B 4 : B 4
 - ⑤ 5. B 5 : B 5
 - ⑥ 6.LT : レター
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "A4"です。
- c) 選択項目(メディアタイプ設定時)

メディアタイプの選択項目を表示します。

- ① 1. NORMAL : 普通紙 (用紙坪量 64~105g/m²)
- ② 2. H I G H : 厚紙 1 (用紙坪量106~157g/m²)
- ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。デフォルト値は "HIGH" です。

- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 選択されている選択項目画面に遷移します。
 - c) リセット キー 選択を中止し、メニュー画面に戻ります。

3.4.11 環境設定(共通設定→9.環境設定)

プリンタの動作環境設定を行います。設定後は、電源再投入が必要です。

(1) 認証

管理コードが設定されている場合、環境設定メニューへの遷移前に認証画面を表示します。 環境設定を開始するために、予め設定済みの管理コードを入力してください。 管理コードは、各桁が1~4の数字で構成される8桁のコードです。

管理コード入力 111111111

キー機能

- a) セレクト(△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)。
- b) セレクト(▷/◁) キー カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー 入力操作を完了します。
 入力した管理コードが正しい場合は、環境設定メニュー画面に遷移します。
 正しくない管理コードが入力された場合は、入力ミスを表示します。
 このとき、「リセット」キーを押下すれば、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。



d) リセット キー 入力操作を中止し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。 (2) 環境設定メニュー画面



表示内容

a)	選抄	目更5		
	選抄	R可能な項目を表示し	ます	 0
		1. 設定印刷	:	環境設定内容の印刷(3.4.12 項)
	2	2. 環境初期化	:	環境初期化(3.4.13 項)
	3	3.装置環境	:	装置環境管理メニューへ遷移(3.4.14 項)
	4	4. 論理プリンタ	:	論理プリンタ設定メニューへ遷移(3.4.25項)

キー機能

- a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 選択されている設定画面に遷移します。
- c) リセット キー共通セットアップ項目選択画面に戻ります。

(3) 電源再投入警告画面

「2. 環境初期化」の実行、または「3. 装置環境」「4. 論理プリンタ」において設定項目のいずれかを最初 に設定したとき、電源再投入警告画面を表示します。

本設定後、電源再投入
が必要です
設定しますか?Y/N

キー機能

- a) セット(Yes) キー 設定した値を確定し、設定画面に戻ります。
- b) リセット(No) キー
 設定した値を確定せず、設定画面に戻ります。

設定終了後は、「電源切断準備キー」押下による電源再投入が必要です。主電源スイッチによる電源切断は、 装置故障の原因となることがあります。特に、設定変更後に「電源切断準備キー」押下による電源切断が行 われなかった場合、設定は保存されませんので注意してください。

3.4.12 設定印刷(共通設定→9.環境設定→1.設定印刷)

環境設定内容を印刷します。



(1) 表示内容

a) 印刷モード選択項目

 ① 片面 : 片面印刷モード
 ② 両面 : 両面印刷モード
 ※ デフォルト値は"片面"です。

(2) キー機能

- a) セレクト(▷/<>) キー
 選択項目を切り替えます。
- b) スタート キー 設定印刷を開始します。 印刷が開始されると画面表示が「印刷中」となり、印刷終了後、環境設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 環境設定メニュー画面に戻ります。

(3) 動作条件

- a) 印刷可能用紙サイズ すべての用紙で印刷可能です(A3、B4、A4、B5、A5、レター)。
- b) 給紙元の優先順位
 カセット1 → カセット2 → カセット3

※ただし、以前に印刷を行ったカセットから上記の順番で印刷します。 ※手差しトレイからは印刷できません。

(4) 印刷フォーマット例

```
***設定印刷***
                   [VSP4530B]
システム総合版数
                : E01V01L01
メカコンファーム版数 : ME01V01L01
FPGA版数
                : V01L01
BootROM版数
                : E01V01L01
シリアルNO
                 : \times \times \times \times \times \times \times \times \times
装置寿命
                 :範囲内
【オプション情報】

    拡張出力機構

 ・カセット3

    GS連携機構

【装置環境管理】
 ・管理コード設定
                            1\ 2\ 3\ 4\ 1\ 2\ 3\ 4
                            2012/01/01 XX:XX

    日付/時間

    印刷濃度設定

                            標準
 ・カール抑制設定
                            無効
 ・ブザー音設定
                            パターン1

    GS1-128設定

                            白黒補正
  (旧称: EAN-128)
 ・手差し設定
    用紙サイズ
                            A4
    メディアタイプ
                            ΗΙGΗ
 ・MACアドレス設定
    グローバルアドレス
                            XXXXXXXXXXXXX
 ・ネットワークアドレス
    有効プロトコル
                            I P v 4 ∕ I P v 6
    IPv4ネットワークアドレス設定
       IPアドレス
                            000, 000, 000, 000
                            000, 000, 000, 000
       ネットマスク
       ゲートウェイアドレス1
          宛先アドレス
                            000. 000. 000. 000
          ゲートウェイアドレス
                            000. 000. 000. 000
       ゲートウェイアドレス2
          宛先アドレス
                            000. 000. 000. 000
          ゲートウェイアドレス
                            000. 000. 000. 000
       ゲートウェイアドレス3
          宛先アドレス
                            000. 000. 000. 000
          ゲートウェイアドレス
                            000. 000. 000. 000
       ゲートウェイアドレス4
          宛先アドレス
                            000. 000. 000. 000
          ゲートウェイアドレス
                            000. 000. 000. 000
       デフォルトルータ設定
                            000. 000. 000. 000
    IPv6ネットワークアドレス設定
       IP (リンクローカル) アドレス
                  FE80:0000:0000:0000:
                  0 2 0 0 : 0 0 F F : F E 0 0 : 0 0 0 0
       IP (グローバル) アドレス
                  3 F F E : 0 1 2 3 : 4 5 6 7 : 8 9 A B :
                  0200:00FF:FE00:0000
       ゲートウェイアドレス
                  3 F F E : 0 1 2 3 : 4 5 6 7 : 8 9 A B :
                  0 1 2 3 : 4 5 F F : F E 7 8 : 9 A B C
```

				【続き】
・データレー	ト設定	オート		
• DS-LI	NK 設定			
Τ1	$C N C T \rightarrow C A C K$	タイマ値 : 02 .0秒	再送回数: 07	
Τ2	$D I S C \rightarrow D C T D$	タイマ値 : 02.0秒	再送回数: 07	
Т3	$L b i t \rightarrow R R$	タイマ値 : 02.0秒	再送回数:00	
Τ4	$E N Q \rightarrow R R$	タイマ値 : 02.0秒	再送回数:07	
Т 5	$R N R \rightarrow E N Q$	タイマ値 : 02.0秒	再送回数:07	
Т6	無通信監視	タイマ値 : 02.0 秒	再送回数:00	
Т7	$T D Q \rightarrow I D R$	タイマ値 : 02.0秒	再送回数:07	
Т8	ポートオープン待ち	タイマ値:01.0秒	再送回数:01	
T 1 0	CNCTリトライアウト	タイマ値:10.0秒		
T 1 1	X I D→X I D	タイマ値 : 02.0秒	再送回数:00	
T 1 2	$T \to S T \to T \to S T$	タイマ値:02.0秒	再送回数:05	
T 1 3	パス解放→CNCT	タイマ値:02.0秒	再送回数:00	
・マシン名設	定	ABCDEFGHIJKLMNOPQ	RSTUVWX	
		YZABCDEFGHIJKLMNC	PQRS	
 SNMP設定 	定	C C	-	
コミュニテ	- イ名	ABCDEFGHIIKLMNOPQ	RSTUVWX	
• •		YZABCDEFGHIIKLMNO	PORS	
トラップ通	角知先設定	 トラップ有効		
通知先1		1 2 2 2 14224		
通知先	ミアドレス	172.025.093.0	078	
プリン	タ記動通知	有劲		
 ユミュ	ニティ違反通知	有効		
プリン	タ状能通知	5		
 通知先?		0		
・省エネモー	- ド設定	30秒		
- ・綴じ揃え		無効		
【論理プリンタ	設定】			
• · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
・論理プリン	タ1			
サポート	サーバ	PrintWalker/1	РM	
伝送経路		ТСР∕ІР		
エミュレ	ーション	FM		
ポート番	号	09313		
	Č.			
スムージ	ング	オン		
給紙元設	定			
給紙	口 1	カセット1/カセット2/>	カセット3	
給紙	口 2	カセット1/カセット2/2	カセット3	
給紙	口 3	カセット1/カセット2/2	カセット3	
自動	給紙	カセット1/カセット2/2	カセット3	
	••••	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
・論理プリン	タ2	設定なし		
 ・論理プリン 	タ3	設定なし		

(注意)

・装置寿命は、寿命になったとき以降は、「到達」と表示します。

・オプション情報は組み込まれているもののみ印刷します。

・ネットワークアドレス設定

有効プロトコルがIPv4の場合:

IPv6関連のアドレスは空白で印刷します。

有効プロトコルがIPv6の場合:

IPv4関連のアドレスは空白で印刷します。

有効プロトコルがIPv6、またはIPv4/IPv6の場合:

IPv6のグローバルアドレスなしであれば、IP(グローバル)アドレスとゲートウェ

イアドレスは、ALL '0' で印刷します。

有効プロトコルのデフォルトはIPv4です。

3.4.13 環境初期化(共通設定→9.環境設定→2.環境初期化)

環境設定値を工場出荷値に初期化します。



(1) キー機能

- a) セット/Yes キー 環境設定値を工場出荷値に初期化します。 初期化終了後、環境設定メニュー画面に戻ります。
- b) リセット/No キー 操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

(2) 初期化項目

本機能にて、初期化される項目は以下のとおりです。

装	置環境	初期値		
管理コード		設定なし		
ブザー		パターン1		
GS1-128設定		白黒補正		
MACアドレス		グローバルアドレス		
手差し設定	用紙サイズ	A 4		
	メディアタイプ	HIGH		
ネットワーク設定	有効プロトコル	IPv4		
	IPアドレス	000. 000. 000. 000		
	ネットマスク	000. 000. 000. 000		
	ゲートウェイアドレス1	宛先アドレス、ゲートウェイアドレス共000.000.000.000		
	ゲートウェイアドレス2	宛先アドレス、ゲートウェイアドレス共000.000.000.000		
	ゲートウェイアドレス3	宛先アドレス、ゲートウェイアドレス共000.000.000.000		
	ゲートウェイアドレス4	宛先アドレス、ゲートウェイアドレス共000.000.000.000		
	デフォルトルータ設定	000. 000. 000. 000		
DS-LINK	T1 CNCT→CACK	タイマー値:2秒、再送回数:7回		
	T2 DISC→DCTD	タイマー値:2秒、再送回数:7回		
	T3 Lbit→RR	タイマー値:2秒、再送回数:0回		
	T4 ENQ→RR	タイマー値:2秒、再送回数:7回		
	T5 RNR \rightarrow ENQ	タイマー値:2秒、再送回数:7回		
	T6 無通信監視	タイマー値:2秒、再送回数:0回		
	T7 IDQ→IDR	タイマー値:2秒、再送回数:7回		
	T8 ポートオープン待ち	タイマー値:1秒、再送回数:1回		
	T10 CNCT リトライアウト	タイマー値:10秒		
	T11 XID→XID	タイマー値:2秒、再送回数:0回		
	T12 TEST→TEST	タイマー値:2秒、再送回数:5回		
	T13 パス解放→CNCT	タイマー値:2秒、再送回数:0回		
データレート設定		オート		
マシンネーム		VSP4530B * * * * * *		
		(*****:グローバルアドレスの下6桁)		

【続く】

第3章 操作説明

【続き	1
L NUL C	

装	置環境		初期値			
SNMP コミュニティ名		7名	設定なし(NULL)			
	トラップ通知	印先設定	トラップ無効			
	通知先1	通知先アドレス	000. 000. 000. 000			
		プリンタ 起動通知	無効			
	コミュニティ違反通知 フ [*] リンタ 状態通知 通知先2		無効			
			5			
			(通知先1と同じ設定)			
	通知先3					
通知先4						
省エネモード			30秒			
綴じ揃え設定			無効			

論理	プリンタ	初期値		
論理プリンタ1	サポートサーバ	PrintWalker/PM		
	伝送経路	TCP/IP		
	エミュレーション	FM		
	ポート番号	09313		
	リクエスタサーバアドレス	000. 000. 000. 000		
	スムージング	オン		
	給紙元設定	全カセット有効		
論理プリンタ2~3		設定なし		
その他		FNPキャッシュファイルのクリア		

3.4.14 装置環境(共通設定→9.環境設定→3.装置環境)

装置の動作環境設定を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

① 1.管理コード	:	管理コードの設定(3.4.15 項)
② 2.日付/時間	:	日付・時間の設定(3.4.16 項)
③ 3. MACアドレス	:	MACアドレスの表示(3.4.17 項)
④ 4. ネットワーク設定	:	ネットワーク関連の設定(3.4.18 項)
⑤ 5.データレート	:	データレート設定(3.4.19 項)
⑥ 6. D S – L I N К	:	DS−LINK関連設定(3.4.20項)
⑦ 7.マシンネーム	:	マシン名の設定(3.4.21 項)
⑧ 8. S N M P	:	SNMPの設定(3.4.22 項)
⑨ 9.省エネモード	:	省エネモードの設定(3.4.23 項)
⑩ 10. 綴じ揃え設定	:	綴じ揃えの設定(3.4.24 項)

- a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 選択されている設定画面に遷移します。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.4.15 管理コード(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→1.管理コード)

セットアップセキュリティのため、管理コードの設定を行います。管理コードを設定すると、 環境設定メニュー選択時に入力を要求されます。(入力値を忘れないようにご注意ください)



- (1) 表示内容
 - a) 管理コード入力フィールド 管理コードの入力値を表示します。 初期値は現在の管理コード値です(未設定の場合は"11111111")。 入力カーソルは最左桁です。各桁には1~4の数字が入力可能です。
- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
 - b) セレクト(▷/◁) キー カーソルを左右に一桁移動します。
 - c) セット キー 入力したコードを登録し、装置環境メニュー画面に戻ります。
 - d) リセット キー 入力操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.16 日付/時間設定(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→2.日付/時間)

現在の日付・時間の設定を行います。



(1) 表示内容

a) 年

西暦表示です。入力可能な値の範囲は、2000~2999。 2011以前の入力は、2012とみなします。 2038~2999の入力は、2037とみなします。

- b) 月 月表示です。入力可能な値の範囲は、00~19。 13~19の入力は12、00の入力は01とみなします。
- c) 日 日付表示です。入力可能な値の範囲は、00~31。 存在しない日付を入力した場合、入力済み年月の最後の日付とみなします。 ただし、00の入力は01とみなします。
- d) 時
 24時間表示です。入力可能な値の範囲は、00~29。
 24~29の入力は23とみなします。
- e) 分
 分表示です。入力可能な値の範囲は、0~59。
- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
 - b) セレクト(▷/◁) キー
 入力フィールドを年→月→日→時→分(分→時→日→月→年)の順に移動します。
 - c) セット キー 入力した時間を登録し、装置環境メニュー画面に戻ります。 秒の値は00にリセットします。
 - d) リセット キー 入力操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.17 MACアドレス(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→3.MACアドレス)

MACアドレスの設定を表示します。



現在、設定されている状態に応じてグローバルアドレスまたはローカルアドレス を表示する。



(1) 表示内容

a) 表示フィールド
 現在、設定されている状態に応じてグローバルアドレスまたはローカルアドレスを表示します。
 (未設定の場合は、グローバルアドレスを表示します。)

- (2) キー機能
 - a) リセット キー

表示を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.18 ネットワーク設定(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→4.ネットワーク設定)

ネットワークの有効プロトコルの設定とそれぞれのネットワークアドレスの設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - IPv4 : 有効プロトコル=IPv4のみ
 - IPv6 :有効プロトコル=IPv6のみ
 - ③ IPv4/IPv6 : 有効プロトコル=IPv4およびIPv6
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。デフォルト値は "IPv4" です。
- (2) キー機能
 - a) セレクト(▷/<)キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 選択した項目のセットアップ画面に遷移します。
 - c) リセット キー 選択操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.18.1 IPv4ネットワーク設定(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→4.ネットワーク設定)

IPv4のネットワークアドレスの設定を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

	1. IPv4-IPアドレス	:	I Pアドレスの設定
2	2. IPv4-ネットマスク	:	ネットマスクの設定
3	3. IPv4-ケ`ートウェイ1	:	ゲートウェイアドレス1の設定
4	4. IPv4-ケ`ートウェイ2	:	ゲートウェイアドレス2の設定
5	5. IPv4-ケ`ートウェイ3	:	ゲートウェイアドレス3の設定
6	6. IPv4-ケ`ートウェイ4	:	ゲートウェイアドレス4の設定
\bigcirc	7. IPv4-デフォルトルータ	:	デフォルトルータの設定

(2) キー機能

a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。

- b) セット キー 選択した項目のセットアップ画面に遷移します。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

3.4.18.1.1 IPv4-IPアドレス(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→4.ネットワーク設定→1.IPv4-IPアドレス)



IPv4プロトコルでのIPアドレスの設定を行います。

- (1) 表示内容
 - a) 入力フィールド

IPアドレスの入力値を表示します。 初期値は、現在の設定値です(未設定の場合は "000.000.000")。 百の位は0~2、十の位、一の位は0~9の数字が入力可能です。 255を超える値は入力できません。

・十の位または一の位に6以上を表示している場合、百の位は0~1までの表示となります。

・百の位に2を表示している場合、十の位、一の位は0~5までの表示となります。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223とします。

"000.000.000"やローカルアドレス"127.000.000.0001"を設定した場合、以下のように表示しま す。リセットキー押下後、再度設定してください。



- a) セレクト (△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
- b) セレクト(▷/<) キー カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー 入力した値を確定し、IPv4ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。
- d) リセット キー 入力操作を中止し、IPv4ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

3.4.18.1.2 IPv4-ネットマスク(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→4.ネットワーク設定→2.IPv4-ネットマスク)

IPv4プロトコルでのネットマスク設定を行います。



(1) 表示内容

a) 入力フィールド

ネットマスクの入力値を表示します。 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"000.000.000")。 百の位は0~2、十の位、一の位は0~9の数字が入力可能です。 255を超える値は入力できません。 ・十の位または一の位に6以上を表示している場合、百の位は0~1までの表示となります。

・百の位に2を表示している場合、十の位、一の位は0~5までの表示となります。

- a) セレクト (△/▽) キー カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
- b) セレクト(▷/◁) キー カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー 入力した値を確定し、IPv4ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。
- d) リセット キー 入力操作を中止し、IPv4ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

3.4.18.1.3 IPv4-ケートウェイ(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→4.ネットワーク設定→3.IPv4-ケートウェイX)

IPv4プロトコルでのゲートウェイアドレスの設定を行います。 3.8.2項参照の上、必要な場合のみ設定ください。



- (1) 表示内容
 - a) ゲートウェイアドレス、宛先アドレス入力フィールド ゲートウェイ/宛先アドレスの入力値を表示します。
 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"000.000.000.000")。
 百の位は0~2、十の位、一の位は0~9の数字が入力可能です。
 255を超える値は入力できません。
 - ・十の位または一の位に6以上を表示している場合、百の位は0~1までの表示となります。
 - ・百の位に2を表示している場合、十の位、一の位は0~5までの表示となります。
 - 最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223とします。
- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
 - b) セレクト(▷/<) キー カーソルを左右に一桁移動します。
 - c) セット キー
 ・ゲートウェイアドレス画面
 入力した値を確定し、宛先アドレス画面に遷移します。
 ・宛先アドレス画面
 入力した値を確定し、IPv4ネットワーク設定メニューに戻ります。
 - d) リセット キー
 入力操作を中止し、IPv4ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

第3章 操作説明

3.4.18.1.4 ⅠPv4-デフォルトルータ(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→4.ネットワーク設定→7.ⅠPv4-デフォルトルータ)

IPv4プロトコルでのデフォルトルータの設定を行います。 3.8.2項参照の上、必要な場合のみ設定ください。



(1) 表示内容

a) 入力フィールド

デフォルトルータの入力値を表示します。 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"000.000.000.000")。 百の位は0~2、十の位、一の位は0~9の数字が入力可能です。 255を超える値は入力できません。

・十の位または一の位に6以上を表示している場合、百の位は0~1までの表示となります。

・百の位に2を表示している場合、十の位、一の位は0~5までの表示となります。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223とします。

- a) セレクト (△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
- b) セレクト(▷/◁) キー カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー 入力した値を確定し、IPv4ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。
- d) リセット キー 入力操作を中止し、IPv4ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

3.4.18.2 IPv6ネットワーク表示

I P v 6 プロトコルでの I P v 6 のネットワークアドレス表示を行います。 I P v 6 の表示を行う前に注意画面を 2 秒間表示します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

	1. IPv6-IP (リンクローカル)	:	IP (リンクローカル) アドレスの表示
2	2. IPv6-IP(グローバル)	:	IP(グローバル)アドレスの表示
3	3. IPv6-ケ゛ートウェイ	:	ゲートウェイアドレスの表示

- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 選択した項目のセットアップ画面に遷移します。
 - c) リセット キー 選択操作を中止し、ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

3.4.18.2.1 IPv6-IP(リンクローカル) / IPv6-IP(ケ ローハ ル) / IPv6-ケ ートウェイ表示 (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→4.ネットワーク設定→IPv6の各項目)

IPv6プロトコルでのIP(リンクローカルアドレス)を表示します。



(1) 表示内容

a) I Pv6 設定表示(表示のみ)

選択した I P v 6 の設定を16進数で表示します。 グローバルおよびゲートウェイアドレスが割り付けられていない場合は、以下のように表示します。

IPv6-(リンクローカル) 0:0:0:0:0:0:0:0:0:0

IPv6-(グローハンル) 0:0:0:0:0:0:0:0:0:0 IPv6-ケ[、]ートウェイ 0:0:0:0:0:0:0:0:0

(2) キー機能

a) リセット キー

IPv6ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

3.4.18.3 IPv4/IPv6アドレス設定/表示

IPv4/IPv6でのIPv4のネットワークアドレス設定とIPv6のネットワークアドレス 表示を行います。

IPv4/IPv6の設定を行う前に注意画面を2秒間表示します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

	1. IPv4-IPアドレス	:	IPv4のIPアドレス設定
2	2. IPv4-ネットマスク	:	IPv4のネットマスク設定
3	3. IPv4-ケ`ートウェイ1	:	IPv4のゲートウェイアドレス1設定
4	4. IPv4-ケートウェイ2	:	IPv4のゲートウェイアドレス2設定
5	5. IPv4-ケ`ートウェイ3	:	IPv4のゲートウェイアドレス3設定
6	6. IPv4-ケ゛ートウェイ4	:	I P v 4のゲートウェイアドレス4設定
\bigcirc	7. IPv4ーデ、フォルトルータ	:	IPv4のデフォルトルータ設定
8	8. IPv6-IP(リンクローカル)	:	IPv6のIP(リンクローカル)アドレス表示
9	9. IPv6-IP(グローバル)	:	IPv6のIP(グローバル)アドレス表示
10	10. IPv6-ケートウェイ	:	IPv6のゲートウェイアドレス表示

- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 選択した項目のセットアップ画面に遷移します。
 - c) リセット キー 選択操作を中止し、ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。
- ※ 各項目の設定/表示操作については「3.4.18.1 IPv4ネットワーク設定」および「3.4.18.2 IPv6ネットワー ク表示」を参照してください。

3.4.19 データレート (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→5.データレート)

データレートの設定を行います。



(1) 表示内容

- a) 選択項目
 - ① 1.オート :オートネゴシエーション接続
 - ② 2.10Base-T :10Mbps固定接続 (注1)
 - ③ 3.100Base-TX :100Mbps固定接続(注1)
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "オート"です。
 - 注1)本装置のデータレート固定設定は、半二重(Half)のみサポートしています。お使いになるスイ ッチングハブの設定がオートネゴシエーション以外の場合は、プリンタに合わせて半二重 (Half)に設定してください。 本装置とスイッチングハブ共に"オート"設定を推奨します。

- a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を登録し、装置環境メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.20 DS-LINK (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK)

DS-LINK関連の設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目

	1.	T1 CNCT-CACK	:	CNCT→CACK
2	2.	T2 DISC-DCTD	:	DISC→DCTD
3	3.	T3 Lbit-RR	:	Lbit→RR
4	4.	T4 ENQ-RR	:	ENQ→RR
5	5.	T5 RNR-ENQ	:	RNR→ENQ
6	6.	T6 無通信監視	:	無通信監視
\bigcirc	7.	T7 IDQ-IDR	:	IDQ→IDR
8	8.	T8 オープン待ち	:	ポートオープン待ち
9	9.	T10 リトライアウト	:	CNCTリトライアウト
10	10.	T11 XID-XID	:	XID→XID
11)	11.	T12 TEST-TEST	:	TEST→TEST
12	12.	T13 解放-CNCT	:	パス解放→CNCT

- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 選択した項目のセットアップ画面に遷移します。
 - c) リセット キー 選択操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.20.1 T1 CNCT-CACK (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→1.T1 CNCT-CACK)



T1 CNCT-CACKの設定を行います。

- (1) 表示内容
 - a) タイムアウト時間入力フィールド
 タイムアウト時間(秒)を設定します。
 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"02.0s")。
 設定範囲は1.0秒~25.5秒です。
 "25.5"を超える値を入力した場合、自動的に"25.5"とします。
 "1.0"より小さい値を入力した場合、自動的に"1.0"とします。
 - b) 再送回数入力フィールド
 再送回数を設定します。
 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"07")。
 設定範囲は1~15です。
 "15"を超える値を入力した場合、自動的に"15"とします。
 "00"を入力した場合、自動的に"01"とします。
- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
 - b) セレクト(▷/◁) キー カーソルを左右に一桁移動します。
 - c) セット キー
 ・タイムアウト時間画面
 入力した値を確定し、再送回数画面に遷移します。
 ・再送回数画面
 入力した値を確定し、DS-LINK設定メニューに戻ります。
 - d) リセット キー
 入力操作を中止し、DS-LINK設定メニュー画面に戻ります。

3.4.20.2 T2 DISC-DCTD (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→2.T2 DISC-DCTD)

T2 DISC-DCTDの設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) タイムアウト時間入力フィールド タイムアウト時間(秒)を設定します。
 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"02.0s")。
 設定範囲は1.0秒~25.5秒です。
 "25.5"を超える値を入力した場合、自動的に"25.5"とします。
 "1.0"より小さい値を入力した場合、自動的に"1.0"とします。

b) 再送回数入力フィールド
 再送回数を設定します。
 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"07")。
 設定範囲は1~15です。
 "15"を超える値を入力した場合、自動的に"15"とします。
 "00"を入力した場合、自動的に"01"とします。

- (2) キー機能
 - a) セレクト(△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
 - b) セレクト(▷/◁) キー カーソルを左右に一桁移動します。
 - c) セット キー
 ・タイムアウト時間画面
 入力した値を確定し、再送回数画面に遷移します。
 ・再送回数画面
 入力した値を確定し、DS-LINK設定メニューに戻ります。
 - d) リセット キー
 入力操作を中止し、DS-LINK設定メニュー画面に戻ります。

3.4.20.3 T3 Lbit-RR (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→3.T3 Lbit-RR)

T3 Lbit-RRの設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) タイムアウト時間入力フィールド タイムアウト時間(秒)を設定します。
 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"02.0s")。
 設定範囲は1.0秒~25.5秒です。
 "25.5"を超える値を入力した場合、自動的に"25.5"とします。
 "1.0"より小さい値を入力した場合、自動的に"1.0"とします。
 - b) 再送回数表示フィールド
 再送回数を表示します。
 表示値は "00"(固定) です。
- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
 - b) セレクト(▷/◁) キー カーソルを左右に一桁移動します。
 - c) セット キー
 - ・タイムアウト時間画面
 入力した値を確定し、再送回数画面に遷移します。
 ・再送回数画面
 DS-LINK設定メニューに戻ります。
 - d) リセット キー
 入力操作を中止し、DS-LINK設定メニュー画面に戻ります。

3.4.20.4 T4 ENQ-RR (共通設定→9. 環境設定→3. 装置環境→6. DS-LINK→4. T4 ENQ-RR)

T4 ENQ-RRの設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) タイムアウト時間入力フィールド
 タイムアウト時間(秒)を設定します。
 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"02.0s")。
 設定範囲は1.0秒~25.5秒です。
 "25.5"を超える値を入力した場合、自動的に"25.5"とします。
 "1.0"より小さい値を入力した場合、自動的に"1.0"とします。

b) 再送回数入力フィールド
 再送回数を設定します。
 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"07")。
 設定範囲は1~15です。
 "15"を超える値を入力した場合、自動的に"15"とします。
 "00"を入力した場合、自動的に"01"とします。

- (2) キー機能
 - a) セレクト(△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
 - b) セレクト(▷/◁) キー カーソルを左右に一桁移動します。
 - c) セット キー
 ・タイムアウト時間画面
 入力した値を確定し、再送回数画面に遷移します。
 ・再送回数画面
 入力した値を確定し、DS-LINK設定メニューに戻ります。
 - d) リセット キー
 入力操作を中止し、DS-LINK設定メニュー画面に戻ります。

3.4.20.5 T5 RNR-ENQ (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→5.T5 RNR-ENQ)

T5 RNR-ENQの設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) タイムアウト時間入力フィールド
 タイムアウト時間(秒)を設定します。
 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"02.0s")。
 設定範囲は1.0秒~25.5秒です。
 "25.5"を超える値を入力した場合、自動的に"25.5"とします。
 "1.0"より小さい値を入力した場合、自動的に"1.0"とします。

b) 再送回数入力フィールド
 再送回数を設定します。
 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"07")。
 設定範囲は1~15です。
 "15"を超える値を入力した場合、自動的に"15"とします。
 "00"を入力した場合、自動的に"01"とします。

- a) セレクト (△/▽) キー カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
- b) セレクト(▷/◁) キー カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー
 ・タイムアウト時間画面
 入力した値を確定し、再送回数画面に遷移します。
 ・再送回数画面
 入力した値を確定し、DS-LINK設定メニューに戻ります。
- d) リセット キー
 入力操作を中止し、DS-LINK設定メニュー画面に戻ります。

3.4.20.6 T6 無通信監視(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→6.T6 無通信監視)

T6 無通信監視の設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) タイムアウト時間入力フィールド
 タイムアウト時間(秒)を設定します。
 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"02.0s")。
 設定範囲は1.0秒~25.5秒です。
 "25.5"を超える値を入力した場合、自動的に"25.5"とします。
 "1.0"より小さい値を入力した場合、自動的に"1.0"とします。
 - b) 再送回数表示フィールド
 再送回数を表示します。
 表示値は "00"(固定) です。
- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
 - b) セレクト(▷/<) キー カーソルを左右に一桁移動します。
 - c) セット キー
 ・タイムアウト時間画面
 入力した値を確定し、再送回数画面に遷移します。
 ・再送回数画面
 DS-LINK設定メニューに戻ります。
 - d) リセット キー
 入力操作を中止し、DS-LINK設定メニュー画面に戻ります。

3.4.20.7 T7 IDQ-IDR (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→7.T7 IDQ-IDR)

T7 IDQ-IDRの設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) タイムアウト時間入力フィールド
 タイムアウト時間(秒)を設定します。
 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"02.0s")。
 設定範囲は1.0秒~25.5秒です。
 "25.5"を超える値を入力した場合、自動的に"25.5"とします。
 "1.0"より小さい値を入力した場合、自動的に"1.0"とします。

b) 再送回数入力フィールド
 再送回数を設定します。
 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"07")。
 設定範囲は1~15です。
 "15"を超える値を入力した場合、自動的に"15"とします。
 "00"を入力した場合、自動的に"01"とします。

- a) セレクト (△/▽) キー カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
- b) セレクト(▷/◁) キー カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー
 ・タイムアウト時間画面
 入力した値を確定し、再送回数画面に遷移します。
 ・再送回数画面
 入力した値を確定し、DS-LINK設定メニューに戻ります。
- d) リセット キー
 入力操作を中止し、DS-LINK設定メニュー画面に戻ります。

3.4.20.8 T8 オープン待ち(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→8.T8 オープン待ち)

T8 ポートオープン待ちの表示を行います。



- (1) 表示内容
 - a) タイムアウト時間表示フィールド タイムアウト時間(秒)を表示します。 表示値は"01.0s"(固定)です。
 - b) 再送回数入力フィールド
 再送回数を表示します。
 表示値は "01"(固定)です。

- a) セット キー
 ・タイムアウト時間画面
 再送回数画面に遷移します。
 ・再送回数画面
 DS-LINK設定メニューに戻ります。
- b) リセット キー DS-LINK設定メニュー画面に戻ります。

3.4.20.9 T10 リトライアウト (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→9.T10 リトライアウト)

T10 CNCTリトライアウトの表示を行います。



- (1) 表示内容
 - a) タイムアウト時間表示フィールド タイムアウト時間(秒)を表示します。 表示値は"10.0s"(固定)です。
- (2) キー機能
 - a) セット キー DS-LINK設定メニュー画面に戻ります。
 - b) リセット キー DS-LINK設定メニュー画面に戻ります。

3.4.20.10 T11 XID-XID (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→10.T11 XID-XID)

T11 XID-XIDの表示を行います。



- (1) 表示内容
 - a) タイムアウト時間表示フィールド タイムアウト時間(秒)を表示します。 表示値は"02.0s"(固定)です。
 - b) 再送回数入力フィールド
 再送回数を表示します。
 表示値は "00"(固定)です。

- a) セット キー
 ・タイムアウト時間画面
 再送回数画面に遷移します。
 ・再送回数画面
 DS-LINK設定メニューに戻ります。
- b) リセット キー DS-LINK設定メニュー画面に戻ります。

3.4.20.11 T12 TEST-TEST (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→11.T12 TEST-TEST)

T12 TEST-TESTの表示を行います。



- (1) 表示内容
 - a) タイムアウト時間表示フィールド タイムアウト時間(秒)を表示します。 表示値は"02.0s"(固定)です。
 - b) 再送回数入力フィールド
 再送回数を表示します。
 表示値は "05"(固定)です。

- a) セット キー
 ・タイムアウト時間画面
 再送回数画面に遷移します。
 ・再送回数画面
 - DS-LINK設定メニューに戻ります。
- b) リセット キー DS-LINK設定メニュー画面に戻ります。
3.4.20.12 T13 解放-CNCT (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→12.T13 解放-CNCT)

T13 パス解放-CNCTの表示を行います。



- (1) 表示内容
 - a) タイムアウト時間表示フィールド タイムアウト時間(秒)を表示します。 表示値は"02.0s"(固定)です。
 - b) 再送回数入力フィールド
 再送回数を表示します。
 表示値は "00"(固定)です。

- a) セット キー
 ・タイムアウト時間画面
 再送回数画面に遷移します。
 ・再送回数画面
 DS-LINK設定メニューに戻ります。
- b) リセット キー
 DS-LINK設定メニュー画面に戻ります。

3.4.21 マシンネーム (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→7.マシンネーム)

マシン名の設定を行います。



(1) 表示内容

a) マシン名入力フィールド
 マシン名の入力値を表示します。
 初期値は現在の設定値(未設定の場合は "VSP4530B******")です。
 各桁には、空白、"_"、0~9、a~z、A~Zの文字が入力可能です。
 入力可能な最大桁数は45桁です。

入力済みの最後の桁に < を表示します。

"1 文字目に空白文字"または"全桁空白文字"を設定した場合、以下のように表示します。 リセットキー押下後、再度設定してください。



マシン名の途中に空白文字がある場合、自動的に空白文字以降の文字を無効とします。 <例> "ABCD EFG" → "ABCD"

- a) セレクト (△/▽) キー カーソルのある桁の文字を変更します。(△:次候補、▽:前候補)
- b) セレクト(▷/◁) キー カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー 入力したコードを登録し、装置環境メニュー画面に戻ります。
- d) リセット キー 入力操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.22 SNMP(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→8.SNMP)

SNMP関連の設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - 1. コミュニティ設定 : コミュニティ名の設定
 2. トラップ通知先 : トラップ通知先の設定
- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 選択した項目のセットアップ画面に遷移します。
 - c) リセット キー 選択操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.22.1 コミュニティ設定(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→8.SNMP→1.コミュニティ設定)

コミュニティ名の設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) コミュニティ入力フィールド
 コミュニティ名の入力値を表示します。
 初期値は現在の設定値(未設定の場合は、NULL)です。
 各桁には、空白、"_"、0~9、a~z、A~Zの文字が入力可能です。
 入力可能な最大桁数は45桁です。
 入力済みの最後の桁に を表示します。
 "1文字目に空白文字"または"全桁空白文字"を設定した場合、自動的に NULL とします。
 コミュニティ名の途中に空白文字がある場合、自動的に空白文字以降の文字を無効とします。
 <例> "ABCD EFG" → "ABCD"
- (2) キー機能
 - a) セレクト(△/▽) キー
 カーソルのある桁の文字を変更します。(△:次候補、▽:前候補)
 - b) セレクト(▷/◁) キー カーソルを左右に一桁移動します。
 - c) セット キー 入力したコードを登録し、SNMPメニュー画面に戻ります。
 - d) リセット キー 入力操作を中止し、SNMPメニュー画面に戻ります。

3.4.22.2 トラップ通知先(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→8.SNMP→2.トラップ通知先)

トラップ通知先の設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - ① 1. トラップ無効 : トラップを無効とします。
 - ② 2. トラップ有効 : トラップを有効とし、トラップ通知先を設定します。

※ 現在の設定値の左には '*' を表示します。
 デフォルト値は "トラップ無効"です。
 "トラップ無効"選択時、以降の設定項目はすべてデフォルト値
 (通知先アドレス 000.000.000) に戻ります。
 また "トラップ有効"選択時、トラップ通知先1~4がいずれも設定されていない
 (通知先アドレスが000.000.000) 3合には、トラップ通知を行いません。

- a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー
 - ・トラップ無効選択時 選択した値を確定し、SNMPメニュー画面に戻ります。
 ・トラップ有効選択時 トラップ通知先選択メニューに遷移します。
- c) リセット キー
 選択操作を中止し、SNMPメニュー画面に戻ります。

3.4.22.2.1 トラップ通知先選択

トラップ通知先を選択します。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目

	1.	通知先1	:	トラップ通知先1の設定を行います。
2	2.	通知先2	:	トラップ通知先2の設定を行います。
3	3.	通知先3	:	トラップ通知先3の設定を行います。
4	4.	通知先4	:	トラップ通知先4の設定を行います。

- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 選択した項目の設定画面に遷移します。
 - c) リセット キー 選択操作を中止し、トラップ通知先画面に戻ります。

3.4.22.2.2 トラップ通知先メニュー選択

トラップ通知先の設定メニューを選択します。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - ① 1. 通知先アドレス : トラップ通知先アドレスを設定します。
 ② 2. トラップ設定 : トラップの個々の設定します。
- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 選択した項目の設定画面に遷移します。
 - c) リセット キー 選択操作を中止し、トラップ通知先設定画面に戻ります。

3.4.22.2.3 トラップ通知先アドレス設定

トラップ通知先のアドレス設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) 通知先アドレス入力フィールド

トラップ通知先アドレスの入力値を表示します。 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"000.000.000.000")。 百の位は0~2、十の位、一の位は0~9の数字が入力可能です。 255を超える値は入力できません。

- ・十の位または一の位に6以上を表示している場合、百の位は0~1までの表示となります。
- ・百の位に2を表示している場合、十の位、一の位は0~5までの表示となります。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223とします。

ローカルアドレス"127.000.000.0001"を設定した場合、以下のように表示します。リセットキー押 下後、再度設定してください。



- a) セレクト (△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
- b) セレクト(▷/◁) キー カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー 入力した値を確定し、通知先メニュー画面に戻ります。
- d) リセット キー 入力操作を中止し、通知先メニュー画面に戻ります。

3.4.22.2.4 トラップ設定メニュー選択

トラップ通知種別の設定を行います。



(1) 表示内容

- a) 選択項目
 - ① 1. プリンタ起動通知 : プリンタ起動通知の有効/無効を設定します。
 - ② 2. コミュニティ違反設定 : コミュニティ違反通知の有効/無効を設定します。
 - ③ 3. 通知レベル : プリンタ状態の通知レベルを設定します。

- a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 選択した項目の設定画面に遷移します。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、通知先メニュー画面に戻ります。

3.4.22.2.5 プリンタ起動通知設定

プリンタ起動通知の設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - ① 1. 無効 : プリンタ起動通知無効
 - ② 2. 有効 : プリンタ起動通知有効
 - ※ 現在の設定値の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "無効"です。
- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 選択した値を確定し、トラップ設定メニュー画面に戻ります。
 - c) リセット キー 選択操作を中止し、トラップ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.22.2.6 コミュニティ違反通知設定

コミュニティ違反通知の有効/無効を設定します。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - ① 1. 無効 : コミュニティ違反通知無効
 - ② 2. 有効 : コミュニティ違反通知有効
 - ※ 現在の設定値の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "無効"です。

有効選択時にコミュニティ名がNULL状態だった場合、以下のように表示します。 リセットキー押下後、コミュニティ名を設定してください。

コミュニティ未設定	
コミュニティ無効に	
設定します	

- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 選択した値を確定し、トラップ設定メニュー画面に戻ります。
 - c) リセット キー 選択操作を中止し、トラップ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.22.2.7 プリンタ状態通知レベル設定

プリンタ状態通知レベルの設定を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

1	1.	通知レベル1	:	プリンタ状態通知レベルを1に設定します
2	2.	通知レベル2	:	プリンタ状態通知レベルを2に設定します
3	3.	通知レベル3	:	プリンタ状態通知レベルを3に設定します
4	4.	通知レベル4	:	プリンタ状態通知レベルを4に設定します
5	5.	通知レベル5	:	プリンタ状態通知レベルを5に設定します
*	邗	本の設定値の左い	-1+	'*' を表示します

※ 現在の設定値の左には '*' を表示します。
 デフォルト値は "通知レベル5"です。
 各通知レベルの詳細は「3.8.3 SNMP機能(3)本装置のサポートするSNMP」を参照。

- a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 選択した値を確定し、トラップ設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、トラップ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.23 省エネモード設定(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→9.省エネモード)

省エネモードに遷移するまでの待機時間の設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - ① 1. 30秒 : 省エネモードを30秒に設定します。
 - ② 2. 10分 : 省エネモードを10分に設定します。
 - ③ 3. 30分 : 省エネモードを30分に設定します。
 - ④ 4. 60分 : 省エネモードを60分に設定します。
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "30秒"です。

(2) キー機能

- a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、装置環境メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。
- (3) 省エネモードの表示
 - ・設定した待機時間を経過した場合、以下の画面を表示し、省エネモードへ遷移します。
 - ・省エネモード中は、LCDバックライトを消灯します。



・リセットキー押下で解除できます。(リセットキー以外の解除条件は(4)項参照) 省エネモードからの復帰中は以下の画面を表示します。

省エネモード
解除中
キー操作は無効です

- (4) 省エネモード遷移/解除条件
 - ・省エネモードへの遷移は、省エネモード設定で設定された時間、プリンタを使用しないと 省エネモードに切り換わります。
 - ただし、以下の場合は、省エネモードに遷移しません。
 - 印刷データ保持中
 - データ受信中
 - ③ SNDCG受信中
 - ④ VSPリクエスタからのダウンロード中および再接続中
 - ⑤ 異常発生時
 - ⑥ セットアップモード中
 - ⑦ CE操作モード中
 - ⑧ PrintWalker/FTからのセットアップ(IPアドレス/ネットマスク/ゲートウェイ) およびインストール中
 - ⑨ 6680-NMC接続にて接続不可が発生したとき
 - ⑩ プリンタストップ中
 - ① スタート画面での有効なキー押下時
 - ¹² 割込み印刷のWait表示中
 - ※ 6680-NMC接続時、省エネモード設定が30秒の場合、立ち上げ時は、最初の印刷起動までの処理 時間を考慮し、省エネモード遷移までの時間を5分延長します。
 - ・省エネモードの解除は以下の要因発生で行われます。
 - ① パネル操作による「リセット」キー押下
 - ② 印刷データ受信時
 - ③ SNDCG受信時
 - ④ 外字登録時 (FNP)
 - ⑤ リモートパワーオフ(69XX)時
 - ⑥ メカからエラーが通知された場合
 - ⑦ PrintWalker/FTからのセットアップ(IPアドレス/ネットマスク/ゲートウェイ) およびインストール中。

(5) 省エネモードタイマー起動契機

省エネモード有効の場合の待機時間でのタイマーを起動するのは以下のタイミングです。

- ・装置のIPL時
- ・タイマーが起動され、待機時間経過時、省エネモード遷移条件にて遷移不可となった場合、再度
 待機時間にてタイマーを起動します。
- ・各ページの印刷起動時
- ・装置がスタート状態になったとき
- ・スタート画面にて有効なキーが押下されたとき

3.4.24 綴じ揃え設定(共通設定→9.環境設定→3.装置環境→10.綴じ揃え設定)

FM/FNP、69XXエミュレーションにおいて、綴じ用紙の印刷方向を揃える機能を設定します。



(1) 表示内容

- a) 選択項目
 - ① 1. 無効 : 綴じ用紙の印刷方向を揃える機能を無効にします
 - ② 2. 有効 : 綴じ用紙の印刷方向を揃える機能を有効にします

※ 現在の設定値の左には '*' を表示します。 デフォルト値は"無効"です。 本機能の詳細については「付録8 綴じ方向揃えについて」を参照してください。

- a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、装置環境メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.25 論理プリンタ(共通設定→9.環境設定→4.論理プリンタ)

論理プリンタ環境の設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目

\bigcirc	1. 論理プリンタ1	:	論理プリンタ1の環境設定
2	2. 論理プリンタ2	:	論理プリンタ2の環境設定
3	3. 論理プリンタ 3	:	論理プリンタ3の環境設定

b) 選択不可エラー

選択した論理プリンタが選択不可だった場合、以下のエラーメッセージを表示します。

・拡張出力機構が未搭載時、2つ目の論理プリンタを選択したとき



- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 選択されている項目の設定画面に遷移します。
 - c) リセット キー 選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.4.25.1 画面遷移



141

3.4.25.1.1 有効な選択項目

 [・]各サポートサーバにおいて選択可能な伝送経路、エミュレーション

サポートサーバ	伝送経路	エミュレーション	~
6680-NMC	DS-LINK	6 6 X X	*1
	ТСР∕ІР		
BSNPS	ТСР∕ІР	6 6 X X	*1
		6 9 X X	*2
		FΜ	
lpd	ТСР∕ІР	6 6 X X	*1
		FΜ	
PrintWalkerPM	ТСР∕ІР	6 6 X X	*1
		FΜ	

*1:GS連携機構(VSP4530GS)オプション搭載時のみ

*2:拡張出力機構 (VSP4530EX) オプション搭載時のみ

・エミュレーションごとの設定可能論理プリンタ数

	エミュレーション	拡張出力機構	(VSP4530EX)
	サポートサーバ	なし	あり
論理プリンタ語	没定数(MAX)	1	3
	6 6 8 0 – NMC	不可	1 *2
6 6 X X	BSNPS		
*1	PrintWalker∕PM	不可	1 *2
	l p d		
6 9 X X		不可	1 *2
FΜ		1 *3	3

*1 GS連携機構(VSP4530GS)オプション搭載時のみ

*2 66XXと69XXの合計が2を超えないこと

*3 1200dpiの印刷は行えません

3.4.25.1.2 サポートサーバ

サポートサーバを選択します。



(1) 表示内容

- a) 選択項目
 - ① 1. なし
 - ② 2. 6680-NMC *1
 - ③ 3. B S N P S
 - ④ 4. l p d
 - ⑤ 5. PrintWalkerPM
 - ※ 現在の設定値の左には '*' を表示します。
 - *1 GS連携機構オプション搭載時のみ選択可能です。
- b) エラー詳細

以下の選択不可の場合にエラー詳細を表示します。

 設定可能な最大数を
 拡張出力機構/GS連携機構搭載時、2つ目の オーバしています
 「6680-NMC」を選択したとき

(2) キー機能

- a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー

次のメニュー(伝送経路)に遷移します。

「1.なし」を選択した場合は設定を確定し、論理プリンタ選択画面に戻ります。 その他の項目を選択した場合、伝送経路の選択画面に戻ります。 選択不可な項目の場合、エラー表示画面となり「リセット」キー押下にてサポートサーバの 選択画面に戻ります。

c) リセット キー 選択操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

3.4.25.1.3 伝送経路

伝送経路を選択します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

サポートサーバ設定により、選択可能な項目が変わります。

- ・サポートサーバが「6680-NMC」の場合
- 1 1. DS-LINK
- ② 2. TCP∕IP
- ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。
- ・サポートサーバが「BSNPS」、「1 p d」、「PrintWalkerPM」の場合
 ① 1. TCP/IP

- a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。 サポートサーバが「BSNPS」、「lpd」、「PrintWalkerPM」の場合は無効となります。
- b) セット キー 次のメニュー (エミュレーション) に遷移します。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

3.4.25.1.4 エミュレーション

エミュレーションの選択を行います。



(1) 表示内容

- a) 選択項目
 - ① 1. 6 6 X X *1
 - 2 2. 6 9 X X
 - ③ 3. FM

*1 GS連携機構オプション(VSP4530GS)搭載時のみ表示します。

- ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。
- ※ サポートサーバ設定により選択できない項目は表示されません。 詳細については「3.4.25.1.1 有効な選択項目」を参照ください。
- b) エラー詳細

以下の選択不可の場合にエラー詳細を表示します。

(1)	拡張出力機構なし	:	拡張出力機構が未搭載時、	[69XX]	を選択した	とき
(±)		•				

- ② 設定可能な最大数を : 拡張出力機構搭載時、
 オーバしています 2つ目の「69XX」を選択したとき
 - 拡張出力機構/GS連携機構搭載時、 1) 2つ目の「66XX」スプール連携を選択したとき
 - 2) 66XXと69XXの合計が2を超えた場合

- a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー
 - ・サポートサーバ:6680-NMC、伝送経路:DS-LINK、エミュレーション:66XX の場合 NMCアドレス設定画面に遷移します。
 - ・サポートサーバ:6680-NMC、伝送経路:TCP/IP、エミュレーション:66XX の場合 FNAサーバアドレス設定画面に遷移します。
 - ・サポートサーバ: BSNPS、lpd、PrintWalkerPM の場合 ポート番号設定画面に遷移します。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

3.4.25.1.5 MACアドレスの設定

MACアドレスの表示または設定を行います。 本画面は、サポートサーバ:6680-NMC、伝送経路:DS-LINK、エミュレーション:66XX 選択時に表示されます。



(1) 表示内容

- a) MACアドレス
 - ① 1. グローバルアドレス
 - ② 2. ローカルアドレス

※ 現在の設定値の左には "*"を表示します(未設定の場合は"グローバルアドレス")。

- b) 表示フィールド
 - グローバルアドレス値を表示します。
- c) 入力フィールド

ローカルアドレスの入力値を表示します。 初期値は現在の設定値(未設定の場合は"02000000000")です。

左から2桁目には(2、6、A、E)、その他の桁には0~Fの文字が入力可能です。 (注意事項)

DS-LINKローカルアドレス設定後、その論理プリンタを削除した場合は、MACアドレスはグローバル アドレスに戻ります。

(2) キー機能

a) 上(下) キー

"MACアドレス" 画面において、次の(直前の)選択項目を指定します。

"ローカルアドレス"画面において、カーソルの桁位置の入力次候補(前候補)を指定します。

- b) 右(左) キー "ローカルアドレス"画面において、カーソルを右(左)に一桁移動させる。
- c) セット キー
 現在の画面の指定値を確定させ、次の画面に移動します。
 "ローカルアドレス"および "グローバルアドレス"画面において押下した場合は、設定を
 完了・登録し、NMCアドレス設定画面に移動します。
- d) リセット キー

設定を中止し、論理プリンタ選択メニュー画面に戻ります。 "ローカルアドレス"および"グローバルアドレス"画面において押下した場合は、設定を 中止し、"MACアドレス"画面に戻ります。

3.4.25.1.6 NMCアドレスの設定

NMCアドレスを設定します。

本画面は、サポートサーバ:6680-NMC、伝送経路:DS-LINK、エミュレーション:66XX 選択時に表示されます。

<「グローバルアドレス」または「ローカルアドレス」画面より>



(1) 表示内容

a) 入力フィールド
 NMCアドレスの入力値を表示します。
 初期値は、現在の設定値(未設定の場合は "02000000000")です。
 左から2桁目には(0、2、4、6、8、A、C、E)、その他の桁には0~Fの文字が入力可能です。
 255を越える値を入力した場合、255が指定されたものとみなします。

- a) セレクト(△/▽) キー カーソルのある桁の入力項補を変更します。
- b) セレクト(▷/<)キー カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー 論理プリンタ選択画面に遷移します。
- d) リセット キー 選択操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

3.4.25.1.7 サーバアドレス(IPv4)の設定

FNAサーバアドレスを設定します。

本画面は、サポートサーバ:6680-NMC、伝送経路:TCP/IP、エミュレーション:66XX 選択時に表示されます。



(1) 表示内容

a) サーバアドレス

初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"000.000.000.000")。 百の位は0~2、十の位、一の位は0~9の数字が入力可能です。 255を超える値は入力できません。

・十の位または一の位に6以上を表示している場合、百の位は0~1までの表示となります。

・百の位に2を表示している場合、十の位、一の位は0~5までの表示となります。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223とします。

- a) セレクト (△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
- b) セレクト(▷/<) キー カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー 次のメニュー (ポート番号) に遷移します。
- d) リセット キー 入力操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

3.4.25.1.8 ポート番号の設定

使用するポート番号を設定します。 本画面は、伝送経路:TCP/IPの場合に表示されます。

<「エミュレーション」画面より> リセット ポート番号 X X X X X セット セット

- (1) 表示内容
 - a) ポート番号

ポート番号の入力値を表示します。
初期値は現在の設定値です。
未設定の場合はサポートサーバ設定により以下のようになります。
・FNAサーバ(6680-NMC) : 00747
・BSNPS : 09313
・1pd : 00515
・PrintWalkerPM : 09313
万の位は0~6、千、百、十、一の位は0~9の数字が入力可能です。
65535を超える値を入力した場合、自動的に65535とします。
00000を入力した場合、自動的に00001とします。

- a) セレクト(△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
- b) セレクト(▷/<) キー カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー
 - ・サポートサーバ:6680-NMCの場合
 - ・サポートサーバ:BSNPSの場合
 - ・サポートサーバ:lpd、PrintWalkerPMでエミュレーション:FMの場合 論理プリンタ設定メニューに遷移します。
 - ・サポートサーバ:lpd、PrintWalkerPMでエミュレーション:66XXの場合 リクエスタサーバ設定画面に遷移します。
- d) リセット キー 入力操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

3.4.25.1.9 リクエスタサーバアドレスの設定

リクエスタサーバのアドレスを設定します。 本画面は、サポートサーバ: PrintWalkerPM/lpd、伝送経路:TCP/IP、エミュレーション:66XX 選択時に表示されます。

<「ポート番号」画面より>



- (1) 表示内容
 - a) サーバアドレス (IPv4) リクエスタサーバアドレス (IPv4)の入力値を表示します。 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"000.000.000")。 百の位は0~2、十の位、一の位は0~9の数字が入力可能です。 255を超える値は入力できません。
 ・十の位または一の位に6以上を表示している場合、百の位は0~1までの表示となります。
 ・百の位に2を表示している場合、十の位、一の位は0~5までの表示となります。 最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223とします。
 b) サーバアドレス (IPv6) リクエスタサーバアドレス(IPv6)の入力値を表示します。
 - 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は ALL "0")。 全桁0~Fの数字が入力可能です。
 - c) リクエスタポート番号

ポート番号の入力値を表示します。 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"06670")。 万の位は0~6、千、百、十、一の位は0~9の数字が入力可能です。 65535を超える値を入力した場合、自動的に65535とします。 00000を入力した場合、自動的に00001とします。

- (2) キー機能

 a) セレクト (△/▽) キー カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
 - b) セレクト(▷/<) キー カーソルを左右に一桁移動します。
 - c) セット キー ・サーバアドレス(IPv4)画面 サーバアドレス(IPv6)画面に遷移します。 ・サーバアドレス(IPv6)画面
 - リクエスタポート番号画面に遷移します。
 ・リクエスタポート番号画面
 論理プリンタ画面に遷移します。
 - d) リセット キー 入力操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。
 - ※ IPv4、IPv6共にALL '0' を設定した場合、以下のように表示します。 リセットキー押下後、再度設定してください。



- ※ IPv4、IPv6共に設定し、有効プロトコル=IPv4/IPv6設定 かつ どちらも有効な環境下で動作させた場合、 IPv4のリクエスタサーバで動作します。
- ※ IPv4のみ設定してIPv6環境下で動作させた場合、またはIPv6のみ設定してIPv4環境下で動作させた場合は、 上位装置とは通信できません。

3.4.26 電源投入時の論理プリンタ設定変更について

オプションを取り外して電源投入し、構成する論理プリンタに矛盾が生じた場合、以下の対処を行いま す。

取り外しオプション	対 処	
拡張出力機構(VSP4530EX)	工場出荷状態	*1
給紙ユニット50(カセット3)	給紙口設定の初期化	*2
(VSP4530H5)		

*1 工場出荷状態

論理プリンタ1 : PrintWalker/PM、TCP/IP、FM
論理プリンタ2~3 : 設定なし

*2 各エミュレーションの給紙口設定の初期値

66XX/	69XXエ :	ミュ	レーシ	Έ `	ン時)
-------	---------	----	-----	-----	-----

診理ホッパ	給紙オプションなし		給紙オプションあり		
開理がソント	カセット1	カセット2	カセット1	カセット2	カセット3
上段	0	0	0	0	0
中段	0	0	0	0	0
下段	0	0	0	0	0
大容量	0	0	0	0	0

【FMエミュレーション時】

診理ホッパ	給紙オプションなし		給紙オプションあり		
開連ハンハ	カセット1	カセット2	カセット1	カセット2	カセット3
給紙口1	0	0	0	0	0
給紙口2	0	0	0	0	0
給紙口3	0	0	0	0	0



(1) 拡張出力機構の取り外しによって論理プリンタに矛盾が生じた場合

- ※1:拡張出力機構を取り外したままで運用する場合は、一度論理プリンタの初期化および、再設 定が必要となり、その場合、電源再投入にて運用が可能になります。
- ※2:管理コードが設定されている場合は管理コード入力画面が表示されます。
- ※3:この画面にきたときは下記の設定となります。

①以前、69XXのみが割り付いていた場合

→ 論理プリンタの初期化でPM-FMが割り付いています。

②以前、複数の論理プリンタが割り付いていた場合

- → (69XX論理プリンタが割り付いている場合は削除した後)
 - 論理プリンタ番号の一番小さい論理プリンタが1つ割り付いています。

3.5 論理プリンタセットアップ(66XX/69XX)

論理プリンタセットアップ(66XX/69XX)は、ストップ画面(66XX/69XX エミュレーション個別画 面)でシフトキーを押下しながらスタート/ストップキーを押下することで遷移します。 ストップ画面の表示は「図3.1電源投入後の動作モード変化」を参照願います。



論理プリンタアップセットアップモードでは、選択されている項目を反転して表示します。

本項の設定は、上位ホストからコマンド指定されなかった場合に有効となります。

3.5.1 メニュー画面(66XX、69XXエミュレーション個別設定)

(1) 表示内容

a) セットアップ項目
 選択可能なセットアップ項目を表示します。
 ① 1. ホッパ : ホッパ設定(3.5.2項)
 ② 2. スムージング : スムージングの設定/解除(3.5.3項)

- a) セレクト▽(△) キー 次の(直前の)セットアップ項目を表示します。
- b) セット キー 選択されているセットアップ画面に遷移します。
- c) リセット キー 66XX・69XXストップ画面(エミュレーション個別画面)に戻ります。

3.5.2 ホッパ設定(66XX、69XXエミュレーション個別設定→1.ホッパ)

ホスト指定値の給紙元に対して使用許可するカセットを割り当てます。



(1) 表示内容

a) ホッパ選択項目

設定を行うホスト指定給紙元のホッパ選択項目を表示します。

- ① 1. 上段ホッパ
- ② 2. 中段ホッパ
- ③ 3. 下段ホッパ
- ④ 4. 大容量ホッパ

b) 割当先選択項目

ホスト指定値に対する、各物理カセットの許可状態を表示します。

- ・カセット表示
 - カセット1 : カセット1 カセット2 : カセット2
 - カセット3 : カセット3
- ・割当て先
 - ① 〇 : ホスト指定値に対して使用許可するカセット
 - ② × : ホスト指定値に対して使用許可しないカセット

初期値は現在の選択状態です。

すべての給紙元を使用許可しない(×)に設定した場合、以下のエラーメッセージを表示します。 リセットキー押下後、再度設定してください。

エラー 使用可能なカセットが ありません

- (2) キー機能
 - a) セレクト(△/▽) キー・ホッパ選択項目画面
 - 選択項目を切り替えます。 ・割当先選択項目画面 割当先の設定値を切り替えます(○←→×)。
 - b) セレクト(▷/◁) キー
 ・割当先選択項目画面
 カーソルを左右に移動します。
 - c) セット キー
 ・ホッパ選択項目画面
 選択した項目の設定画面に遷移します。
 ・割当先選択項目画面
 - 選択内容を確定し、ホッパ選択画面に戻ります。
 - d) リセット キー
 - ホッパ選択項目画面
 プリンタ設定メニュー画面に戻ります。
 - ・割当先選択項目画面 選択操作を中止し、ホッパ選択画面に戻ります。

第3章 操作説明

3.5.3 スムージング機能設定(66XX、69XXエミュレーション個別設定→3.スムージング)

スムージング機能の有効/無効を設定します。

スムージング機能は、印刷ドットを調整することにより斜め線等の粗いドットを補完して、 印刷精度を高める機能です。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - ① 1.オン : スムージングを有効にします。
 - ② 2.オフ : スムージングを無効にします。

※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "2.オフ"です。

- a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.6 論理プリンタセットアップ(FM)

論理プリンタセットアップ(FM)は、オフライン画面(FMエミュレーション個別画面)でシフトキー を押下しながらスタート/ストップキーを押下することで遷移します。



論理プリンタセットアップモードでは、選択されている項目を反転して表示します。

本項の設定は、上位ホストからコマンド指定されなかった場合に有効となります。

設定を変更した場合、登録(3.6.7項)の「3.設定登録」を行ってください。 登録を行わずに電源切断準備キー押下した場合、またはリセットキー押下で本セットアップから ストップ画面に戻った場合は、登録確認画面を表示します(「3.6.2(3)」参照)。

3.6.1 画面遷移



※ FNPモードで有効となるのは、下記設定のみです。

環境設定

- ・タイマー監視(FM/FNP)
- ・ カセット設定(FM/FNP)
- ・スムージング(FM/FNP)

補助機能

・余白設定(FM/FNP)
3.6.2 メニュー画面(FMエミュレーション個別設定)



(1) 表示内容

- a) セットアップ項目 選択可能なセットアップ項目を表示します。
 ① 1. メニュー印刷 : 現在設定されている内容の一覧を印刷(3.6.3項)
 ② 2. 環境設定 : 日常操作に関する項目の設定(3.6.4項)
 ③ 3. FM設定 : FMモードにおける印刷条件の設定(3.6.5項)
 ④ 4. 補助機能 : 補助機能の設定(3.6.6項)
 - ⑤ 5. 登録 : 設定値の呼び出し、初期化、登録(3.6.7項)

(2) キー機能

- a) セレクト(△/▽) キー次の(直前の)セットアップ項目を表示します。
- b) セット キー 選択されているセットアップ画面に遷移します。
- c) リセット キー
 FMストップ画面(エミュレーション個別画面)に戻ります。

(3) 登録確認画面

「環境設定」「FM設定」「補助機能」での各設定においていずれか設定を行い、登録を行わずに電源切断準備キー押下した場合、またはリセットキー押下でFMセットアップを終了してFMストップ画面に戻る場合、以下の登録確認画面を表示します。

FM/FNP セットアッフ°
設定を
登録しますか?Y/N

キー機能

- a) セット/Yesキー 設定した値を確定し、電源切断準備、またはFMストップ画面に戻ります。
- b) リセット/Noキー 設定した値を確定せず、電源切断準備、またはFMストップ画面に戻ります。

3.6.3 メニュー印刷 (FMエミュレーション個別設定→1.メニュー印刷)

論理プリンタセットアップ(FM)で設定されている内容の印刷を行います。



(1) 表示内容

a) 印刷モード選択項目① 片面 : 片面印刷モード

② 両面 : 両面印刷モード

※ デフォルト値は"片面"です。

(2) キー機能

- a) セレクト(▷/<) キー
 印刷モードを選択します。
- b) スタート キー メニュー印刷を開始します。 画面表示が「印刷中」となり、印刷終了後、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

(3) 動作条件

- a) 用紙サイズ 環境設定→「用紙サイズ」に従います。
- b) 給紙元 環境設定→「給紙口設定」および「カセット設定」に従います。
 ※手差しトレイからは印刷できません。
- c) 排紙先排紙先は本体トレイ固定です。
- d) 給紙元の優先順位 カセット1 → カセット2 → カセット3
 ※ただし、以前に印刷を行ったカセットから上記の順番で印刷します。

(2) 印刷フォーマット

メニュー印刷 エミュレーション設定 FM/FNP (論理プリンタn) 【環境設定】 ・印刷モード 標準 ·印刷方向 縦 ・現給紙口 給紙口1 ・給紙用紙サイズ A4・タイマ監視印刷 (FM/FNP) 解除 ・ブザー 設定 ・解像度 400DPI · 両面印刷設定 解除 ・綴じ穴位置設定 長辺綴じ 表長辺綴じ 裏 **00**mm $10\,\mathrm{mm}$ 短辺綴じ短辺綴じ 表 $00\,\mathrm{m\,m}$ 裏 $10\,\mathrm{mm}$ ・給紙口割り当て(FM/FNP) カセット1/カセット2/カセット3 カセット1/カセット2/カセット3 カセット1/カセット2/カセット3 カセット1/カセット2/カセット3 カセット1/カセット2/カセット3 手差しトレイ 給紙口1 給紙口2 給紙口3 自動給紙 手差しトレイ ・スムージング (FM/FNP) オン 【FM設定】 明朝 ・漢字書体 ・漢字フォント 10.5ポ ・オーバマーク 印刷しない ·印刷開始位置 原点移動指定 ・行ピッチ 6 L P I ・ANK文字ピッチ 12CPI ・解像度切り換え 自動 【補助機能設定】 ・余白設定(FM/FNP) 縦上端余白 **05**.0 m m 縦左端余白 05.0mm 横上端余白 05.0mm 横左端余白 $05.0\,\mathrm{m\,m}$ ・メモリレイアウト コピーオーバレイ設定 あり FMオーバレイ設定 4096 K B · 特殊印刷設定 解除 ・有効漢字フォント 7ポ/9ポ/12ポ

3.6.4 環境設定(FMエミュレーション個別設定→2.環境設定)



(1) 表示内容

a) セットアップ項目

選択可能なセットアップ項目を表示します。

\bigcirc	1.	印刷モード	:	縮小印刷の設定、解除
2	2.	印刷方向	:	印刷方向の設定
3	3.	給紙口	:	給紙口の設定
4	4.	用紙サイズ	:	用紙サイズの設定
5	5.	タイマー監視(FM/FNP)	:	タイマー監視時間の設定、解除
6	6.	ブザー	:	ブザー鳴動の設定、解除
\bigcirc	7.	FM解像度	:	解像度の設定
8	8.	両面印刷	:	両面印刷の設定、解除
9	9.	綴じ穴位置	:	綴じ穴位置設定
10	10.	カセット設定(FM/FNP)	:	論理給紙口と物理カセットの関連付け
11	11.	スムーシ゛ンク゛ (FM/FNP)	:	スムージングの有効/無効指定

- a) セレクト (△/▽) キー 次の (直前の) セットアップ項目を表示します。
- b) セット キー 選択されているセットアップ画面に遷移します。
- c) リセット キー プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.1 印刷モード(FMエミュレーション個別設定→2.環境設定→1.印刷モード)

印刷モードを設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 標準 : 標準印刷
- ② 2. 75% : 75%縮小印刷
- ③ 3. 70% : 70%縮小印刷
- ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "1.標準"です。

- a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.2 印刷方向設定(FMエミュレーション個別設定→2.環境設定→2.印刷方向)

印刷方向を設定します。



(1) 表示内容

- a) 選択項目
 - ① 1.縦 : 縦印刷
 - 2. 縦余白 : 余白付き縦印刷
 - ③ 3.横 : 横印刷
 - ④ 4. 横余白 : 余白付き横印刷
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "1.縦" です。

- a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.3 給紙口設定(FMエミュレーション個別設定→2.環境設定→3.給紙口)

給紙口を設定します。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - 1. 給紙口1 : 給紙口1を選択
 - 2. 給紙口2
 : 給紙口2を選択
 - ③ 3. 給紙口3 : 給紙口3を選択
 - ④ 4. 自動給紙 : 給紙口1、2、3に割り当てられているすべてのカセット
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "1. 給紙口1" です。

- a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.4 用紙サイズ (FMエミュレーション個別設定→2.環境設定→4.用紙サイズ)

給紙用紙サイズを設定します。





a) 選択項目

- 1. A 3 : A 3
 2. A 4 : A 4
- ③ 3. A 5 : A 5
- ④ 4. B 4 : B 4
- ⑤
 5. B 5
 : B 5
- ⑥ 6. LT : レター
- ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。デフォルト値は "2. A 4" です。
- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。
 - c) リセット キー 選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.5 タイマー監視(FMエミュレーション個別設定→2.環境設定→5.9イマー監視)

タイマー監視時間を設定/解除します。

ホストからのデータ転送が途絶えた場合、本メニューにより設定された時間を経過すると自動的に印刷 を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- 1. 解除 : 解除
 ② 2. 30秒 : 30秒
- ③ 3. 10秒 : 10秒
- ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は"1. 解除"です。

- a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.6 ブザー (FMエミュレーション個別設定→2.環境設定→6.ブザー)

ブザー音を設定/解除します。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - ① 1.オン : 設定
 - ② 2.オフ : 解除
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "1.オン"です。

- a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.7 FM解像度(FMエミュレーション個別設定→2.環境設定→7.FM解像度)

解像度を設定します。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - ① 1. 400dpi : 400dpi
 - ② 2. 240dpi : 240dpi
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。デフォルト値は "1. 400dpi" です。

- a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.8 両面印刷設定(FMエミュレーション個別設定→2.環境設定→8.両面印刷)

両面印刷を設定/解除します。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - ① 1.解除 : 片面印刷
 - ② 2. 普通綴じ : 普通綴じ両面印刷
 - 3. 左綴じ
 : 左綴じ両面印刷
 - ④ 4. 右綴じ : 右綴じ両面印刷
 - ⑤ 5. 上綴じ : 上綴じ両面印刷
 - ⑥ 6. 下綴じ : 下綴じ両面印刷
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。
 デフォルト値は "1. 解除" です。
 手差しの場合は "1. 解除" 固定となり選択できません。

- a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.9 綴じ穴位置(FMエミュレーション個別設定→2.環境設定→9. 綴じ穴位置)

両面印刷での綴じ側印刷書き出し位置を調整します。 本設定は、「3.6.4.8 両面印刷設定」が③~⑥に設定されている場合、有効になります。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目

\bigcirc	1.長辺綴じ 表	:	長辺綴じ	表
2	2.長辺綴じ 裏	:	長辺綴じ	裏
3	3. 短辺綴じ 表	:	短辺綴じ	表
4	4. 短辺綴じ 裏	:	短辺綴じ	裏

```
    b) 入力フィールド
    綴じ穴位置の入力値を表示します。
    初期値は現在の設定値です(未設定の場合は、表= "00mm"、裏= "10mm")。
    各桁0~9の数字が入力可能です。
    設定範囲は0~99mmです。
```

- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー
 ・綴じ穴メニュー選択画面 選択項目を切り替えます。
 ・綴じ穴位置入力フィールド カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
 - b) セレクト(▷/◁) キー
 ・綴じ穴位置入力フィールド
 カーソルを左右に一桁移動します。
 - c) セット キー
 ・綴じ穴メニュー選択画面
 綴じ穴位置入力フィールドへ遷移します。
 ・綴じ穴位置入力フィールド
 - 設定内容を確定し、綴じ穴メニュー選択画面に戻ります。

- d) リセット キー
 - ・綴じ穴メニュー選択画面 環境設定メニュー画面に戻ります。
 ・綴じ穴位置入力フィールド 設定操作を中止し、綴じ穴メニュー選択画面に戻ります。

(3) 両面印刷設定と綴じ穴位置設定の関係



3.6.4.10 カセット設定(FMエミュレーション個別設定→2.環境設定→10. カセット設定)

ホスト指定値の給紙元に対して使用許可するカセットを割り当てます。 本設定は、FM/FNPモード共に有効な設定です。



(1) 表示内容

a) 選択項目

設定を行うホスト指定給紙元の選択項目を表示します。

① 1. 給紙口1	:	給紙口1を示します。
② 2. 給紙口 2	:	給紙口2を示します。
③ 3. 給紙口 3	:	給紙口3を示します。

b) 割当先

・カセット表示
 カセット1 : カセット1
 カセット2 : カセット2
 カセット3 : カセット3

・割当先

① 〇 : ホスト指定値に対して使用許可するカセット

② × : ホスト指定値に対して使用許可しないカセット

すべての給紙元を使用許可しない(×)に設定した場合、以下のエラーメッセージを表示します。

リセットキー押下後、再度設定してください。

```
エラー
使用可能なカセットが
ありません
```

(2) キー機能

- a) セレクト (△/▽) キー
 - ・給紙口選択項目画面 選択項目を切り替えます。
 ・割当先選択項目画面
 - 割当先の設定値を切り替えます(○←→×)。
- b) セレクト(▷/<) キー
 ・割当先選択項目画面
 カーソルを左右に移動します。
- c) セット キー
 - ・給紙口選択項目画面 選択した項目の設定画面に遷移します。
 ・割当先選択項目画面
 - 選択内容を確定し、給紙口選択画面に戻ります。
- d) リセット キー
 - ・給紙口選択項目画面
 環境設定メニュー画面に戻ります。
 - ・割当先選択項目画面
 選択操作を中止し、給紙口選択画面に戻ります。

(3) FMとFNPモードの違い

本設定においてFMとFNPモードでは、以下の点が異なります。

<FMモード>

FMモードでは、給紙口指定を伴わない印刷データ受信時には、「給紙口設定」が有効であり、「カ セット設定」とリンクした設定が可能です。

<FNPモード>

FNPでは、給紙口指定を伴わない印刷データ受信時には、コマンド仕様上、"給紙口1"が選択された固定動作となります。

このため「給紙口設定」は何が選択されても無効であり、給紙口1固定となります。

「給紙口設定」とリンクする「カセット設定」についても、"給紙口1"に対する設定のみ機能します。

3.6.4.11 スムージング(FMエミュレーション個別設定→2.環境設定→11.スム-ジング)

スムージング機能の有効/無効を設定します。

スムージング機能は、印刷ドットを調整することにより斜め線等の粗いドットを補完して、 印刷精度を高める機能です。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - ① 1.オン : スムージングを有効にします。
 - ② 2.オフ : スムージングを無効にします。
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "1.オン"です。

- a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5 FM設定(FMエミュレーション個別設定→3.FM設定)



(1) 表示内容

a) セットアップ項目

選択可能なセットアップ項目を表示します。

- ① 1. 漢字書体
 : 漢字書体の設定
 ② 2. 漢字フォント
 : 漢字フォントの設定
 ③ 3. オーバマーク
 : オーバマーク印刷の設定、解除
 ④ 4. 印刷開始位置
 : 印刷開始位置の設定
 ⑤ 5. 行ピッチ
 : 行ピッチの設定
 ⑥ 6. ANK文字ピッチ
 : ANK文字ピッチの設定
 ⑦ 7. 解像度切り替え
 : 解像度切り替え
- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー
 次の (直前の) セットアップ項目を表示します。
 - b) セット キー 選択されているセットアップ画面に遷移します。
 - c) リセット キー プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5.1 漢字書体 (FMエミュレーション個別設定→3.FM設定→1.漢字書体)

漢字書体を設定します。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - 1.明朝
 :明朝体を示します。
 - ② 2. ゴシック : ゴシック体を示します。
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "1.明朝体"です。

- a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、FM設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、FM設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5.2 漢字フォント (FMエミュレーション個別設定→3. FM設定→2. 漢字フォント)

漢字フォントの文字サイズを設定します。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目

\bigcirc	1.	7ポ	:	7ポイント
2	2.	9ポ	:	9ポイント
3	3.	10.5ポ	:	10. 5ポイント
4	4.	12ポ	:	12ポイント

※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "3. 10.5ポ"です。

- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 現在の選択内容を確定し、FM設定メニュー画面に戻ります。
 - c) リセット キー 選択操作を中止し、FM設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5.3 オーバマーク (FMエミュレーション個別設定→3. FM設定→3. オーバマーク)

オーバマーク印刷を設定/解除します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1.印刷しない : オーバマークを印刷しない
- ② 2. 白抜き : オーバマーク□を印刷
- ③ 3. 黒ベタ : オーバマーク■を印刷
- ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "1. 印刷しない"です。

- a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、FM設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、FM設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5.4 印刷開始位置 (FMエミュレーション個別設定→3. FM設定→4. 印刷開始位置)

印刷開始位置を設定します。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - ① 1. 原点移動 : 原点移動指定
 - ② 2. ドットプリンタ : ドットプリンタ仕様
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "1. 原点移動"です。

- a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、FM設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、FM設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5.5 行ピッチ設定(FMエミュレーション個別設定→3. FM設定→5. 行ピッチ)

行ピッチを設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 6LPI : 1インチあたり6行
 ② 2. 8LPI : 1インチあたり8行
- ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。デフォルト値は "1.6LPI" です。

- a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、FM設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、FM設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5.6 ANK文字ピッチ設定(FMエミュレーション個別設定→3. FM設定→6. ANK文字ピッチ)

ANK文字ピッチを設定します。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - 1. 10CPI : 1インチあたり10文字
 2. 12CPI : 1インチあたり12文字

 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は"1. 10 C P I"です。
- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 現在の選択内容を確定し、FM設定メニュー画面に戻ります。
 - c) リセット キー 選択操作を中止し、FM設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5.7 解像度切り替え設定(FMエミュレーション個別設定→3. FM設定→7. 解像度切り替え)

解像度切り替えの自動/主導を設定します。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - ① 1.自動
 : 自動切り替え
 - ② 2.手動 : 手動切り替え
 - ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "1. 自動"です。
- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
 - b) セット キー 現在の選択内容を確定し、FM設定メニュー画面に戻ります。
 - c) リセット キー 選択操作を中止し、FM設定メニュー画面に戻ります。

3.6.6 補助機能(FMエミュレーション個別設定→4.補助機能)



- (1) 表示内容
 - a) セットアップ項目 選択可能なセットアップ項目を表示します。
 ① 1. 余白設定(FM/FNP) : 余白の設定(FM/FNP)
 ② 2. メモリレイアウト : メモリ領域の設定
 ③ 3. 特殊印刷 : 特殊印刷の設定、解除
 ④ 4. 有効漢字フォント : 有効漢字フォントの設定
- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー
 次の (直前の) セットアップ項目を表示します。
 - b) セット キー 選択されているセットアップ画面に遷移します。
 - c) リセット キー プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.6.6.1 余白設定(FMエミュレーション個別設定→4. 補助機能→1. 余白設定)

余白を設定します。この設定を行うことで、書き出し位置が変わります。 本設定は、「3.6.4.9 綴じ穴位置」と独立して設定され、両方の設定が有効な場合は加算された値に 書き出し位置が変わります。

本設定は、FM/FNPモード共に有効な設定です。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目

余白設定を選択します。

	1. 縦上端余白	:	縦上端余白
2	2. 縦左端余白	:	縦左端余白
3	3. 横上端余白	:	横上端余白
4	4. 横左端余白	:	横左端余白

b) 入力フィールド

余白設定の入力値を表示します。
初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"5.0mm")。
設定範囲は4.0mm~50.0mmです。
4.0mmより小さい値を入力した場合、自動的に4.0mmとします。
50.0mmを超える値を入力した場合、自動的に50.0mmとします。

- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー

・余白メニュー選択画面

選択項目を切り替えます。

- ・余白入力フィールド
 カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
- b) セレクト(▷/◁) キー
 ・余白入力フィールド
 カーソルを左右に一桁移動します。

- c) セット キー
 - ・余白メニュー選択画面 余白入力フィールドへ遷移します。
 - ・余白入力フィールド 設定内容を確定し、余白メニュー選択画面に戻ります。
- d) リセット キー
 - ・余白メニュー選択画面 補助機能メニュー画面に戻ります。
 ・余白入力フィールド 設定操作を中止し、余白メニュー選択画面に戻ります。

(3) FMとFNPモードの違い

本設定においてFMとFNPモードでは、以下の点が異なります。

<FMモード>

2. 環境設定→2. 印刷方向で「2. 縦余白」「4. 横余白」の設定がされていない場合、本設定値は印刷時 に反映されません。

<FNPモード>

2. 環境設定→2. 印刷方向には影響されず、本設定の値が印刷時に反映されます。

3.6.6.2 メモリレイアウト (FMエミュレーション個別設定→4. 補助機能→2. メモリレイアウト)

オーバレイの設定を行います。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目

① 1. コピーオーバレイ	:	コピーオーバレイ設定
② 2. FMオーバレイ	:	FMオーバレイ設定

b) コピーオーバレイ入力項目

① 1.なし	:	コピーオーバレイ機能なし
② 2. あり	:	コピーオーバレイ機能あり

- ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "2. あり"です。
- c) FMオーバレイ入力項目

FMオーバレイメモリサイズの入力値を表示します。 初期値は現在の設定値です(未設定の場合は"4096KB")。 設定範囲は192KB~4096KBです。 192KBより小さい値を入力した場合、自動的に192KBとします。 4096KBを超える値を入力した場合、自動的に4096KBとします。

- (2) キー機能
 - a) セレクト (△/▽) キー
 - ・オーバレイ選択画面
 - 選択項目を切り替えます。
 - ・コピーオーバレイ選択画面
 - 設定項目を切り替えます。
 - ・FMオーバレイ選択画面
 カーソルのある桁の数字を変更します。(△:数字の増加、▽:数字の減少)
 - b) $t \cup p \land (\supset / \triangleleft) + -$
 - ・FMオーバレイ選択画面
 - カーソルを左右に移動します。
 - c) セット キー
 - ・オーバレイ選択画面
 - 選択した項目の設定画面に遷移します。
 - ・コピーオーバレイ選択画面
 - ・FMオーバレイ選択画面 設定内容を確定し、オーバレイ選択画面に戻ります。
 - d) リセット キー
 - ・オーバレイ選択画面

補助機能メニュー画面に戻ります。

- ・コピーオーバレイ選択画面
- ・FMオーバレイ選択画面

設定操作を中止し、オーバレイ選択画面に戻ります。

(3) その他

メモリレイアウトの設定の変更は、設定登録後の電源再投入により有効となります。

3.6.6.3 特殊印刷(FMエミュレーション個別設定→4.補助機能→3.特殊印刷)

特殊印刷を設定/解除します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 解除
- 2.HEXダンプ印刷 : HEXダンプ印刷

: 解除

- ③ 3. リスト印刷1 : リスト印刷1
- ④ 4. リスト印刷2 : リスト印刷2
- ⑤ 5. リスト印刷3 : リスト印刷3
- ※ 現在の設定内容の左には '*' を表示します。 デフォルト値は "1. 解除"です。

- a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 現在の選択内容を確定し、補助機能メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、補助機能メニュー画面に戻ります。

3.6.6.4 有効漢字フォント(FMエミュレーション個別設定→4. 補助機能→4. 有効漢字フォント)

漢字文字サイズ指定コマンドの有効/無効を設定します。



- (1) 表示内容
 - a) 有効漢字フォント設定

 ① ○:指定コマンドを有効とする
 ② ×:指定コマンドを無効とする
- (2) キー機能
 - a) セレクト (\triangle / ∇) キー 設定値を切り替えます ($\bigcirc \leftrightarrow \times$)。
 - b) セレクト(▷/◁) キー カーソルを左右に移動します。
 - c) セット キー 現在の設定内容を確定し、補助機能メニュー画面に戻ります。
 - d) リセット キー 設定操作を中止し、補助機能メニュー画面に戻ります。

3.6.7 登録(FMエミュレーション個別設定→5.登録)

論理プリンタセットアップ(FM)で設定された情報を登録します。



- (1) 表示内容
 - a) 選択項目
 - ① 1. 設定呼出 : HDDに記憶していた設定内容を設定用RAMに呼び出します。
 - ② 2. 設定初期化: HDD、設定用RAMの内容を工場出荷時の初期値に戻します。
 ※「給紙口の割当先カセット」の設定は初期化しません。
 - ③ 3. 設定登録 :設定用RAM上の内容をHDDに記憶します。

※ 工場出荷時の初期値は「3.7 セットアップ一覧」を参照。

- a) セレクト(△/▽) キー 選択項目を切り替えます。
- b) セット キー 選択した処理実行し、プリンタ設定メニュー画面に遷移します。
- c) リセット キー 選択操作を中止し、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.7 セットアップ一覧

【共通セットアップ】

		メニュー	内容	初期値	設定可能値	備考
共 1.	テスト	、プリント	テストプリント	—	-	
通 2.	濃度彰	定	印刷濃度の設定	濃度=標準	濃度=-6~+3	
ッ3. ト	カール	~抑制設定	カールの抑制設定	無効	無効 有効	
) ツ 4. プ	消耗品	1	交換要求のある消耗 品の表示	—	_	表示のみ
5.	ブザー	-音設定	異常発生時のブザー 鳴動	パターン1	パターン1 パターン2 パターン3 オフ	
6.	GS1-1:	28設定	GS1-128バーコードパ ターンの白黒補正	補正= 白黒補正	補正=白黒補正 補正=白補正 補正=なし	
7.	プリン	>トカウンタ	総印刷枚ページの表 示	_	_	表示のみ
8. 手 差 し 設	1.月	目紙サイズ	手差しトレイの用紙 サイズの設定	A 4	A 3 A 4 A 5 B 4 B 5 L T	
定	2. >	メディアタイプ	手差しトレイのメデ ィアタイプの設定	HIGH	NORMAL HIGH	
9.	1. 責	没定印刷	環境設定内容の印刷	—	-	
環境	2. \$	景境初期化	環境設定値の初期化	_	-	
設	3.	1. 管理コード	管理コードの設定	11111111	8桁の番号	
定	装置 環 境	2. 日付/時間	日付・時間の設定	-	年:2012~2037 月:1~12 日:1~31 時:0~23 分:0~59	
		3. MACアドレス	MACアドレスの表示	グローバル	グローバル ローカル	ローカルアト [*] レスのみ 設定可 (グローバルアドレス は表示のみ)
		4. ネットワーク設定	ネットワークの設定	IPv4	IPv4 IP7ト [*] レス ネットマスク ケ [*] ートウェイ1~4 デ [*] フォルトルータ	
					$ \begin{array}{c} \text{IPv6} & \text{IP}(\emptyset \lor \neg n \neg h \lor) \\ & \text{IP}(\neg \neg \neg \neg \lor \lor) \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ $	表示のみ
					$ \begin{array}{cccc} IPv4 & IP7 \downarrow^{\circ} \nu \lambda \\ / & \lambda \gamma \mu \tau \lambda \gamma \\ IPv6 & f^{\circ} - \mu \eta \tau 4 \eta - \eta \\ & f^{\circ} - \eta \eta \mu \mu - \eta \\ & IP (\eta \nu \eta \eta - \eta \mu) \\ & IP (\eta \nu \eta \eta - \eta \mu) \\ & IP (f^{\circ} \eta - \eta^{\circ} \mu) \\ & f^{\circ} - \mu \eta \tau 4 \end{array} $	IPv4 関連のみ 設定可能 IPv6 関連は表 示のみ
		5. データレート	データレートの設定 	オート	オート 10Base-T 100Base-TX	

メニュー					内容	初期値	設定可能値	備考
共通セ	8. 環境	3. 装置	6. D S	1.T1 CNCT-CACK	T1 CNCT-CACK タイムアウト時間設定 再送回数設定	タイムアウト:2.0s 再送回数:7回	タイアウト:1~25s 再送回数:1~15	
ットア	設 定	環境	 L I	2. T2 DISC-DCTD	T2 DISC-DCTD タイムアウト時間設定 再送回数設定	タイムアウト:2.0s 再送回数:7回	タイアウト:1~25s 再送回数:1~15	
ップ			N K	3.T3 Lbit-RR	T3 Lbit-RR タイムアウト時間設定 再送回数表示	タイムアウト:2.0s 再送回数:0回	タイアウト:1~25s 再送回数:-	再送回数は表示 のみ
				4.T4 ENQ-RR	T4 ENQ-RR タイムアウト時間設定 再送回数設定	タイムアウト:2.0s 再送回数:7回	タイアウト:1~25s 再送回数:1~15	
				5.T5 RNR-ENQ	T5 RNR-ENQ タイムアウト時間設定 再送回数設定	タイムアウト:2.0s 再送回数:7回	タイアウト:1~25s 再送回数:1~15	
				6.T6 無通信監視	T6 無通信監視 タイムアウト時間設定 再送回数表示	タイムアウト:2.0s 再送回数:0回	タイアウト:1~25s 再送回数:-	再送回数は表示 のみ
				7.T7 IDQ-IDR	T7 IDQ-IDR タイムアウト時間設定 再送回数設定	タイムアウト:2.0s 再送回数:7回	タイアウト:1~25s 再送回数:1~15	
				8.T8 オープン待ち	T8 ポートオープン待ち タイムアウト時間表示 再送回数表示	タイムアウト:1.0s 再送回数:1回	_	表示のみ
				9.T10 リトライアウト	T10 CNCTリトライタイムアウト タイムアウト時間表示	ፆイムアウト: 10.0s	—	表示のみ
				10.T11 XID-XID	T11 XID-XID タイムアウト時間表示 再送回数表示	タイムアウト:2.0s 再送回数:0回	_	表示のみ
				11.T12 TEST-TEST	T12 TEST-TEST 身イムアウト時間表示 再送回数表示	タイムアウト:2.0s 再送回数:5回	_	表示のみ
				12.T13 解放-CNCT	T13 パス解放-CNCT タイムアウト時間表示 再送回数表示	タイムアウト:2.0s 再送回数:0回	_	表示のみ
			7. ¬	マシンネーム	マシン名の設定	VSP4530B****	最大45桁 空白,"_",0~9, a~z,A~Z	初期値の***** は、グローバルアドレ スの下6桁
			8. S N	1. コミュニティ 設定	コミュニティ名の 設定	NULL	最大45桁 空白,"_"、0~9, a~z,A~Z	
			M P	2. トラップ通知先	トラップ通知先の有 効/無効設定	トラップ無効	トラップ*無効 カラップ* 通知先1 通知先2 通知先3 通知先4	 トラップ 有効時 通知先1~4で以下の設定が可能 ・通知先アトドレス ・ブリンタ起動通知 有効/無効 ・ミュニティ違反通知 有効/無効 ・通知レヘドル 通知レヘドル

(続く)

	メニュー	内容	初期値	設定可能値	備考
	9.省エネモード	省エネモードへ遷移 するまでの時間設定	30秒	30秒 10分 30分 60分	
	10. 綴じ揃え設定	綴じ用紙の印刷方向 を揃える機能の有効 /無効設定	無効	—————————————————————————————————————	FM/FNP,69XX の み 有効
4. 論理プリンタ	論 サポートサーバ 理 プ リ ン タ 1 5 8	サポートサーバの選 択	論理プリンタ1 PrintWalker PM	なし 6680-NMC BSNPS lpd PrintWalker/PM	 ・論理プリンタ数が1 つの場合、「な し」は選択不可 (表示されない) ・GS連携機構オプジョン未搭載時は 「6680-NMC」選 択不可(表示され ない)
	 そ 伝送経路 れ ぞ れ 設 定 可 (初) 	伝送経路の選択	論理プリンタ 1 TCP/IP	サボートサーバ設定によ り異なる 6680-NMCの場合 ・DS-LINK ・TCP/IP BSNPS, lpd, PrintWalker/ PMの場合 ・TCP/IP	
	期 値 は 論 理 プ リ ン タ 1 の み 設 定)	エミュレーションの 選択	論理プリンタ 1 FM	 サボ ートサーハ 設定によ り 異なる 6680-NMCの場合 66XX BSNPSの場合 66XX 69XX lpd, PrintWalke/PM の場合 66XX FM 	

(続く)
	メニュー				内容	初期値	設定可能値	備考
共通セットアッ	8. 環境設定	4. 論理プリンタ	論理プリンタ1	MACアドレス	MAC7ト [*] レス(ク [*] ローハ [*] ル) の表示、または、 MAC7ト [*] レス(ローカル)の設 定	02000000000	XXXXXXXXXXXX ↑ 2桁目は 2,6,A,Eのみ	以下の条件時のみ 設定可 サポートサーパ: 6680-NMC 伝送経路: DS-LINK エミュレーション: 66XX
プ			~8それぞれ設	NMCアドレス	NMCアドレスの設定	02000000000	XXXXXXXXXXXX ↑ 2桁目は 0, 2, 4, 6, 8, A, C, E のみ	以下の条件時のみ 設定可 サポートサーパ: 6680-NMC 伝送経路: DS-LINK エミュレーション: 66XX
			定 可(初期値は論理プリンタ1のみ設定)	サーバアドレス (IPv4)	FNAサーバ/リクエ スタサーバアドレス の設定	000. 000. 000. 000	アドレス値	以下の条件時のみ 設定可 FNAサーハ [*] ・サホ [*] ートサーハ [*] : 6680-NMC ・伝送経路: TCP/IP ・エミュレーション: 66XX リクエスタサーハ [*] ・サホ [*] ートサーハ [*] : 1pd または PrintWalkerPM ・伝送経路: TCP/IP ・エミュレーション: 66XX
				サーバアドレス (IPv6)	リクエスタサーバア ドレスの設定	ALL "O"	アドレス値	以下の条件時のみ 設定可 ・サホ [*] -トサーハ [*] : lpd または PrintWalkerPM ・伝送経路: TCP/IP ・エミュレーション: 66XX
				ポート番号	使用するポート番号 の設定	FNA#-/> [*] :00747 lpd :00515 BSNPS :09313 PrintWalker/PM :09313	1~65535	以下の条件時のみ 設定可 伝送経路: TCP/IP
				リクエスタポート 番号	リクエスタサーバで 使用するポート番号 の設定	06670	1~65535	以下の条件時のみ 設定可 ・サポートサーバ: lpd または PrintWalkerPM ・伝送経路: TCP/IP ・エミュレーション: 66XX

(続く)

メニュー			内容	初期値	設定可能値	備考
()論	1.	1. 上段ホッパ	ホスト指定の給紙元	全ホッパとも	○/×で選択	
	朩	2 中段ホッパ	に対して使用許可す	全カセット使	1=カセット1	
хIJ	ッ	2. 1 12 11 12	るカセットの割当て	用可 (〇)	2=カセット2	
$\frac{6}{6}$	パ	3. 下段ホッパ			3=カセット3	
ック X セ X ッ		4. 大容量ホッパ				
Ŭ ŀ	2. 2	スムージング	スムージング機能の	オフ	オン	
アッ			設定		オフ	
プ						

【論理プリンタセットアップ (66XX/69XX)】

【論理プリンタセットアップ (FM)】

	メニュー	内容	初期値	設定可能値	備考
論 1. ジ プ	メニュー印刷	現在設定されている 内容の一覧印刷	片面	片面、両面	
リン2. アクセック 現	1. 印刷モード	縮小印刷の設定	標準	標準 75% 70%	
ットアップ(F	2. 印刷方向	印刷方向の設定	縦	縦 縦余白 横 横余白	
M	3. 給紙口	給紙口の設定	給紙口1	給紙口1 給紙口2 給紙口3 自動給紙	
	4. 用紙サイズ	用紙サイズの設定	A 4	A 3 A 4 A 5 B 4 B 5 L T	
	5. タイマー監視(FM/FNP)	タイマー監視時間の 設定/解除	解除	解除 30秒 10秒	
	6. ブザー	ブザー鳴動の設定/ 解除	オン	オン オフ	
	7. FM解像度	解像度の設定	400dpi	400dpi 240dpi	
	8. 両面印刷	両面印刷の設定/解 除	解除	解除 普通綴じ 左綴じ 右綴じ 上綴じ 下綴じ	
	9. 1.長辺綴じ表 級 2.長辺綴じ裏 穴 3.短辺綴じ表 置 4.短辺綴じ裏	綴じ穴位置設定	表:00mm 裏:10mm	0∼99mm	
	10 1. 給紙口 1 カ セ ツ ト 設 定 F M / F N 3. 給紙口 3 F N	ホスト指定の給紙元 に対して使用許可す る給紙口の割り当て	全ホッパとも 全カセット使 用可(○)	○/×で選択 1=カセット1 2=カセット2 3=カセット3	FNP モート、でも 有 効。ただし、「給 紙口1」設定のみ 複数選択可
	11. スムージ [、] ング [、] (FM/FNP)	スムージング機能の 設定	オン	オン オフ	

(続く)

	メニュー			内容	初期値	設定可能値	備考
論理プ	3. F	1. 湾	漢字書体	漢字書体の設定	明朝	明朝 ゴシック	
リンタセット	M 設 定	2. 濩	英字フォント	漢字フォントの設定	10.5ポ	7 ポ 9 ポ 1 0. 5 ポ 1 2 ポ	
ップ (FM)		3. ス	オーバマーク	オーバマーク印刷の 設定/解除	印刷しない	印刷しない 白抜き 黒ベタ	
)		4. ⊧	印刷開始位置	印刷開始位置の設定	原点移動	原点移動 ドットプリンタ	
		5. 彳	テピッチ	行ピッチの設定	6 L P I	6 L P I 8 L P I	
		6. <i>I</i>	ANK文字ピッチ	A N K 文字ピッチの 設定	1 0 C P I	1 0 C P I 1 2 C P I	
		7.角	解像度切り替え	解像度の切り替え設 定	自動	自動 手動	
	4. 補助機能	1. 余白設定(F	 1. 縦上端余白(FM/FNP) 2. 縦左端余白(FM/FNP) 	余白の設定	5.0mm	4.0~50.0mm	環境設定→印刷方 向で「縦余白」 「横余白」が設定 されている場合に 有効
		M / F	3. 横上端余白(FM/FNP)				FNPモードでも有効
		P P	4. 横左端余白(FM/FNP)				
		2. メモリ	1. コピーオーバレイ	コピーオーバレイの 設定	あり	なし あり	
		レイアウト	2. FMオーバレイ	コピーオーバレイの 設定	4 0 9 6 K B	192~4096KB	

(続く)

			メニュー	内容	初期値	設定可能値	備考
論理プリンタセッ	4. 補助機能	3. 朱	寺殊 印刷	特殊印刷の設定/解 除	解除	解除 HEXダンプ印刷 リスト印刷1 リスト印刷2 リスト印刷3	
トアップ (FM)		4. 有効漢字フォント	7 ポ 9 ポ 1 2 ポ	有効漢字フォントの 設定	すべて有効	 ○/×で選択 ○=有効 ×=無効 	
	5. 登録	1. 部 2. 該	設定呼び出し 設定初期化	 HDDに記憶していた設定内容をデフォルトRAMおよび動作RAMに呼び出す HDD、デフォルトRAMおよび動作RAMの内容を工場出荷時の初期値に 	_	_	
		3. 診	设定登録	戻す デブオルトRAM上の内容を HDDに記憶する			

3.8 LAN接続

3.8.1 LAN接続するための基本設定

ここでは、本装置をLAN接続するための基本設定例を説明します。

本装置をLAN接続するためには、共通セットアップの「装置環境」設定と「論理プリンタ」設定を 行う必要があります。実際の設定/操作方法については「3.4.14 装置環境」と「3.4.25 論理プリ ンタ」を参照願います。

なお、設定した値は装置の電源再投入により有効となります。

 \bigcirc BSNPS $\mathcal{O}66XX$ (2)

 \Rightarrow BSNPS^{*1}との66XXエミュレーション印刷

*1: BuSiness Network Printer Support

- \bigcirc BSNPS $\mathcal{O}69XX$ (2)
 - ⇒ BSNPSとの69XXエミュレーション印刷

 \bigcirc BSNPS \mathcal{O} FM (2)

⇒ BSNPSとのFMエミュレーション印刷

○ Windows Server 2003 / Server 2008 (2008 R2)のPrintWalker/PMによる66XX (3)

⇒ Windows Server 2003 / Server 2008 (2008 R2)のPrintWalker/PMにより、HOST PRINTの帳票 管理サービスを使用した66XXエミュレーション印刷

○ Windows Server 2003 / Server 2008 (2008 R2)のPrintWalker/PMによるFM (3)

⇒ Windows Server 2003 / Server 2008 (2008 R2)のPrintWalker/PMによる、FMエミュレーショ

ン印刷

- Windows XP / Vista / 7 / Server 2003 / Server 2008 (2008 R2)のlpd (LPR) によるFM (4)
 ⇒ Windows XP /Vista / 7 / Server 2003 / Server 2008 (2008 R2)のlpd (LPR) による、FMエ ミュレーション印刷
- Windows Server 2003 / Server 2008 (2008 R2)の1pd (LPR) による66XX (4)
 - ⇒ Windows Server 2003 / Server 2008 (2008 R2)のlpd (LPR) により、HOST PRINTの帳票管理 サービスを使用した66XXエミュレーション印刷

○ Windows XP / Vista / 7 のPrintWalker/PMによるFM (5)

⇒ Windows XP / Vista / 7 のPrintWalker/PMによるFMエミュレーション印刷

(1) 装置環境管理(共通設定)

プリンタ側で必要な設定は以下のとおりです。 下記に「設定不要」と記載されているものは、LAN接続において設定する必要はありません。

・管理コード設定	(設定不要)
・日付/時間設定	(設定不要)
・MACアドレス	
・ネットワーク設定	
・データレート設定	
・DS-LINK設定	
・マシン名設定	
 SNMP設定 	
・省エネモード設定	(設定不要)
・綴じ揃え設定	(設定不要)

- a) MACアドレス(3.4.17項) 本装置のグローバルアドレスまたはローカルアドレスを表示します。 6680-NMCのDS-LINK接続時に必要な場合があります。
- b) ネットワーク設定(3.4.18項)
 TCP/IP通信を行うために必要な情報を設定します。
 ネットワークアドレス設定には、以下の設定があります。

[IPv4]

- ・IPアドレス ・ネットマスク ・ゲートウェイアドレス1 ・ゲートウェイアドレス2 ・ゲートウェイアドレス3 ・ゲートウェイアドレス4
- ・デフォルトルータ設定
- IPアドレス(3.4.18.1項) 本装置のIPアドレスを設定します。
- ネットマスク(3.4.18.1項)
 ネットマスクを設定します。
- ③ ゲートウェイアドレス1~4 (3.4.18.1項)

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。 本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを4つまで設定で き、次項④のデフォルトルータ設定を合わせると最大5つまで設定できます。 ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

・ゲートウェイアドレス
 ・宛先アドレス

設定およびその意味については、「3.8.2 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

④ デフォルトルータ設定(3.4.18.1項)
 デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項③のゲートウェイアドレス1~4の設定とは意味が異なります。
 設定およびその意味については、「3.8.2 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

【IPv6】 ・IP (リンクローカル) ・IP (グローバル)

・ゲートウェイ

IPv6はすべて自動設定です。 上記項目は、状態確認のため表示するだけであり、設定することはできません。

- c) データレート設定(3.4.19項)
 使用するLANインタフェースのデータレート(オート/10Base-T/100Base-TX)を設定します。
- d) DS-LINK設定(3.4.20項)
 DS-LINKプロトコルで使用する各種タイマー値/リトライ回数の設定を行います。
 ※サポートサーバ "6680-NMC"、伝送経路 "DS-LINK" 指定時に設定が必要な場合があります。
- e) マシン名設定(3.4.21項) 通常設定する必要はありませんが、ネットワーク管理のためにも設定することをお勧めします。 また、LPR印刷の場合は、本マシン名設定を使用します。(分かりやすい名称に変更することを推奨 します)

(2) BSNPSの66XX/69XX/FMを設定する場合

BSNPS接続では、エミュレーションとして66XX/69XX/FMの3種類をサポートしています。BSNPSの 66XX/69XX/FMを設定する場合は、以下の設定が必要となります。

A. 論理プリンタ設定(3.4.25項参照)

論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

a)	サポートサーバ
b)	伝送経路
c)	エミュレーション
d)	ポート番号

- a) サポートサーバ "BSNPS"を選択し設定します。
- b) 伝送経路

"TCP/IP"を選択し設定します。 本設定での選択項目には、"TCP/IP"しか存在していませんので、確認の意味で参照するだけで問 題ありません。

- c) エミュレーション
 エミュレーション (66XX/69XX/FM) を選択し設定します。
- d) ポート番号

ポート番号を設定します。BSNPSのデフォルトポート番号は09313です。特に問題がない場合はこの 設定で使用してください。もし変更する場合は上位装置のポート番号も変更する必要があります。

B. 上位装置 (BSNPS) 側の設定

BSNPSの設定については、以下のマニュアルを参照願います。

- ・SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通 S series: PrintWalker/BPCオンラインマニュアル
- ・PRIMERGY 6000 : ASPシステム導入手引書
- ・Linuxサーバ : PrintWalker/LXEオンラインマニュアル

- (3) Windows Server 2003 / Server 2008 (2008 R2)のPrintWalker/PMによる66XX/FMを設定する場合 Windows Server 2003 / Server 2008 (2008 R2)のPrintWalker/PMによる66XX、FMを設定する場合は、 以下の設定が必要となります。
 - A. 論理プリンタ設定(3.4.25項参照)

論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

a) サポートサーバ
b) 伝送経路
c) エミュレーション
d) ポート番号
e) リクエスタサーバアドレス
f) リクエスタポート番号

a) サポートサーバ

"PrintWalkerPM" を選択し設定します。

b) 伝送経路

"TCP/IP" を選択し設定します。

本設定での選択項目には、"TCP/IP"しか存在していませんので、確認の意味で参照するだけで問 題ありません。

- c) エミュレーション エミュレーション(66XX/FM)を選択し設定します。
- d) ポート番号

ポート番号を設定します。PrintWalker/PMのデフォルトポート番号は09313です。特に問題がない 場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合は上位装置のポート番号も変更する必要が あります。

- e) リクエスタサーバアドレス
 66XXエミュレーションを選択した場合、リクエスタサーバアドレスの入力が必要です。
- f) リクエスタポート番号 66XXエミュレーションを選択した場合、リクエスタポート番号の入力が必要です。

B. PrintWalker/PMのインストール

 Windows Server 2003 / Server 2008 (2008 R2)にPrintWalker/PMをインストールします。
 ※既にインストールされている場合でも、バージョンによってはメッセージが表示されないなどの 不具合がありますので、なるべく新しい版数のものをインストールしてください。
 インストール手順は、装置添付のPrintWalker CD-ROM内のドキュメントを参照ください。
 【注意】印刷時はメッセージ連携(到着通知パネル等)の起動が必要です。

C. 上位装置 (PrintWalker/PM) 側の設定

Windows Server 2003 / Server 2008 (2008 R2)にPrintWalker/PMをインストールし、その機能を 使用します。

基本的な設定は以下のとおりです(:ウィンドウ名を示します)。

また、以下の手順でWindows Server 2003における『プリンタとFAX』と『プリンタの追加』は、Windows Server 2008 (2008 R2)では『プリンタ』と『プリンタのインストール』となります。

- a) "スタートメニュー"→ "設定"→ "プリンタとFAX"を選択し、プリンタのウィンドウを開き ます。
- b) 「プリンタとFAX」内の"プリンタの追加"をダブルクリックし、「プリンタの追加ウィザード」 を開き設定を開始します。
 - ① 「プリンタの追加ウィザードの開始」で、"次へ"ボタンをクリックします。

② "ローカルまたはネットワークプリンタ"の選択を行います。

"ローカルプリンタ"を選択し、"次へ"ボタンをクリックします。

※ "プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする"のチェックは外しておきます。

```
(Windows Server 2008 (2008 R2)では"ローカルプリンタを追加します"をクリックします。)
```

③ "プリンタポートの選択"を行います。

"新しいポートの作成"を選択し、コンボボックスから"VSP Network Port"または"VSP Network FMPort"を選択します。プリンタのエミュレーション設定によって、"VSP Network Port"と"VSP Network FMPort"のどちらかを選択するかは異なります。エミュレーションとの対応は以下のとおりです。

- ・エミュレーションが66XXの場合 \rightarrow "VSP Network Port" を選択します。
- ・エミュレーションがFMの場合 \rightarrow "VSP Network FMPort"を選択します。 該当するポートを選択し、"次へ"ボタンをクリックします。 これにより、「ポート追加」のウィンドウが開きます。
- ④ 「ポート追加」において、必要情報を設定します。
 - ・ポート名 → 任意の名前を設定します(1バイト系文字6文字以上32文字以下で設定してください)。
 - ・プリンタ指定 → プリンタのIPアドレスまたはホスト名を設定します。
 - ・論理プリンタ → プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。
 - "OK"ボタンをクリックします("OK"ボタンをクリックした後、しばらく時間がかかる場合 もあります)。

※プリンタ指定のホスト名はIPv6有効時のみ指定可能

⑤ 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択する プリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。 プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンタの追加ウィザード」のメニューに 沿って行います。詳細については、プリンタドライバの"README. TXT"を参照願います。 (4) Windows XP / Vista / 7 / Server 2003 / Server 2008 (2008 R2)のlpd (LPR) による66XX/FMを設定 する場合

Windows XP / Vista / 7 / Server 2003 /Server 2008 (2008 R2)のlpd (LPR) による66XX、FMを 設定する場合は、以下の設定が必要となります。

A. 論理プリンタ設定(3.4.25項参照)

論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

a) サポートサーバ
b) 伝送経路
c) エミュレーション
d) ポート番号
e) リクエスタサーバアドレス
f) リクエスタポート番号

a) サポートサーバ

"lpd"を選択し設定します。

b) 伝送経路

"TCP/IP"を選択し設定します。 本設定での選択項目には、"TCP/IP"しか存在していませんので、確認の意味で参照するだけで問題 ありません。

- c) エミュレーション エミュレーション (66XX/FM) を選択し設定します。
- d) ポート番号

ポート番号を設定します。1pdのデフォルトポート番号は00515です。特に問題がない場合はこの 設定で使用してください。もし変更する場合は上位装置のポート番号も変更する必要があります。

- e) リクエスタサーバアドレス
 66XXエミュレーションを選択した場合、リクエスタサーバアドレスの入力が必要です。
- f) リクエスタポート番号 66XXエミュレーションを選択した場合、リクエスタポート番号の入力が必要です。
- B. 上位装置 (Windows XP / Vista / 7 / Server 2003 /Server 2008 (2008 R2)) 側の設定

Windows XP / Vista / 7 / Server 2003 /Server 2008 (2008 R2)が持っている、lpd (LPR) 機能 を使用します。

基本的な設定は以下のとおりです(:ウィンドウ名を示します)。

また、以下の手順でWindows XP / Server 2003における『プリンタとFAX』と『プリンタの追加』 は、Windows Vista / Server 2008(2008 R2)では『プリンタ』と『プリンタのインストール』、 Windows 7では『デバイスとプリンター』と『プリンタの追加』となります。

- a) "スタートメニュー"→ "設定"→ "プリンタとFAX"を選択し、プリンタのウィンドウを開き ます。
- b) 「プリンタとFAX」内の"プリンタの追加"をダブルクリックし、「プリンタの追加ウィザード」 を開き設定を開始します。
 - ① 「プリンタの追加ウィザードの開始」で、"次へ"ボタンをクリックします。

- "ローカルまたはネットワークプリンタ"の選択を行います。
 "ローカルプリンタ"を選択し、"次へ"ボタンをクリックします。
 - ※ "プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする"のチェックは外して おきます。

(Windows Vista / 7 / Server 2008(2008 R2)では"ローカルプリンタを追加します"をク リックします。)

- ③ "プリンタポートの選択"を行います。
 "新しいポートの作成"を選択し、コンボボックスから"Standard TCP/IP Port"を選択し、
 "次へ"ボタンをクリックします。
 これにより、「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」が開きます。
 "次へ"ボタンをクリックします。
- ④ "ポートの追加"を行います。必要情報を設定します。
 - ・プリンタ名またはIPアドレス
 - → プリンタのIPアドレスを設定します。
 - ・ポート名
 - → 任意の名前を設定します。
 - ※ "ポート名"、"プリンタ名またはIPアドレス"にプリンタのIPアドレスを入力することに より、自動的に入力が行われます。そのままの文字列でも問題ありませんが、分かりやす い名前を設定することをお勧めします。 "次へ"ボタンをクリックします。
- ⑤ "ポート情報がさらに必要です"のウィンドウが開きます。"デバイスの種類"から"カスタム"を選択し、"設定"ボタンをクリックします。
- ⑥ 「標準TCP/IPポートモニタの構成」が開きます。次の項目を設定します。
 - ・プロトコル

場合があります)。

→ "LPR"を選択します。

(例) マシン名

- ・LPR設定
- → "キュー名"にはプリンタ側で設定されている、1pdの論理プリンタを設定します。本 装置では論理プリンタ名を、"マシン名" – "論理プリンタ番号"といった形で表現し ます(大文字/小文字の区別をしますので、入力時には注意してください)。

►の場合、"VSP-1"と設定します。

論理プリンタ番号:"1" ↓

続いて"LPRバイトカウントを有効にする"をチェックします。

: "VSP" ר

- "OK"ボタンをクリックします。
- ※ マシン名は、3.4.21項を参照ください。
- ⑦ 再度「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。
 "次へ"ボタンをクリックします。
 これにより、"標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了"が表示されます。
 "完了"ボタンをクリックします("完了"ボタンをクリックした後、しばらく時間がかかる
- ⑧ 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。 プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンタの追加ウィザード」のメニューに沿って行います。詳細については、プリンタドライバの"README. TXT"を参照願います。

(5) Windows XP / Vista / 7 のPrintWalker/PMによるFMを設定する場合

Windows XP / Vista / 7 のPrintWalker/PMによるFMを設定する場合は、以下の設定が必要となります。

A. 論理プリンタ設定(3.4.25項参照)

論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

a)	サポートサーバ
b)	伝送経路
c)	エミュレーション
d)	ポート番号

a) サポートサーバ

"PrintWalkerPM"を選択し設定します。

b) 伝送経路

"TCP/IP" を選択し設定します。

本設定での選択項目には、"TCP/IP"しか存在していませんので、確認の意味で参照するだけで問 題ありません。

c) エミュレーション

エミュレーション(FM)を選択し設定します。

d) ポート番号

ポート番号を設定します。VSPプリントモニタのデフォルトポート番号は09313です。特に問題が ない場合は、この設定で使用してください。もし変更する場合は上位装置のポート番号も変更する 必要があります。

B. PrintWalker/PMのインストール

Windows XP / Vista / 7 にPrintWalker/PMをインストールします。 ※既にインストールされている場合でも、バージョンによってはメッセージが表示されないなどの 不具合がありますので、なるべく新しい版数をインストールしてください。 インストール手順は、装置添付のPrintWalker CD-ROM内のドキュメントを参照ください。 【注意】印刷時はメッセージ連携(到着通知パネル等)の起動が必要です。

C. 上位装置 (PrintWalker/PM) 側の設定

Windows XP / Vista / 7 にPrintWalker/PMをインストールし、その機能を使用します。 基本的な設定は以下のとおりです (: ウィンドウ名を示します)。

また、以下の手順でWindows XPにおける『プリンタとFAX』と『プリンタの追加』は、Windows Vistaでは『プリンタ』と『プリンタのインストール』、Windows 7では『デバイスとプリンター』と『プリンタの追加』となります。

- a) "スタートメニュー"→ "プリンタとFAX"を選択し、プリンタのウィンドウを開きます。
- b) 「プリンタとFAX」内の"プリンタの追加"をダブルクリックし、「プリンタの追加ウィザード」 を開き設定を開始します。
 - "プリンタの追加"のアイコンをダブルクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を開き、 "次へ"ボタンをクリックします。
 - ② "ローカルまたはネットワークプリンタ"の選択を行います。

"このコンピュータに接続されているローカルプリンタ"を選択し、"次へ"ボタンをクリックします。

- ※ "プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする"のチェックは 外しておきます。
- ③ "プリンタポートの選択"を行います。
 "新しいポートの作成"を選択し、コンボボックスから"VSP Network FMPort"を選択し、
 "次へ"ボタンをクリックします。
 これにより、「ポートの追加」のウィンドウが開きます。
- ④ 「ポート追加」において、必要情報を設定します。
 - ・ポート名 → 任意の名前を設定します(1バイト系文字6文字以上32文字以下で設定し てください)。
 - ・プリンタ指定 → プリンタのIPアドレスまたはホスト名を設定します。
 - ・論理プリンタ → プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。

"OK"ボタンをクリックします("OK"ボタンをクリックした後、しばらく時間がかかる場合 があります)。

※プリンタ指定のホスト名はIPv6有効時のみ指定可能

⑤ 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択する プリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。 プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンタの追加ウィザード」のメニューに沿って行います。詳細については、プリンタドライバの"README. TXT"を参照願います。

3.8.2 ゲートウェイについての補足

※設定は3.4.18.1項を参照ください。



図 3.2 ゲートウェイ

LAN①に接続されている装置が、LAN①に接続されている(同一LAN上)その他の装置と、LAN通信 を行う場合は、ゲートウェイは必要ありませんが、他のLAN(LAN②~⑥)の装置と通信を行う場合 には、ゲートウェイが必要となります。

本装置では、最大5つまでのゲートウェイをサポートしています。

本装置のセットアップでは、ゲートウェイの設定と、デフォルトルータの設定があり、ゲートウェイ設定は4つまで、デフォルトルータ設定は1つとなっています。

また、ゲートウェイ設定には、宛先アドレスとゲートウェイアドレスの設定があります。 "ゲートウェイアドレス1~4"と"デフォルトルータ設定"について説明します。



図 3.3 ゲートウェイ接続の例

- (1) 本装置がLAN②上の装置と通信を行う場合には、ゲートウェイの設定は必要ありません。
- (2) 本装置がホストAと通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになり ます。
 - ・宛先アドレス : ホストAの接続されているネットワークアドレスを設定します。

・ゲートウェイアドレス : GateWay1のアドレス (IPアドレス) を設定します。

- (3) 本装置がホストBと通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 ・宛先アドレス : ホストBの接続されているネットワークアドレスを設定します。
 - ・ゲートウェイアドレス : GateWay2のアドレス (IPアドレス)を設定します。
- (4) 本装置がホストCと通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 ・宛先アドレス : ホストCの接続されているネットワークアドレスを設定します。
 ・ゲートウェイアドレス : GateWay1のアドレス (IPアドレス)を設定します。
- (5) デフォルトルータは、仮に本装置に上記(1)~(4)のような設定をしている場合に、設定している ゲートウェイのどれにもあてはまらないようなデータを処理する場合に使用されるゲートウェイ のことです。そのようなデータは、デフォルトルータに設定されているゲートウェイとデータ通 信を行うこととなります。
 - ※ ゲートウェイアドレス1~4の設定では、本装置と通信を行う相手が接続されているネットワ ークと、そのネットワークへの経路となるゲートウェイが明確になっている場合に設定しま す。
 - ※ デフォルトルータは、既に設定されているゲートウェイアドレスでは処理できないデータを 処理する場合に使用されます。 また、本装置の接続されているネットワークに、ゲートウェイが1つしか接続されていなけ れば、デフォルトルータにそのゲートウェイアドレスを設定しておくだけで、特にゲートウ ェイアドレス1~4に設定をしなくても、他のネットワークと通信を行うことができます。

3.8.3 SNMP機能について

本装置のSNMP機能について説明します。(設定は3.4.21項を参照ください)

(1) SNMP概要

SNMP(Simple Network Management Protocol)とは、ネットワーク上の各種装置を管理するための インターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の管理するソフトウェアをSNMPマネージャ と呼び、管理される装置をSNMPエージェントと呼びます。

図3.4のようにSNMPマネージャからの問い合わせに対して、SNMPエージェントが応答を返すことに よって情報のやりとりが行われます。

SNMPエージェントはMIB(Management Information Base)と呼ばれる管理情報データベースを持ち、 このMIB情報をSNMPマネージャへ応答します。



図 3.4 SNMP

(2) SNMPを利用した装置管理

本装置は、SNMPエージェントとして機能し、市販のSNMPマネージャと連携することにより、さま ざまなプリンタ情報をリモートで取得することが可能になります。

具体的には、プリンタのステータス(カバー、ホッパ、スタッカ、消耗品などの状態)や、能力 (解像度など)、エラーの情報などを取得可能です。

また、プリンタのパネルからトラップの設定を行うことにより、プリンタの電源投入時や、コミ ュニティ違反時(3.8.3(3)②参照)、本装置のエラー発生時にSNMPマネージャに対してトラップコマ ンドを通知することも可能になります。

(3) 本装置のサポートするSNMP

本装置では、SNMP V1 (バージョン1)をサポートしています。 以下に本装置がサポートするSNMP機能について説明します。

① SNMPコマンド

本装置では、SNMPマネージャからの情報取得コマンド(GetRequest、GetNextRequest)はサポートしており正常に応答します。しかし、SNMPエージェントのMIB情報を変更するための情報設定コマンド(SetRequest)はサポートしておらず、SNMPマネージャから設定要求があった場合にはエラーで応答します。

また、トラップコマンドはサポートしており、最大4つまで通知先IPアドレスを設定可能です。

また、これらの通知先アドレスごとに装置起動時のトラップ有効/無効、コミュニティ違反時の トラップ有効/無効、本装置のエラー発生時のトラップ通知レベル(1~5)を設定できます。

トラップ通知レベル(1~5)とは、運用環境に合わせてエラー発生によるトラップをマスクする レベルです。

トラップ通知レベル1	:	すべてのエラー発生時にトラップを通知します。
トラップ通知レベル2	:	用紙なし、ホッパ異常、スタッカ異常、用紙づまり、インターロック
		異常、消耗品発生時、CEコール発生時のみトラップ通知します。
トラップ通知レベル3	:	本装置では本レベルに該当するエラーはありません。
		トラップ通知レベル5と同等のエラー発生時にトラップ通知します。
トラップ通知レベル4	:	本装置では本レベルに該当するエラーはありません。
		トラップ通知レベル5と同等のエラー発生時にトラップ通知します。
トラップ通知レベル5	:	CEコール発生時のみトラップ通知します。

② コミュニティ

SNMPでは、簡易セキュリティとしてデータ中にコミュニティと呼ばれる文字列を使用しています。 本装置では、このコミュニティが1つ設定可能です。設定した以外のコミュニティでSNMPマネージ ャからアクセスされた場合は本装置は応答せず、コミュニティ違反時のトラップを有効にした場合 は、設定したIPアドレスに対してトラップコマンドを通知します。

③ MIB

本装置では、MIBII(RFC1213)、HostResourceMIB(RFC1759の範囲)、PrinterMIB(RFC1759)をサポートしています。

運用にあたり以下の点にご注意ください。

- ・これらのMIB情報の中には、プリンタ状態が変化しても変わらない固定値の物もあります。
- ・PrinterMIB中のメッセージは、日本語(Shift-JIS)に対応しているSNMPマネージャで表示できます。

第3章 操作説明

第4章 消耗品の交換

消耗品の交換方法を説明します。消耗品は、お早めにお求めくださることをお勧めします。 消耗品をお買い求めになるときは、「第7章 消耗品」を参照してください。

▲警告		 トナー(使用済みトナーを含む)または、プリントユニット を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけど の原因になります。 使用済みの部品を火中に投入しないでください。トナー粉が はねて、やけどの原因になります。
	\oslash	 トナー(使用済みトナーを含む)または、プリントユニットは、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。
▲ 注意		 トナー(使用済みトナーを含む)または、プリントユニット は、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤 ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けて ください。 トナー(使用済みトナーを含む)を吸い込んだ場合は、多量 の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。 必要に応じて医師の診断を受けてください。 トナー(使用済みトナーを含む)が目に入った場合は、直ち に大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を 受けてください。 トナー(使用済みトナーを含む)を飲み込んだ場合は、胃の 内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の 診断を受けてください。 用紙づまりの処置やトナー(使用済みトナーを含む)を補給 または交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないよ うに注意してください。トナーが手などの皮膚に付いた場合 は、石鹸水でよく洗い流してください。 衣服に付いた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗 うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくな ることがあります。 使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入 れて保管してください プリントユニットを無理に開けないでください。トナーが飛 び散った場合、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚 す原因となります。
		・用紙交換の際、指はさみ、指のけがにご注意ください。

■非純正品使用時の注意

富士通プリンタ装置は、純正の消耗品をご使用時に最高の性能や品質が得られるように設計されています。

純正品以外の消耗品をご使用になりますと、プリンタ装置の故障の原因になったり、印刷品質が低下す るなど、本来の性能が発揮できない場合があります。

純正品以外の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご留意ください。

純正品以外のプリントユニットは、構造上プリンタ装置に入らないようになっている場合があります。 この場合、無理に押し込んだり、カバーを閉めたりしないでください。

■環境共生トナー(LB501F)のご返却について

環境共生トナー(LB501F)は、プリントユニットのご返却を前提とした商品であり、プリントユニットは 富士通コワーコ株式会社の所有物です。

使用前に下記使用条件にご同意ください。なお、本商品を開梱すると、使用条件にご同意いただいたものといたします。

<使用条件>

・1回のみ使用できる消耗品です。

・使用後は必ずプリントユニットを富士通コワーコ株式会社にご返却ください。

- <お客様へのお願いとご注意>
 - ・本商品はリユース・リサイクル部品を使用している場合があります。
 - ・『無償定期回収サービス』にご登録されていない場合は、後述のエコ受付センターまでお電話いただ き、ご返却の手続きをお願いいたします。
 - ・『無償定期回収サービス』について、詳しくは販売店、またはエコ受付センターへお問い合わせくだ さい。

■使用済みプリントユニットの無償回収について

使用済みのプリントユニットは無料回収を行っておりますので、下記「エコ受付センター」へご連絡く ださい。

使用済み消耗品の無償回収サービスについて
Free 富士通では、地域環境への配慮から、使用済み消耗品を無償で回収しております。 ぜひ「エコ受付センター」までお問い合わせください。回収便にて引取りに伺います。
富士通コワーコ(株) エコ受付センター
通話料無料 0120-300-693
月~金 / 8:40~12:00および13:00~17:30 (土・日曜日・祝祭日・当社指定の休日を除く)
商品に関するお問い合わせについて
 富士通コワーコ(株) お客様総合センター 通話料無料 0120-505-279 月〜金 / 9:00~17:30 (土・日曜日・祝祭日・当社指定の休日を除く) 携帯電話・PHS 03-5520-5820 (携帯電話・PHSの場合、通話料はお客様のご負担となります)

4.1 プリントユニットを交換する

本装置のプリントユニットは、トナー、感光体、廃トナー回収部が一体になっております。 トナーの残量が少なくなった、感光体の寿命になった、または廃トナー回収部が満杯になったなど、 いずれかの状況になると、プリントユニットの交換が必要になります。

操作パネルに次のメッセージが表示されたときは、プリントユニットを交換してください。 ※ 装置の電源を切らずに作業をしてください。

・トナー寿命の場合

プリントユニット寿命
(トナーエンプティ)
プリントユニット交換

・感光体寿命の場合

プリントユニット寿命
(廃トナーフル)
プリントユニット交換

■ 重要

・前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。プリントユニットは、長時間光に当てると性 能が低下します。プリントユニットの交換は速やかに行ってください。

◆ 補足

- ・電源を切断した状態や省エネモード時、エラー発生時にプリントユニットの交換を行った場合、プリントユニットの交換が正常に検出できない場合があります。
- ・プリントユニットを斜めに立てかけたり逆さまにしないでください。
- ・プリントユニットの印刷可能ページ数は、目安として約15,000ページです。この印刷可能ページ数はA45%チャートを連続印刷した場合の目安で、実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類、サイズ、印刷内容、印刷濃度、環境条件によって異なります。プリントユニットは使用期間によっても劣化するため、上記ページ数より早く交換が必要になる場合があります。 また、出荷時に添付されているプリントユニットの寿命の目安は、上記と同じ条件にて約3,000ページです。
- ・以下の不具合が出た場合は、プリントユニットの感光体の寿命です。プリントユニットを交換して ください。
 - ・部分的に白く抜ける
 - ・印字かすれやムラが出る
 - ・白いスジが入る
 - ・全体が黒く印刷される
 - ・文字がにじむ

- ・プリントユニット(消耗品)に不具合があった場合は、購入された販売店にご連絡ください。
- ・プリントユニットは安定した印刷品質を維持するために、ご購入から2年以内でのご使用を推奨しま す。
- ・プリントユニットを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。印刷面の汚れや、トナーこぼれ、 故障の原因になります。
- ・手や衣服を汚さないように注意してください。
- 1 前カバーオープンボタンを押して前カバーを開けます。



▲ 注意

・手差しトレイに用紙をセットしているときは、一度用紙を取り除いてください。(用紙が落下します)

▲ 注意

- ・プリントユニットを置くときは、机などの平らで突起物などのない場所を選んでください。
- ・プリントユニットは、斜めに立て掛けたり逆さまにしないでください。

2 プリントユニットの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。

3 金属製のレジストローラーの位置を目安に、水でぬらし固く絞った布でレジストローラー周辺の紙粉 を拭きとります。

揮発性の薬品や洗浄剤などは使用しないでください。



・転写ローラーには触れないでください。

4 新しいプリントユニットを梱包箱から取り出します。

■ 重要

- ・プリントユニットを振ったり、衝撃を与えないでください。印刷面の汚れや、トナーこぼれ、故障の原因になります。
- 5 プリントユニットを水平な場所に置き、片手を添えながら感光体保護シートとトナーシール(2本)を 水平に引き抜きます。





■ 重要

- ・トナーシールを引き抜かないで使用すると故障の原因になります。必ずトナーシールを2本とも引 き抜いてから使用してください。
- トナーシールを引き抜くときは、プリントユニットを水平にしてください。立てたり、斜めにした 状態で引き抜くと故障の原因になります。
- ・トナーシールは必ず水平に引き抜いてください。上方向や下方向に引き抜くとトナーがこぼれやす くなる原因になります。
- ・プリントユニットを振ったり、衝撃を与えないでください。印刷面の汚れや、トナーこぼれ、故障の原因になります。
- ・手や衣服を汚さないように注意してください。

6 プリントユニットの取っ手を持ち、プリンタ内部に押し込みます。



■ 重要

・前カバーのコネクタに当たらないように注意してください。

8 奥に突き当たったところで、プリントユニットを押し下げます。



9 前カバーを閉めます。



■ 重要

- ・プリントユニットは傾けずに奥まで正しくセットしてください。正しくセットされていないと、前 カバーが閉まりません。そのときは無理に閉めずにプリントユニットを一度取り出し、セットし直 してください。
- 10 操作パネルのリセットキーを押下します。

第5章 異常発生時の操作

本章では、本装置が故障かなと思ったときの処置、印刷品質が低下したときの処置および異常メッセ ージが表示されたときの操作について説明します。

5.1 電源が入らない、印刷が始まらないとき

電源が入らないときや、印刷を実行しても印刷が開始されないときの対処方法に関する説明です。

確認すること	原因・対処方法・参照先
電源が入っていますか?	電源ケーブルが装置側およびコンセントに確実に差し込 まれていることを確認した後、主電源スイッチをオンにし てください。
アラームランプは点灯していませんか?	点灯しているときは、操作パネルの画面のメッセージを確 認して、エラーの対処をしてください。 詳しくは、付録1「メッセージー覧」を参照してください。
用紙はセットされていますか?	給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットしてくださ い。詳しくは、第2章「2.2 用紙をセットする」を参照し てください。
テストプリントができますか?	テストプリントができない場合は、本装置が故障している 可能性があります。保守員に相談してください。テストプ リントの方法については、第3章「3.4.3 テストプリント」 を参照してください。
LANケーブルがきちんと接続されています か?	LANケーブルが上位接続先、本体にしっかりと接続されて いることを確認してください。
LANケーブルを接続してから、本体の電源 を入れましたか?	本体の電源を入れた後にLANケーブルを接続すると、正し く認識されません。LANケーブルを接続してから、本体の 電源を入れてください。

問題が解決しないときは、保守員にご連絡ください。

5.2 正しく印刷できないとき

印刷を実行しても、思いどおりに印刷できないときの対処方法に関する説明です。

5.2.1 きれいに印刷できないとき

状態	原因・対処方法・参照先	
用紙の印刷面が汚れる	印刷濃度を調整してください。印刷濃度の調整の方法は、第3章 「3.4.4 濃度設定」を参照してください。	
	用紙が反ったり、曲がったりしていないか確認してください。用紙 が反っていたり、曲がっていたりすると、汚れの原因になります。 このような場合、用紙の表/裏を逆にしてカセットにセットしてみ てください。また、第6章「6.4 用紙の取り扱いと保管」も参照して ください。	
	プリントユニットを本体にセットするとき何度も抜き差しすると、 印刷面に汚れが出たり、トナーこぼれや故障の原因になります。誤 ってプリントユニットを振ってしまったときは、印刷面に汚れが出 なくなるまで(50 枚程度)印刷を行ってください。	
	同様のパターンのデータや空白の多いデータの大量印刷や幅の狭い 用紙(A3, A4横以外)への大量印刷を行うと、プリントユニット内のト ナーの片寄りにより印刷汚れが発生することがあります。この場合、 A4サイズ全面への文字等のデータを汚れが出なくなるまで(50枚程 度)印刷してください。	
用紙の裏面が汚れる	本体給紙カセットや500枚給紙カセットにセットした用紙と用紙サ イズダイヤルが合っていない可能性があります。セットした用紙サ イズおよび方向に用紙サイズダイヤルを合わせてください。	
	用紙の搬送路がトナー等で汚れている可能性があります。レジスト ローラー周辺を清掃してください。詳しくは、第10章「10.4 レジス トローラー周辺を清掃する」を参照してください。	
	A3, A4横以外の幅が狭い用紙への印刷後に、A3, A4横等の幅が広い用 紙への印刷を行うと、用紙裏面の両端に汚れが発生することがあり ます。 このような場合はレジストローラー周辺を清掃してください。詳し くは、第10章「10.4 レジストローラー周辺を清掃する」を参照して ください。	
	プリントユニット交換後、5~10枚程度は裏面に汚れが発生する 場合があります。	
用紙の端面/先端が汚れる	用紙のカールによる影響で用紙端に汚れが発生する場合がありま す。この場合は、カール抑制設定にてカールを緩和してください。	
	用紙の搬送路がトナー等で汚れている可能性があります。レジスト ローラー周辺を清掃してください。詳しくは、第10章「10.4 レジス トローラー周辺を清掃する」を参照してください。	
用紙中央部先端が折れる/破れ る	用紙製造加工時のわずかなバリの影響で、給紙時に微小なめくれや 折れ、破れが発生する場合があります。この場合、用紙の表/裏を 変えて用紙をセットしてみてください。	
部分的にかすれる 部分的に薄くなる 白抜けが起こる	用紙に湿気が含まれている可能性があります*1。適切な温度、湿度で 保管した用紙を使用してください。詳しくは、第6章「6.4.1 用紙 の取り扱い上の注意」を参照してください。	
	レジストローラー周辺に紙紛が付着している可能性があります。レ ジストローラー周辺を清掃してください。詳しくは、第10章「10.4 レジストローラー周辺を清掃する」を参照してください。	
	 同様のパターンの連続印刷や大量印刷を行った場合、濃度ムラが発生することがあります。 発生した場合、印刷を一時止めるか、一度の印刷量を少なくして、様子を見てください。 	

状態	原因・対処方法・参照先		
画像がぼやける	結露が発生すると画像がぼやける原因になります。寒い部屋から暖 かい部屋に急に移動した場合など、結露が発生したときは、本装置 を室温に十分なじませてから印刷してください。		
用紙にシワがよる	用紙が薄い可能性があります。第2章「2.1.1 使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。		
	用紙に湿気が含まれている可能性があります ^{*1} 。適切な温度、湿度で 保管した用紙を使用してください。詳しくは、第6章「6.4.2 用紙 の保管上の注意」を参照してください。		
シワ/白抜けが起こる	用紙が斜めにセットされた場合、用紙が斜めに搬送されることに伴 って、シワや白抜けが発生することがあります。 用紙とサイドガイドにすき間がなく、サイドガイドがロックされて いることを確認してください。		
シワ/角折れが起こる	用紙に湿気が含まれている可能性があります ^{*1} 。適切な温度、湿度で 保管した用紙を使用してください。詳しくは、第6章「6.4.1 用紙 の取り扱い上の注意」を参照してください。		
画像が斜めに印刷される	用紙とサイドガイドにすき間がなく、サイドガイドがロックされて いることを確認してください。		
	各給紙カセットの底板にあるレバー(2箇所)はどちらも正しい方向 にセットしてください。「2.2 用紙をセットする(1)給紙カセット に用紙をセットする」の手順3を参照してください。		
用紙の裏面に印刷される	セットされている用紙の表/裏が逆になっている可能性がありま す。給紙カセットの用紙は印刷面を下に、手差しトレイの用紙は印 刷面を上にセットしてください。用紙のセット方法は、第2章「2.2 用紙をセットする」を参照してください。		
何も印刷されない	プリントユニットのトナーシール(2本)を引き抜いているか確認し てください。 トナーシールを引き抜かずに電源を入れると故障の原因になりま す。プリントユニットを交換するときは、必ずトナーシール(2本) を引き抜いてください。		
	適切な用紙がセットされていない可能性があります。第2章「2.1.1 使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。		
全体がかすれる	印刷濃度を調整してください。印刷濃度の調整の方法は、第3章 「3.4.4 濃度設定」を参照してください。		

*1 : 未開封の新しい用紙と交換してください。

5.2.2 給紙がうまくいかないとき

状	能	原因・対処方法・参照先		
両面印刷ができない		手差しトレイにセットした用紙は、両面印刷できません。		
何度も用紙づま りが発生する	装置に関する 注意	本体内部に紙片などが残っていないか確認してください。 第5章「5.6 用紙づまりが発生したとき」を参照してください。		
		フリクションパッドや給紙コロが汚れている可能性があります。フ リクションパッドおよび給紙コロを清掃してみてください。第10章 「10.2 フリクションパッドを清掃する」および「10.3 給紙コロ を清掃する」を参照してください。		
	用紙に関する 注意	用紙が厚いか、薄い可能性があります。第2章「2.1.1 使用できる 用紙の種類とサイズ」を参照してください。		
		用紙に湿気が含まれている可能性があります*1。適度な温度、湿度 で保管した用紙を使用してください。第6章「6.4 用紙の取り扱い と保管」を参照してください。		
		薄い用紙や吸湿している用紙の場合、カセット内の用紙が数枚になりますと、用紙づまりが発生する場合があります。		
		本装置で使用できない用紙は使用しないでください。第6章「6.4.3 使用できない用紙」を参照してください。		
	設定/運用に 関する注意	セットした用紙と、用紙サイズダイヤル(手差しの場合は操作パネ ル)の設定が合っていない可能性があります。用紙サイズダイヤル または操作パネルの設定を確認し、セットした用紙サイズと方向の 組み合わせに合わせてください。		
		給紙カセットの用紙ガイドが正しくセットされているか確認して ください。また、サイドガイドがきつくセットされている場合はサ イドガイドを軽く突き当て直してください。		
		セットされている用紙が多すぎる可能性があります。給紙カセッ ト、または手差しトレイに示されている上限表示の線を超えないよ うに用紙を入れてください。		
		両面印刷をするたびに用紙がつまる場合 ・用紙のカールが大きいときはカール抑制設定を行ってみてくだ さい。詳しくは「3.4.5 カール抑制設定」を参照してください。 ・連続して大量印刷を行うと用紙づまりが発生する場合がありま す。一度の印刷を少なくし、間隔を空けて印刷してください。		

*1 : 未開封の新しい用紙と交換してください。

状態	原因・対処方法・参照先
用紙が一度に何枚も送られる	用紙の表/裏を逆にして、カセットにセットしてみてくだ さい。
	用紙をパラパラとさばいてみてください。
	フリクションパッドや給紙コロが汚れている可能性があ ります。これらを清掃してみてください。第10章「10.2フ リクションパッドを清掃する」および「10.3 給紙コロを 清掃する」を参照してください。
	パンチ穴や裁断面にバリがある用紙は使用しないでくだ さい。
	給紙カセットの底板にあるレバー(2箇所)は正しい方向に セットしてください。「2.2 用紙をセットする(1)給紙カ セットに用紙をセットする」の手順3を参照してください。
用紙が斜めに送られる	用紙とサイドガイドにすき間がなく、サイドガイドがロッ クされていることを確認してください。
	給紙カセットの底板にあるレバー(2箇所)は正しい方向に セットしてください。「2.2 用紙をセットする(1)給紙カ セットに用紙をセットする」の手順3を参照してください。
給紙カセットにつまった用紙を取り除い たが、画面のエラーメッセージが消えない	用紙づまりのメッセージが表示されたときは、該当するカ バーの開け閉めを行わないとエラーメッセージが消えな い場合があります。つまった用紙を取り除いた後は、該当 するカバーの開け閉めを行ってください。 詳しくは「5.5 用紙づまり」を参照してください。
印刷の指示をしてから1枚目の印刷が始ま るまで時間がかかる	データの量が多いため、処理に時間がかかっている場合が あります。そのまましばらくお待ちください。
	省エネモードに入るとウォームアップをするため、印刷を 開始するまで時間がかかります。
	複数の論理プリンタで異なる解像度の印刷を行うと、印刷 前に「解像度切り替え処理」が発生するため、一時的に印 刷が中断します。そのまましばらくお待ちください。
異常音がする	異常音がする周辺で、最近交換したプリントユニットや操 作したユニットがある場合、それらがしっかりと取り付け られているかを確認してください。
用紙がカセットから送られない	フリクションパッドや給紙コロが汚れている可能性があ ります。これらを清掃してみてください。第10章「10.2フ リクションパッドを清掃する」および「10.3 給紙コロを 清掃する」を参照してください。
	用紙のセットを手順どおり正しく行わないと、給紙不良や 用紙折れが発生する場合があります。このような場合はカ セット内の用紙を正しくセットしてください。
	給紙カセットの底板にあるレバー(2箇所)は正しい方向に セットしてください。「2.2 用紙をセットする(1)給紙カ セットに用紙をセットする」の手順3を参照してください。
思ったカセットとは違うカセットから給 紙される	セットした用紙と用紙サイズダイヤルが合っていない可 能性があります。セットした用紙サイズと方向の組み合わ せに用紙サイズダイヤルを合わせてください。第2章 「2.2(2) 用紙サイズを変更する」を参照してください。

問題が解決しないときは、保守員にご連絡ください。

5.3 用紙切れ

(1) 検出契機

印刷動作中

(2) 表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスLEDが点灯します。

・カセットより給紙時

用紙がありません	
カセット*=##	

・手差しトレイより給紙時

用紙がありません 手差しトレイ=##

注) * : カセット番号(1~3)カセット3 はオプション ## : 用紙サイズ(A3/A4/A5/B4/B5/LT)を示す。

(3) 復旧操作

- a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
- b. 指定カセット(手差し印刷時は手差しトレイ)に用紙を補給します。用紙補給後、「リセット」 キーを押下すると装置は復旧します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。 なお、カセットを閉じた後の状態確認(手差し印刷時は手差しトレイの用紙認識)に時間がか かるため、カセットを閉めた後(手差し印刷時は手差しトレイに用紙をセットしてから)数秒 待ってから「リセット」キーを押下してください。
- c. 上位から指定されたサイズの用紙がない場合でも本メッセージが表示されます。この場合は、 正しいサイズの用紙をカセット(手差し印刷時は手差しトレイ)にセットしてください。 なお、手差しトレイの用紙サイズを変更する場合は、操作パネルより用紙サイズ設定を変更す る必要があります。(手差しトレイの用紙サイズ設定については、第2章「2.2 用紙をセットす る(4)手差しトレイの用紙種類と用紙サイズを設定する」を参照願います。)

(4) 注意事項

用紙切れ発生時、66XXエミュレーションの論理プリンタに対して以下のように動作します。

- ・サポートサーバが6680-NMCの場合
 - a. 用紙切れ検出のまま約3分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態とします。
 - b. 用紙切れ検出後、3分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、
 - この時点より約10分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。
- ※ 上記の時間が経過するまで装置の異常は応答しません。
- ・サポートサーバが上記以外の場合
- c. 用紙切れを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。
- ・69XX・FMエミュレーションの論理プリンタの場合
 - d. 用紙切れを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。

5.4 排紙トレイでの用紙フル

(1) 検出契機

印刷動作中

(2) 表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスLEDが点灯します。

排紙トレイ フル 紙を取り除いて下さい

(3) 復旧操作

- a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
- b. 指定排紙トレイより用紙を取り除いた後「リセット」キーを押下します。これにより装置が復 旧します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。
- (4) 注意事項

排紙トレイフル検出時点で、既に印刷動作を開始している用紙については、指定排紙トレイがフ ルであっても用紙は、そのまま印刷を行い排出します。

排紙トレイフル検出時では、66XXエミュレーションの論理プリンタに対して以下のように動 作します。

- ・サポートサーバが6680-NMCの場合
 - a. 排紙トレイフル検出のまま約3分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態とします。
- b. 排紙トレイフル検出後、3分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下す ると、この時点より約10分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。
- ※ 上記の時間が経過するまで装置の異常は応答しません。
- ・サポートサーバが上記以外の場合
- c. 排紙トレイフル検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。
- ・69XX・FMエミュレーションの論理プリンタの場合
- d. 排紙トレイフル検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。

5.5 用紙づまり

- (1) 検出契機
 常時
- (2) 表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスLEDが点灯します。

 用紙づまり
 9X-YY

 第1/日印刷中の用紙づまりを示す。

 90は残紙の用紙づまりを示す。

 (#)

 YY:用紙づまり詳細コード(記号)

 ***:位置情報

(#) : 用紙づまり位置[参考]

※表示内容および復旧手順は、「表5.1 エラーコード一覧表」を参照してください。

(3) 復旧操作

- a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
- b. 〈カセットからの印刷の場合〉 まず、操作パネルに表示されたエラーコードを元に 「表5.1 エラーコード一覧表」に示さ れた参照先番号(1~4)を特定します。 次に「5.6 用紙づまりが発生したとき」の参照先番号(1~4)に対応する節を参照し、 つまった用紙を取り除きます。
 - <手差しトレイからの印刷の場合>
 - 操作パネルのエラーコードに関わらず、「5.6.5 手差し印刷時に用紙づまりが発生した場合 (用紙づまり 5)」を参照し、つまった用紙を取り除きます。
- c. カバーを閉めて「リセット」キーを押下すると装置が復旧します。

なお、複数の用紙が装置内につまっている場合、一度の復旧操作で復旧できない場合があります。 この場合、再度操作パネルにメッセージが表示されるので、メッセージに従って復旧操作を実施し てください。

(4) 注意事項

用紙づまり発生時では、66XXエミュレーションの論理プリンタに対して以下のように動作します。

- ・サポートサーバが6680-NMCの場合
- a. 用紙づまり検出のまま約3分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態とします。
- b. 用紙づまり検出後、3分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、 この時点より約10分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。
- ※ 上記の時間が経過するまで装置の異常は応答しません。

・サポートサーバが上記以外の場合

- c. 用紙づまりを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。
- ・69XX・FMエミュレーションの論理プリンタの場合
- d. 用紙づまりを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。

(5) 用紙づまり履歴表示について

共通ストップ画面にて、シフト キーとセレクト△ キーを同時に押下することで、用紙づまり履 歴画面を表示します。

用紙づまりに伴う保守員への連絡を行う場合は、用紙づまり履歴画面で表示される内容もお伝え ください。(詳細は、「3.3.3.4 用紙づまり履歴表示画面」を参照ください。)

表 5.1 エラーコード一覧表

(1)印刷中の用紙づまり(91-YY)

(2) 残紙の用紙づまり(90-YY)

表示内容	参照先	表示内容	参照先	表示内容 参照先
用紙づまり 91-11 カセット2出口 (Y1)	1	用紙づまり 91-21用紙サイズ不一致(A)	2	用紙づまり 90-01 カセット2 1 (Y1)
用紙づまり 91-12 カセット3出口 (Y2)	1	用紙づまり 91-22用紙サイズ不一致(A)	2	用紙づまり 90-02 カセット3 1 (Y 2)
用紙づまり 91-13 手差しい/一本体転写 (A)	1	用紙づまり 91-31本体定着一両面入口 (Z)	3	用紙づまり 90-03 カセット1一本体転写 (A)
用紙づまり り1-14 かたット1-本体転写 (A)	1	用紙づまり 91-32 両面入口 (Z)	4	用紙づまり 90-04 本体定着 3 (B)
用紙づまり り1-16 かたット2-本体転写 (A)	1	用紙づまり 91-33両面入口一両面内部(Z)	4	用紙づまり90-05本体排出3(B)
用紙づまり 91-16 カセット2,3-本体転写 (A)	1	用紙づまり 91-34両面内部(Z)	4	用紙づまり 90-06 両面ユニット入口 4 (Z)
用紙づまり 91-17 両面エットー本体転写 (A)	4	用紙づまり 91-35両面内部一両面出口 (Z)	4	 用紙づまり 90-07 両面ユニット内部 4 (Z)
用紙づまり91-18本体転写(A)	2	用紙づまり 両面出口 (Z)	4	 用紙づまり 90-08 両面ユニット出口 (Z)
用紙づまり91-19本体定着(B)	3			
用紙づまり 本体排紙 (B)	3			

■ 重要

・手差し印刷時の用紙づまりは、操作パネルのエラーコードに関わらず手順5を実施してください。

5.6 用紙づまりが発生したとき

本装置に用紙がつまったときは、操作パネルの画面にエラーメッセージとエラーコード(9X-YY)が表示 されます。

表示されたエラーコードを元に「表5.1 エラーコード一覧表」に示された参照先番号(1~4)を特定し、対応する手順で用紙を取り除いてください。

ただし、手差しトレイからの印刷時に用紙づまりが発生した場合は、操作パネルのエラーコードに関わらず、「5.6.5 手差し印刷時に用紙づまりが発生した場合(用紙づまり 5)」を参照し、つまった用紙を取り除きます。

▲ 注意



・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある 周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

- ・用紙は破れないようにゆっくりと確実に取り除いてください。本体内部に紙片が残ると、再び用紙が つまったり、故障の原因になります。
- ・何度も用紙づまりが発生するときは、以下の原因が考えられます。
 - ・用紙サイズダイヤルまたは操作部の設定と、セットした用紙のサイズ・方向が合っていない。
 - ・給紙カセットの用紙ガイドの位置がずれている。
 - ・フリクションパッドや給紙コロが汚れている。(第10章「10.2 フリクションパッドを清掃する」、「10.3 給紙コロを清掃する」を参照ください。)
- ・つまった用紙にはトナーが付着しています。手や衣服などに触れると汚れますのでご注意ください。
- ・つまった用紙はできるだけ用紙の搬送方向に取り除いてください。逆方向に取り除いた場合、未定着 用紙で装置内部を汚す場合があります。
- ・残紙を取り忘れた場合、残紙の場所によっては、そのまま印刷が開始されることがあります。その場合は、残紙がそのまま排紙される場合と再び用紙づまりとなる場合があります。確実にすべての残紙を取り除いてください。
- ・上記の内容を確認した上でも用紙がつまるときは保守員に連絡してください。
- ・前カバーを開ける場合、手差しトレイに用紙がないことを確認してください。(用紙が落下します)
本装置をご使用中に用紙づまりが発生した場合は、下記のいずれかの箇所で用紙づまりが発生しています。 操作パネルに表示されたエラーコードを元に参照先番号(1~4)を特定し、次ページ以降の対応す る手順で用紙を取り除いてください。

ただし、手差しトレイからの印刷時に用紙づまりが発生した場合は、操作パネルのエラーコードに関わらず、「5.6.5 手差し印刷時に用紙づまりが発生した場合(用紙づまり 5)」を参照し、つまった用紙を取り除きます。



- *1 : 電源投入状態で手順通りに作業してください。手順通り以外の作業もしくは電源切断状態で操作 した場合、電源再投入してもエラーが解除されない場合があります。
- *2 : カセット2から印刷中のメッセージ:カセット2-本体転写 カセット3から印刷中のメッセージ:カセット2,3-本体転写

5.6.1 エラーコードが、90-01~02、91-11~16の場合(用紙づまり1))

■ 重要

- ・機械内部には高温の部分があります。定着部の用紙づまりを取り除くときは、時間を空けて、定着ユ ニットと両面ユニット内部のカバーの温度が十分下がってから取り除いてください。
- ・つまった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、プリンタ本体内部に紙片が残る可能性があります。
- ・手差しトレイから印刷しているときは、手差しトレイにセットしてある用紙を取り除いて、手差しト レイを閉めてから前カバーを開閉させてください。

🛕 注意



・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある 周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

1 給紙カセットを止まるまで引き出し、つまった用紙を取り除きます。



2 給紙カセットを奥までゆっくりと押し込みます。



▲ 注意

・用紙サイズダイヤルとセットした用紙サイズが一致しているか確認してください。
 ・一番下の用紙がずれている場合があります。その場合は用紙を取り除いてください。

3 前カバーを一度開けて、閉めます。



◆ 補足

- ・前カバーの開閉を行わないとエラーは解除されません。
- ・エラーメッセージが消えない場合は、表示されたエラーコードに従って再度用紙づまり を取り除いてください。

5.6.2 エラーコードが、90-03,91-18,21,22の場合(用紙づまり2)

排紙部で用紙づまりが発生したときの対処方法について説明します。

■ 重要

- ・機械内部には高温の部分があります。定着部の用紙づまりを取り除くときは、時間を置いて、定着ユ ニットと両面ユニット内部のカバーの温度が十分下がってから取り除いてください。
- ・定着部の用紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。
- ・定着ユニットの金属部は高温ですので触れないでください。やけどの原因になります。
- ・つまった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、本装置内部に紙片が残る可能性がありますので、ゆっくり引き抜いてください。

▲ 注意	
	 ・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある 周辺には触れないでください。やけどの原因になります。
0	・定着ユニットは高温になります。定着ユニットを取り外す際は、後ろカ バーを開けてから(両面ユニットを引き出してから)1時間以上待ち、 定着ユニットが常温になってから行ってください。やけどの原因になり ます。

- 1 エラーコードが「91-21」または「91-22」の場合、セットした用紙のサイズとカセットの用紙サイズとカセットの用紙ダイヤルの値が一致していない可能性があります。 セットした用紙サイズと用紙サイズダイヤルの値が一致しているか確認した後、以降の手順を実施してください。
- 2 前カバーオープンボタンを押して前カバーを開けます。



▲ 注意

・手差しトレイに用紙をセットしているときは、一度用紙を取り除いてください。 (用紙が落下します)



3 プリントユニットの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。

▲ 注意

- ・プリントユニットを置くときは、机など平らで突起物などのない場所を選んでください。
- ・プリントユニットは、斜めに立て掛けたり逆さまにしたりしないでください。
- 4 トナーが手に付着しないようにAツマミを持ってガイド板を上げ上げ(1)、用紙の両端を持って用紙中 央部を上側に引き上げ(2)、用紙手前部分が出て来たら用紙全体を手前に引き抜きます(3)。



■ 重要

- ・用紙の手前側にある透明なフィルムが折れたり曲がったりしないよう、ゆっくり慎重に引き抜い てください。
- ・用紙づまり処理等で転写ローラーが外れた場合は、保守員に連絡してください。
- 5 プリントユニットの取っ手を持ち、プリンタ内部に押し込みます。



・前カバーのコネクタに当たらないよう注意してください。

6 奥に突き当たったところで、プリントユニットを押し下げます。



7 前カバーを閉めます。



- 重要
 - ・プリントユニットは傾けずに奥まで正しくセットしてください。正しくセットされていないと、 前カバーが閉まりません。そのときは無理に閉めずにプリントユニットを一度取り出し、セット し直してください。

◆ 補足

 ・エラーメッセージが消えない場合は、表示されたエラーコードに従って再度用紙づまりを取り除いて ください。 5.6.3 エラーコードが、90-04,05、91-19,20,31の場合(用紙づまり3)

給紙カセット、カセット3(オプション)で用紙づまりが発生したときの対処方法について説明します。

■ 重要

- ・つまった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、装置内部に紙片が残る可能性がありますので、ゆっ くり引き抜いてください。
- ・給紙カセットを勢いよく入れると、給紙カセットの用紙ガイドがずれることがあります。
- 1 排出ロカバーを開けます。



2 用紙を取り除きます。

つまった用紙を取り除けた場合は、手順12に進みます。



3 両面ユニット側面のレバーを押し下げ(1)、両面ユニットを止まる位置まで引き出します(2)。





4 両面ユニット底板のレバーを押して(1)、両面ユニットを本体から引き抜きます(2)。



5 定着ユニット固定レバーを上げてロックを解除します。



6 定着ユニットを取り出します。



▲ 注意

- ・定着ユニットは高温になります。定着ユニットを取り外す際は、定着ユニットが常温になってから行ってください。やけどの原因になります。
- ・定着ユニットを取り外す際は定着圧レバーが切り替わらないように注意してください。(定着圧レバーは 上げた状態でご使用ください。)
- 7 カバーを開いて、つまっている用紙を取り除き、カバーを閉めます。



8 定着ユニットをプリンタ内部にセットします。



▲ 注意

- ・定着ユニットを取り付ける際は、定着圧レバーが切り替わらないように注意してください。(定着圧レバーは上げた状態でご使用ください。)
- 9 定着ユニット固定レバーをカチッと音がするまで押し下げます。



▲ 注意

- ・レバーが固い場合は定着ユニットが正しくセットされていない可能性があります。一度取り外して再度 取り付けてください。
- 10 電源ケーブルを両面ユニット側面の溝に沿わせて、両面ユニットを本体背面のレールに差し込みます。



11 両面ユニットをゆっくり本体に押し込みます。



▲ 注意

- ・カチッと音がするまでしっかり押し込んでください。
- ・左側の電源ケーブルがかみ込まないように注意して押し込んでください。
- 12 排出口カバーをカチッと音がするまで押し戻します。



- ◆ 補足
 - ・エラーメッセージが消えない場合は、表示されたエラーコードに従って再度用紙づまりを取り除いて ください。

5.6.4 エラーコードが、90-06~08、91-17,32~36の場合(用紙づまり4)

両面ユニットで用紙づまりが発生したときの対処方法について説明します。

■ 重要

- ・機械内部には高温の部分があります。定着部の用紙づまりを取り除くときは、時間を置いて、定着ユ ニットと両面ユニット内部のカバーの温度が十分下がってから取り除いてください。
- ・つまった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、本体内部に紙片が残る可能性がありますので、ゆっくり引き抜いてください。
- ・A5 □ の用紙については、両面ユニットを引き出しても用紙が取り除けないことがあります。この 場合は反対側の本体給紙カセットを引く抜いて、用紙を取り除いてください。





・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある 周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

1 両面ユニット後ろカバーを開けます。



2 両面ユニット後ろカバーの内部につまっている用紙を取り除きます。



■ 重要

 ・両面ユニット後ろカバー内部に残った用紙はセンサーで検出できない場合があるため、必ず用紙の 有無を確認し、有れば取り除いてください。 3 両面ユニット後ろカバーを閉めます。



4 レバーを引き上げ(1)、両面ユニットカバーを開けます(2)。



5 両面ユニットカバーの内部につまっている用紙を取り除きます。



6 両面ユニットカバーを閉めます。



7 両面ユニット側面のレバーを押し下げ(1)、両面ユニットを止まる位置まで引き出します(2)。



1注意

- ・電源ケーブルが抜けないように注意して引き出してください。
- 8 Zツマミを持ってガイド板を起こし、用紙を取り除きます。



9 両面ユニットをゆっくり本体に押し込みます。



▲ 注意

- ・カチッと音がするまでしっかり押し込んでください。
- ・左側の電源ケーブルがかみ込まないように注意して押し込んでください。

◆ 補足

・エラーメッセージが消えない場合は、表示されたエラーコードに従って再度用紙づまりを取り除いてください。

■ 重要

・A5の用紙については、両面ユニットを引き出しても用紙が取り除けないことがあります。 この場合は反対側の給紙カセット1を引き抜いて、用紙を取り除いてください。

5.6.5 手差し印刷時に用紙づまりが発生した場合(用紙づまり 5)



・手差し印刷時の用紙づまりは、操作パネルに表示されたエラーコードに関わらず本手順を実施してく ださい。

1 手差しトレイに残っている用紙(つまった用紙以外)を取り除き、延長トレイを戻します。



2 手差しトレイの上部 (•••• 部分)を押してトレイを閉めます。



3 前カバーオープンボタンを押して前カバーをゆっくり開けます。



4 プリントユニットの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。



▲ 注意

- ・プリントユニットを置くときは、机など平らで突起物などのない場所を選んでください。
 ・プリントユニットは、斜めに立て掛けたり逆さまにしたりしないでください。
- 5 トナーが手に付着しないようにAツマミを持ってガイド板を上げ(1)、用紙の両端を持って用紙中央部 を上側に引き上げ(2)、用紙手前部分が出て来たら用紙全体を手前に引き抜きます(3)。



■ 重要

- ・用紙の手前側にある透明なフィルムが折れたり曲がったりしないよう、ゆっくり慎重に引き抜いてく ださい。
- ・用紙づまり処理等で転写ローラーが外れた場合は、保守員に連絡してください。
- 6 プリントユニットの取っ手を持ち、プリンタ内部に押し込みます。





7 奥に突き当たったところで、プリントユニットを押し下げます。



8 前カバーを閉めます。



- 重要
- ・プリントユニットは傾けずに奥まで正しくセットしてください。正しくセットされていないと、前カバーが閉まりません。そのときは無理に閉めずにプリントユニットを一度取り出し、セットし直してください。
- 9 排出ロカバーを開けます。



10 用紙を取り除き、排出口カバーを閉めます。



▲ 注意

- ・排出ロカバーを閉める際は、カチッと音がするまでしっかり押し込んでください。
- 11 両面ユニット側面のレバーを押し下げ(1)、両面ユニットを止まる位置まで引き出します(2)。(両面 ユニットを本体から取り外す必要はありません。)



▲ 注意

- ・電源ケーブルが抜けないように注意して引き出してください。
- 12 両面ユニットをゆっくり本体に押し込みます。



▲ 注意

- ・カチッと音がするまでしっかり押し込んでください。
- ・左側の電源ケーブルがかみ込まないように注意して押し込んでください。

5.7 装置のカバーオープン

(1) 検出契機

常時

ただし、以下の状態では一時的に検出を行いません。

- ・用紙づまり検出により、つまった用紙を取り除く作業中
- ·消耗品交換作業中

(2) 表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスLEDが点灯します。

カバーオープン	注) **** : 排出ロカバー	··· (1)
カバーを閉じて下さい	前カバー	··· (2)
****	両面ユニットカバー	(3)

※上記注記のカバー名称の右側に記載している()内の数字は、カバーオープン 検出の優先順位を表します。 複数のカバーオープンが発生している場合は優先順位の高いカバーオープンを パネル表示します。(カバーオープン中に優先順位の低いカバーが開いてもパ ネル表示は変わりません。また(停止していた)ブザーも鳴動しません)

(3) 復旧操作

- a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
- b. カバーを閉じた後「リセット」キーを押下します。これにより装置が復旧します。このとき、 ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。

(4) 注意事項

印刷動作中にカバーを開くと、装置内(パス内)の用紙はそのまま停止するために、用紙は取り 除く必要があります。

カバーオープン発生時、66KXXエミュレーションの論理プリンタに対して、以下のように動作 します。

- ・サポートサーバが6680-NMCの場合
- a. カバーオープン検出のまま約3分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態とします。
- b. カバーオープン検出後、3分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下す ると、この時点より約10分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。
- ※ 上記の時間が経過するまで装置の異常は応答しません。
- ・サポートサーバが上記以外の場合
- c. カバーオープンを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。
- ・69XX・FMエミュレーションの論理プリンタの場合
- d. カバーオープンを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。
- その他注意事項
 - a. カバーオープンは、インターロックセンサーの故障により表示する場合があるので、閉じて いるにも関わらず、リセットで復旧できない場合は、保守員にご連絡ください。
 - b. 「両面ユニットカバー」を開いた状態では、片面印刷もできません。
 - c. 片面印刷中に両面ユニットカバーを開くと即時に印刷は停止せず、プリンタ内の用紙を排出 後に停止します。

5.8 カセットオープン

- (1) 検出契機印刷動作中
- (2) 表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスLEDが点灯します。



注) * : カセット番号(1~3) カセット3はオプション

(3) 復旧操作

a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。

 b. カセットを閉めた後「リセット」キーを押下します。これにより装置が復旧します。このとき、 ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。
 なお、カセットを閉じた後の状態確認に時間がかかるため、カセットを閉めた後に2秒程度待ってから「リセット」キーを押下してください。

(4) 注意事項

カセットオープン発生時、66XXエミュレーションの論理プリンタに対して、以下のように動 作します。

- ・サポートサーバが6680-NMCの場合
- a. カセットオープン検出のまま約3分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態とします。
- b. カセットオープン検出後、3分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下 すると、この時点より約10分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。
- ※ 上記の時間が経過するまで装置の異常は応答しません。

・サポートサーバが上記以外の場合

c. カセットオープンを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。

- ・69XX・FMエミュレーションの論理プリンタの場合
- d. カセットオープンを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。

5.9 インターロックエラー

(1) 検出契機

常時

ただし、以下の状態では一時的に検出を行いません。

- ・用紙づまり検出により、つまった用紙を取り除く作業中
- 消耗品交換作業中

(2) 表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスLEDが点灯します。

・定着ユニットが本体にセットされていない場合



・プリントユニットまたは両面ユニットが本体にセットされていない場合



注) ** : ユニット名称を示します。 ユニット名称: プリントユニット 両面ユニット

> 表示の優先順位は以下となります。 (1)定着ユニット (2)プリントユニット (3)両面ユニット

※電源投入時と省エネ復帰時および両面ユニットセンサ ーの異常発生時、優先順位は以下となります。 (1)両面ユニット

(2)定着ユニット

(3) プリントユニット

(3) 復旧操作

- a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
- b. インターロックエラー発生ユニットを正しくセットし、「リセット」キーを押下します。 これにより装置が復旧します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。

(4) 注意事項

インターロックエラー発生時、66XXエミュレーションの論理プリンタに対して、以下のよう に動作します。

- ・サポートサーバが6680-NMCの場合
 - a. インターロックエラー検出のまま約3分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態 とします。
- b. インターロックエラー検出後、3分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを 押下すると、この時点より約10分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。
 ※ 上記の時間が経過するまで装置の異常は応答しません。
- ・サポートサーバが上記以外の場合
 - c. インターロックエラーを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。
- ・69XX・FMエミュレーションの論理プリンタの場合
- d. インターロックエラーを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。
- その他注意事項
 - a. インターロックエラーは、インターロックセンサーの故障により表示する場合があるので、 閉じているにも関わらず、リセットで復旧できない場合は、保守員にご連絡ください。

5.10 受信データの異常(66XX・69XX時)

- (1) 検出契機印刷データ受信中、およびデータ展開中
- (2) 表示内容下記メッセージが表示されます。

·共通画面

1 2 3 スタート

注) ひとなっている論理プリンタがデータエラー検出

・論理プリンタ画面(66XXおよび69XX)



注) ****: エミュレーション種別(66XXまたは69XX)
 XX : エラーコード(付録1.4異常メッセージ(受信データ66XX/69XX)
 を参照)

- ※ GS/PRIMEFORCE連携でサポートサーバ:6680-NMC設定の場合、ホストシステムに対してはオペレーション チェックまたは Support Not Functionのいずれかで応答
- ※ データエラー=3Dは、SNDCG未受信状態で印刷データを受信した場合の異常です。
 詳細は「5.16 SNDCGに関する異常」を参照ください。
- (3) 復旧操作
 - a. データエラー発生時、共通画面から該当する論理プリンタの画面に入り、「リセット」キーを押 下することにより、エラーの表示を消去します。
 - b. この状態は、特に復旧操作を行わずとも、ホストシステムより印刷データの送信が開始される と、エラー表示のままで印刷動作を開始します。

5.11 メカ系の障害

(1) 検出契機

常時

(2) 表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスLEDが点灯します。

6Х—ҮҮ СЕ⊐	ール	
*****	**	
*****	**	
注) 6 X : 6	0	モータ系異常
6	2	帯電系異常
6	3	定着系異常
6	4	光学系異常
6	5	通信系異常
6	6	その他異常

※ その他詳細 (YY、および****表示) については「付録1.6 異常メッセージ(メカエラー CE コール)」を参照

(3) 復旧操作

- a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
- b. メカ異常コードを記録の上、パス内の用紙を取り除き、「リセット」キー押下します。 「リセット」キーを押下しても復旧しない場合は、電源切断準備キーを押下してから電源切断 し、電源を再投入します。
- c. 復旧しない場合、または頻発する場合は、保守員にご連絡ください。

(4) 注意事項

「リセット」キーを押下すると、下記に示すメッセージが表示され「プリンタ停止画面」に遷移し ます。

プリンタ	リセット中
しばらくお	5待ち下さい

5.12 ハードウェアの障害

- (1) 検出契機
 常時
- (2) 表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスLEDが点灯します。

- ① リセットにより復旧可能な下記コードの場合
 - ・機構部割り込み異常(42 **00) : 1200(プロセス開始カウンタ),1400(画像転送),1500(プロセス終了カウンタ)
 - ・機構部タイムアウト(42 30**) : 3011(コマンド),3012(ピック),3014(画像転送),3015(用紙排出)
 - ・機構部waitタイムアウト (42 31**) : 3102(ウォームアップ)

【機構部(メカ)異常】		
4 2 XXXX XXXX XXXX		
用紙確認後、リセット		
して下さい		

ERROR89-IE(xxxx)

PLEASE POWER DOWN

xxxx:詳細コード

② 上記(42エラー)以外の場合

【機構部(メカ)異常】	「ハード異常(制御部)】
4 X XXXX XXXX XXXX	8 X XXXX XXXX XXXX
CEコール XXXX XXXX	$CE $ $\square $ $) $ $V $ $XXXX $ $XXXX $
担当CEにご連絡下さい	担当CEにご連絡下さい
【ハード異常(INF異常)】	【ハード異常 (田部)】
CX XXXX XXXX XXXX	DX xxxx xxxx xxxx
CEコール XXXX XXXX	$CE $ $\square $ $) $ $V $ $XXXX $ $XXXX $
担当CEにご連絡下さい	担当CEにご連絡下さい
【ハード異常(システム初期化異常)】	【ハード異常(システム初期化異常)】
ERROR89-Exxxxxxx	ERROR89-LX (-xxxxxxxx)
PLEASE POWER DOWN	PLEASE POWER DOWN
【ハード異常(システム初期化異常)】	

xxxx:詳細コード

注) ERROR89の場合、ブザー鳴動しません。 また8Xエラーについては、ブザー鳴動しない場合があります。

(3) 復旧操作

- a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
- b. メカ異常コードを記録の上、以下の操作を行います。
 ①の場合、パス内の用紙を取り除いて「リセット」キーを押下します。
 ②の場合、電源切断準備キーを押下してから電源切断し、パス内の用紙を取り除いて、電源を 再投入します。
 電源切断準備キーを押下しても装置終了処理が開始されない場合は、主電源スイッチをOFFして 再度電源投入してください。
- c. 復旧しない場合、または頻発する場合は、保守員にご連絡ください。

5.13 Ι Ρ アドレス設定異常

(1) 検出契機

先に立ち上がっている装置があり、それと同じIPアドレスで本装置を後から立ち上げたとき。

(2) 表示内容

下記メッセージが表示し、ステータスLEDは点灯せず、ブザーも鳴動しません。



注) xxxx : 相手MACアドレスの下位4バイトを表示**** : 重複したIPアドレスを表示

(3) 復旧操作

a. 電源切断準備キーを押下してから電源切断し、アドレスの重複を解決後、電源再投入します。 プリンタの設定変更が必要な場合は、一旦LANから切り離してセットアップにて、IPアドレスを 修正します。

5.14 消耗部品メッセージ

ニアライフを含む交換が必要な消耗部品がある場合、共通スタート画面に表示します。 消耗部品が複数個発生している場合は、発生消耗部品で交互表示を行います。

a) 装置寿命

スタート	123
装置寿命	

- 意味:装置の総印刷枚数が60万ページを越えたため以降の印刷品質が保証できません。
- 検出契機: 装置の総印刷枚数が60万ページを越えたとき。
- LED状態 : ステータスLEDの変化なし。

※ 装置寿命表示は、他に消耗部品があれば表示しません(装置寿命のみ発生してい る場合に表示)。

b) プリントユニットのニアライフ

スタート	123
プリントユ:	ニット準備

意 味	:	プリントユニットの交換時期です。
		継続使用すると印刷動作を停止しプリントユニット寿命となります。
		(約200ページ印刷で寿命検出します。ただし、使用条件により変動します。)
		プリントユニット寿命については「5.15 消耗品の劣化」を参照してください。
検出契機	:	IPL終了時、および印刷動作中

LED状態	:	ステータスLEDは、	点滅動作を行います。

対処 : プリントユニットを交換します。

注意事項 : ・ニアライフ検出後、印字率の高い印刷は濃度が低下する可能性があります。こ の場合は、共通設定の濃度設定にて濃度の補正を行ってください。 なお、新しいプリントユニットに交換したときは、濃度補正を元の値に戻して ください。

- ・プリントユニット内のトナー残量が不安定な状態では、一度ニアライフが表示 されてもその表示が消える場合があります。このような場合、ニアライフ検出 後の印刷可能ページ数は、再表示してからのページ数となります。
- c) 定期交換部品キットのニアライフ

	スター	123	
	定期交掛	與部品科小準備	
意 味	:	定期交換部品キ	ットの交換時期です。 定期交換部品キット寿命となります
		総紀反用すると、	ジで寿命検知します。ただし、使用条件により変動します。)
検出契機	:	I P L 終了時、	および印刷動作中
LED状	態 :	ステータスLE	Dは、点滅動作を行います。
対 処	:	保守員にご連絡の	の上、定期交換部品キットを交換してください。

d) 定期交換部品キット寿命

	7	マタート	
	気	官期交換	部品科小交換
意	味	:	定期交換部品キットの寿命です。
			継続使用した場合、印字品質は保証いたしません。
検出契機		:	IPL終了時、および印刷動作中
LΕ	D状態	:	ステータスLEDは、点滅動作を行います。
対	処	:	保守員にご連絡の上、定期交換部品キットを交換してください。

5.15 消耗品の劣化(プリントユニット)

(1) 検出契機

印刷動作中

(2) 表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスLEDが点灯し印刷は停止します。

トナー寿命の場合(感光体寿命と同時に検知した場合はトナー寿命を優先とします)

プリントユニット寿命 (トナーエンプティ) プリントユニット交換

・感光体寿命の場合(トナー寿命と同時に検知した場合はトナー寿命を優先とします)

プリントユニット寿命 (廃トナーフル) プリントユニット交換

(3) 復旧操作

- a. リセットキー押下により(このとき、ブザー音停止)表示画面はストップ/オフライン画面 へと遷移します(印刷の延長)。
 - ・リセット1回につき10枚印刷が可能となります。
 - ・リセットは3回までできます(最長30カウント)。
 それ以降は交換作業を行わないと印刷できませんので、プリントユニットを交換してください。
 - ・延長後の「10枚のカウント」は、片面/両面および用紙サイズに関係なく、排紙枚数でカ ウントします。
 - ・装置の電源投入時にプリントユニット寿命が発生している場合は、延長処理は行えません。
- (4) 注意事項

印刷動作中に消耗品劣化を検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。 消耗品劣化発生時、66XXエミュレーションの論理プリンタに対して、以下のように動作しま す。

- ・サポートサーバが6680-NMCの場合
- a. 消耗品劣化検出のまま約3分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態とします。
- b. 消耗品劣化検出後、3分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、 この時点より約10分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。
- ※ 上記の時間が経過するまで装置の異常は応答しません。
- ・サポートサーバが上記以外の場合
- c. 消耗品劣化を検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。
- ・69XX・FMエミュレーションの論理プリンタの場合
 - d. 消耗品劣化を検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。

5.16 SNDCGに関する異常(69XX時)

(1) 検出契機

IPL終了時

(2) 表示内容

SNDCGの状態により下記メッセージが表示されます。

・CGパターン未受信時

Г	7 ALL COVV
	A9-F 69AA
	1
	SNDCC 半平信
L	SNDCG AZE

・CGパターンダウンロード時

スタート 69XX
SNDCG 受信中

注) CGパターンダウンロード中にストップキーが押下された場合は、処理が中断されます。

・CGパターンダウンロード終了時



注)ダウンロードされたCGパターンは電源再投入により使用可能となります。

(3) 復旧操作

- a. SNDCG未受信画面はCGパターンダウンロードが完了するまで、エラー表示の解除は行え ません。
- b. この状態で復旧操作を行わなかった場合、ホストシステムより印刷データの送信が開始される と、以下のデータエラーを表示して上位ソフトにデータエラー(オペレーションチェック 詳細コ ード:3D)を通知し、印刷は行いません。

スタート 69XX	
	1
データエラー=3D	

5.17 リクエスタサーバ接続異常(66XX時)

(1) 検出契機

IPL時リクエスタサーバから66XX資源のローディング中

(2) 表示内容

下記メッセージを表示します。

リクエスタサーバと 接続できません 再接続中です

(3) 復旧操作

- a. 接続異常が解除されると自動的に再接続し、66XX資源のローディングを再開します。
- b. 論理プリンタを削除/変更する場合

「セットアップ」キー(シフト+スタート)を押下することにより、以下の画面が表示されます。

本設定後、電源再投入 が必要です 設定しますか?Y/N

- ・「セット(Yes)」キーを押下すると、「環境設定」メニュー画面に遷移しますので、該当する 論理プリンタを削除/変更してください(リクエスタサーバのアドレスも確認)。
- ・「リセット(No)」キーを押下すると、リクエスタサーバ接続異常画面に戻ります。
- c. 論理プリンタを削除/変更せず、他の論理プリンタで動作させる場合 リクエスタ未接続モードで動作させます。
 電源投入時に、「リセット」キーと「セット」キーを押下しながら電源を投入すると、リクエス タ未接続モードで立ち上がります。
 詳細は「付録6 リクエスタ未接続モード立ち上げ」を参照してください。
- (4) 注意事項

本異常は、次の論理プリンタの設定がある場合で資源のローディングが完了していない場合に検 出される。

- a. サポートサーバ=PrintWalker/PM、伝送経路=TCP/IP、エミュレーション=66XX
- b. サポートサーバ=lpd、伝送経路=TCP/IP、エミュレーション=66XX

5.18 プリントユニット異常

5.18.1 非純正品のプリントユニットを使用した場合

(1) 検出契機

常時

(2) 表示内容

下記メッセージを表示し、ブザー音の鳴動と、ステータスLEDを点灯します。



(3) 復旧操作

- a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
- b. 純正品(富士通コワーコのサプライ用品)のプリントユニットに交換して「リセット」キーを 押下します。

(4) 注意事項

- a. 本エラー表示中にプリントユニットを交換せず、「リセット」キーを押下してもエラー解除でき ません。
- b. 本エラー表示中に「電源切断準備」キーを押下し電源切断後、プリントユニットを交換せず電 源再投入した場合は再度、同じエラーを表示します。
 ただし、純正品(富士通コワーコのサプライ用品)のプリントユニットに交換して、電源再投入 すると共通スタート画面で立ち上がります。
- c. セットアップモード状態で非純正品のプリントユニットをセットした場合、その時点ではエラ ー表示しません。その後、セットアップモード内で印刷を実行した場合、または通常モードに 戻った時点でエラー表示します。

5.18.2 再充填品のプリントユニットを使用した場合

- (1) 検出契機
 常時
- (2) 表示内容

下記メッセージを表示します。



- (3) 復旧操作
 - a. 警告(確認)表示中に「Yes」キー押下で共通ストップ画面に遷移します。 一度「Yes」キーを押下すると、別のプリントユニットがセットされるまで警告(確認)画面 は表示されません。
 - b. 「No」キーを押下すると「プリントユニット異常」となります。
 - 本エラー表示中に「電源切断準備」キーを押下し電源切断後、プリントユニットを交換せず電源 再投入した場合は再度、警告(確認)表示画面となります。 ただし、純正品(富士通コワーコのサプライ用品)のプリントユニットに交換して、電源再投入 すると共通スタート画面で立ち上がります。
- (4) 注意事項
 - a. セットアップモード状態で再充填品のプリントユニットをセットした場合、その時点では警告
 (確認)表示しません。その後、セットアップモード内で印刷を実行した場合、または通常モードに戻った時点で警告(確認)表示します。

第6章 用紙仕様および帳票設計

本章では、印刷用紙の規格、特殊用紙の取り扱い・制約事項、再生紙の取り扱い、用紙の保管、用 紙の取り扱いおよび帳票設計上の注意について説明します。

6.1 用紙の規格

本装置で使用できる用紙は、普通紙 (PPC用紙) といわれるもので、表 6.2 に仕様を示します。

ただし、一般に市販されているものの中には本装置に適さないものがあります。特にカット紙の場 合は、用紙搬送性や印刷品質は用紙特性に大きく依存し、用紙もハードウェアといえるほどの重要性 を持っています。

用紙特性は、用紙原材料、充填材、コート材、製造環境、製造工程、裁断などの後処理工程、保管 環境などにより大きく変動します。

これらの条件を管理した推奨用紙を富士通コワーコ㈱よりサプライ用品を供給しています。

しかし、やむを得ず他の用紙を調達する場合を想定して、本書に用紙調達時における基本的事項を まとめました。

なお、本書にまとめた注意事項は基本的部分であり、上述したように用紙は製造工程や保管環境な どの影響を大きく受けますので、本書の注意事項を守っていただくと共に、運用に先立ち、用紙を試 作して十分に事前確認することが必要になります。

商品名	1	商品番号	備考
オフィス用紙W	A3	0411650	500枚×3冊で1ケース
	B4	0411620	500枚×5冊で1ケース
	A4	0411610	
	B5	0411640	
	A5 (Y)	0411635	
	レター	0411660	

表 6.1 推奨用紙

致 0.2 /用版 0/X H						
項	目	仕様				
紙	質	普通紙 (PPC用紙)				
形	態	カット紙				
用紙寸法	A3	$297 \pm 0.7 \times 420 \pm 1.0$ mm				
	B4	$257 \pm 0.7 \times 364 \pm 1.0$ mm				
	A4	$210\pm0.7 \times 297\pm0.7$ mm				
	В5	$182\pm0.7 imes257\pm0.7$ mm				
	A5	$148\pm0.7\times210\pm0.7$ mm				
	レター	215.9±0.7×279.4±0.7mm				
坪	量	カセット1~2/カセット3 :64~105g/m²				
		手差しトレイ : 64~157g/m ²				
繊維方向 (注1)	カセット給紙	$ \begin{array}{c} & & & & \\ & & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ $				

表 6.2 用紙の規格

注1) 推奨繊維方向と異なる用紙繊維目方向の用紙を使用した場合は、用紙じわが発生する可能性が あります。

(1) 用紙の種類

本装置で使用できる用紙は、電子写真印刷用に製造された普通紙あるいは、その用紙を加工したものです。

電子写真印刷を考慮しないで製造された用紙を使用すると、用紙の中の充填物が装置破損の原因に なったり、印刷品質低下の原因となります。

(2) 用紙サイズ

本装置で使用できる用紙は、A系列(A5、A4、A3)、B系列(B5、B4)、アメリカ、カナダなどで使用 されているレターサイズの用紙です。

表 6.2 以外の用紙を使用すると、寸法が合わないために搬送がうまくいかず、用紙づまりや用紙斜 行による印刷抜けなどの原因になります。

(3) 用紙坪量

用紙を規定するときの基本的な単価として、単位面積あたりの重量があります。規定方法は、標準 として1m²あたりの重量をグラムで表した坪量(g/m²)があります。

表 6.2 以外の用紙を使用すると、軽いときはシワや用紙折れによる用紙づまりなどの原因となり、 重い場合は紙の腰が強くなりすぎて、スリップによる用紙づまりの原因になります。

(4) 用紙の裁断面について

用紙の裁断面の形状は、良好な印刷品質や搬送性を得るために重要な要素です。本装置に使用する 用紙は、用紙の裁断面にバリがないものを使用してください。もし、裁断面にバリがあると、複数枚 の用紙がバリによって密着してしまい、用紙搬送時の重送で、搬送抜けやピックミス(搬送ミス)、斜 行などの原因になります。

(5) 用紙の水分とカールについて

電子写真印刷では、定着過程(トナーを用紙上に定着する過程)で用紙に高熱が加わります。この とき、用紙の水分が瞬間的に蒸発するので、用紙が収縮してカールや波打ちを生じます。このため、 電子写真印刷に使用する用紙は、適切な範囲に水分が抑制されている必要があります。

(6) 用紙のカール、シワ、波打ちについて

用紙にカールやシワ、波打ちがあると、搬送ローラーの用紙かみ込みがうまくいかないで用紙づま りの原因になったり、感光ドラムと用紙の密着が低下して印刷品質低下の原因となったりします。 また、スタックできる量が減ってしまう場合があります。

(7) 用紙の繊維方向について

繊維方向と繊維に直角な方向とでは、腰の強さやカールのしやすさなどが異なります。 表 6.2 の繊維方向の用紙を使うことを推奨します。

6.2 特殊用紙の取り扱いと制約事項

本装置で使用できる特殊用紙は、次のとおりです。

ただし、用紙設計上の制約事項ならびに取り扱い上の注意点があるので、運用に先立ち十分な事前 確認をする必要があります。

プレプリント紙

- a) デザイン上の注意事項
 - 印刷インクの影響で印刷品質が低下することがあります。したがって、重要なデータを印刷する 部分へのプレプリントを避けたデザインとしてください。
 また、ベタ印刷をすると、インクが紙面を完全に覆うために印刷品質への影響が大きくなります。
 バックカラー印刷や地紋印刷などをするときは、ベタ印刷を避けて網点印刷としてください。
 - プレプリントした印刷枠の中に印刷するときは、印刷位置ズレが目立つことがあります。
 極力、枠印刷を避けて地紋印刷などにより代替えしてください。
 なお、プレプリント用紙を使用する場合は、プレプリント枠と文字の間隔を十分に取ってください。
 - インクの量が極力少なくて済むデザインとしてください。インクの量で印刷濃度を出すのではなく、インク色でカバーしてインク量を減らします。
- b) その他の注意事項
 - ・ 金属を混合したインクの使用は避けてください。
 - インクが乾燥していない状態で使用すると、インクが定着部、感光ドラム、転写ローラーなどに 付着し、印刷品質の低下、用紙づまり、装置の破損の原因となります。
 - ・ インクの種類としては、確実に乾燥するUVインクの使用を推奨します。
 - なお、乾燥パウダーの使用は、装置の故障の原因になるので使用しないでください。

6.3 再生紙の取り扱い

ー般に市販されているものの中には本装置に適さないものがありますので、良好な印刷品質と搬送 性を維持するために、できるだけ推奨紙を使用してください。

注) 再生紙は、空気中の水分の吸湿によりトラブルが発生しやすくなりますので、保管には特に注意 してください。

6.4 用紙の取り扱いと保管

用紙を取り扱ったり保管するときは、次の注意を守ってください。

■ 重要

市販されているすべての用紙での印刷結果を保証するものではありません。
 予めご了承ください。

6.4.1 用紙の取り扱い上の注意

次のようなときに印刷できなかったり、用紙づまりが起きたりするので、用紙の取り扱いに注意してください。

- ・用紙は推奨用紙をご利用ください。それ以外を使用した印刷についてはその印刷結果は保証いた しかねますので、予めご了承ください。
- ・用紙は以下の向きにセットしてください。
- カセット1,2/カセット3 (オプション) :印刷面を下
- 手差しトレイ :印刷面を上
- ・セットした用紙と、用紙サイズダイヤル(手差しの場合は操作パネル)の設定を確認し、セットした用紙サイズと方向の組み合わせに合わせてください。
- ・用紙とサイドガイドにすき間がなく、サイドガイドがロックされていることを確認してください。
- ・サイドガイドはきつくセットしすぎないでください。(軽く突き当たるところでセットしてください。)
- ・用紙をセットするときは、用紙がカセットやサイドガイドに表示された上限表示(▼▼)を超えないようにしてください。
- ・手差しトレイにセットするときは、用紙がサイドガイドのつめの下に収まるようにしてください。
- ・手差しトレイには用紙を放置しないでください。印刷終了後トレイに残った用紙は購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。
- 用紙をセットした給紙カセットを本体にセットするときは、ゆっくりと入れてください。
 カセットを勢いよく入れると、カセットの用紙ガイドがずれることがあります。
- ・カセットへの用紙の継ぎ足しや一度バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しないでください。

6.4.2 用紙の保管上の注意

用紙は、水分を吸収しやすい特性を持っており、用紙特性は非常に変化しやすいものです。保管条件が悪いと特性が変化してしまい、用紙づまりや印刷品質低下の原因となることがあります。用紙を 保管するときは、次の点に注意してください。

- 用紙にクセやカールが付くのを防ぎ、かつ、用紙の乾燥や吸湿を防ぐため、用紙は防湿効果のあるフィルムで包装してください。さらに、頑丈で内部に凹凸のない防湿処理をした段ボールケースに入れたものを入手してください。
- 用紙にクセやカールが付くのを防ぐため、平らで凹凸のないところに保管してください。
- 用紙にクセやカールが付くのを防ぐため、高く積み上げないでください。段ボールケースに入っている場合でも、あまり高く積み上げないでください。
- ・ 用紙が乾燥したり吸湿したりすることを防ぐため、10~32℃、15~80%RHの環境に保管してくだ さい。ただし、段ボールケースを開封したときなどは、15~25℃、40~50%RHの環境に保管して ください。
- 用紙が乾燥したり吸湿したりすることを防ぐため、開封後の用紙は必ずポリエチレンシートに包んで保管してください。
- 用紙が乾燥したり吸湿したりすることを防ぐため、急激な温度変化を用紙に与えないでください。
 段ボールケースのまま使用場所に搬入し、使用場所の温度に十分なじませてから(1日程度)開封してください。
- ・ 直射日光の当たるところには置かないでください。
6.4.3 使用できない用紙

以下のような用紙は使用できません。

- ・インクジェット専用紙、OHP用紙
- ・ジェルジェット専用紙
- ・はがき
- ・感熱紙やノンカーボン紙など特殊な用紙
- ・メールシール紙
- ・タック紙/ラベル紙
- ・シワ、折れ、破れ、端が波打っている用紙
- ・カール(反り)のある用紙
- ・パンチ穴や裁断面にバリがある用紙
- ・湿気を吸っている用紙
- ・乾燥して静電気が発生している用紙
- ・一度印刷した用紙や他の機種(モノクロ・カラー複写機、インクジェットプリンタなど)で印刷 されたものは、定着温度の違いにより定着ユニットに影響を与えることがあります。印字されて いない面への印刷もお控えください。
- ・表面が加工された用紙(指定用紙を除く)
- ・厚さが規定以外の用紙(極端に厚い・薄い用紙)
- ・ミシン目などの加工がされている用紙
- ・ステープラー・クリップなどを付けたままの用紙

◆ 補足

- ・プリンタに適切な用紙でも、保存状態が悪い場合は、用紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因になる場合があります。
- ・パンチ穴などの穴が開いている用紙を使用すると、用紙づまりや用紙サイズを正しく検知しない 場合があります。

6.5 帳票設計上の注意

6.5.1 注意事項

(1) フォームオーバレイで網かけパターンを使用する場合

文字の上に網かけパターンを被せる場合に、網かけの濃さにより文字が見えにくくなることがあり ますので注意してください。事前にテスト印刷を行い、印刷結果を確認してください。

縮小印刷(75%印刷時)を行う場合は、薄めの網かけパターンを使用するなどの対応をお願いします。

(2) バーコード印刷を使用する場合

濃度設定は「標準」で印刷をして読み取り確認を行い、読み取れなかった場合は、濃度を調整して 印刷してください。

本装置で印刷するバーコードのバー幅は6ドット(600dpi時)、12ドット(1200dpi時)以上の幅で作成してください。それより小さいバー幅のバーコードも印刷可能ですが、読み取り率が非常に低くなるため推奨できません。

それでも、6ドット(600dpi時)、12ドット(1200dpi時)未満のバー幅でご使用される場合は、十分 な読み取り確認の上、お客様の責任においてご使用願います。

6.5.2 印刷領域

本装置で印刷できる領域を図6.1に示します。 各用紙サイズにおいて共通です。



印刷精度					
	精度				
上端余白	5±1.5mm (用紙幅センターにおいて、片面時)				
左端余白	$5 \pm 2.0 mm$				

第7章 消耗品

本章では、消耗品およびその取扱いと保管について説明します。

7.1 消耗品

本装置の消耗品を表7.1に示します。消耗品は、富士通コワーコ㈱のサプライ用品をご使用ください。

	2	
商品名	商品番号	備考
プリントユニット LB501 ※1	0898110	約15,000ページ印刷可能 ※2,3,4,5
		(A4用紙で有効画像面積比率が5%以下で印刷
		したとき)
		ご使用条件で印刷枚数が変わります。
環境共生トナー LB501F ※1	0898114	約15,000ページ印刷可能 ※2,3,4,6
		(A4用紙で有効画像面積比率が5%以下で印刷
		したとき)
		ご使用条件で印刷枚数が変わります。(※2)
LB501 給紙カセット1 (500枚)	0898310	上段用 ※7
LB501 給紙カセット2 (500枚)	0898320	中・下段用 ※8

表 7.1 消耗品

※1 プリントユニット(LB501)と環境共生トナー(LB501F)は、どちらか一方を選択してご使用ください。 ※2 ISO/IEC19752(印字可能枚数の測定方法)準拠, A4横。

※3 表記の消耗品の印刷可能枚数(寿命)は、連続印刷時の枚数です。間欠印刷の頻度が高い場合は 寿命が短くなります。例えば、1枚間欠印刷(1ページごとに印刷が停止)する場合は、寿命が約 半分となる場合もあります。早めに交換用消耗品の準備をしてください。

- ※4 ニアライフ検出後は、印字率の高い印刷は濃度が低下する可能性があります。この場合は共通設 定の濃度設定にて濃度の補正を行ってください。
- ※5 出荷時に添付されているプリントユニットの寿命の目安は、上記と同じ条件にて約3,000ページです。
- ※6 環境共生トナー(LB501F)は、プリントユニットのご返却を前提とした商品であり、プリントユニ ットは富士通コワーコ株式会社の所有物です。
- ※7 上段用のカセットは、中段・下段には利用できません。
- ※8 中段・下段用のカセットは、上段には利用できません。

■非純正品使用時の注意

富士通プリンタは、純正の消耗品をご使用時に最高の性能や品質が得られるように設計されています。

純正品以外の消耗品をご使用になりますと、プリンタの故障の原因になったり、印刷品質が低下するな ど、本来の性能が発揮できない場合があります。

純正品以外の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内 であっても有償となりますので、ご留意ください。

純正品以外のプリントユニットは、構造上本装置に入らないようになっている場合があります。この場 合、無理に押し込んだり、カバーを閉めたりしないでください。 第7章 消耗品

第8章 設置諸元

本章では、本装置の設置仕様および設置・保守スペースについて説明します。

8.1 設置仕様

本装置の設置仕様を表8.1に示します。

項		目			値		備考
				幅	奥行き	高さ	可動突起を除く
外形寸法	t	票準構	成	478	525	534	カセット延長時は、奥行きが
LIIIII)	フル	オプシ	/ョン	478	525	664	575mmとなります。
質量	[kg]			標準構成(オ フルオプショ	×体):約34.2 コン:約40.2	kg kg	
	齨		圧		$AC100V\pm1$	0%	
入力電源	相		数		単相		
	周	波	数		50/60 Hz =	±3 Hz	
所要	電流	[A]			9A		
消費	電力	[W]		本体のみ フルオプショ 省エネモート	:880W 」 コン時:880W 」 ド時 : 8W 」	以下(0.95kVA) 以下(0.95kVA) 以下(8.5 kVA)	
発熱量 [MJ/H]		プリンタ本体 フルオプショ 省エネモート	k :約3.2 M aン:約3.2 M ぶ時:約0.029	J/H以下 J/H以下 MJ/H以下			
	TEC 値	ĺ			2.86kWh		
省球法に基づ	づく	区分	名		С		
エネルギー消費効	j率	印刷	速度		モノクロ:35	文/分	
(2017年度基	準) 年	間消費	費電力量		164kWh/年	-	
田田垣卒		温度	ł		10~32 °C	2	
向囲環境 許容範囲		湿度	ž		15~80% R	ЧH	図 8.1 温湿度条件参照
	最高	高湿球	温度		27 °C		
機器発生粉塵濃度 [mg/h]			4.0 mg/h 以	「下			
豚 立		動	作中	プリンタ本体	\$:71 以7		
间面 [dB(A)]		休	止中	プリンタ本体	\$:40 以7		A特性音響パワーレベル
		動	作中	フルオプショ	ョン :71 以下	·	
コンセント形式		3 ピン形状(³ ケーブルの長	平行 2 ピン ア [、] 長さ : 2m	ース付き)	脱着式		
アースの種類		D種接地工事	록(旧第3種接♯	也工事)			

表 8.1 設置仕様

※1:用紙搬送が可能な、温湿度条件範囲(手差しは除く)

※2:標準紙で信頼性、搬送性、画質を規定/保証する 温湿度条件範囲

標準温湿度	:	23°C	50%RH
最大温湿度	:	$27^{\circ}\!\mathrm{C}$	80%RH
温度	:	$10 \sim 3$	2°C
湿度	:	$15 \sim 8$	0%RH



8.2 外形寸法と保守スペース

本装置の外形寸法を図8.2、本体設置スペースを図8.3、保守スペースを図8.4に示します。 正常な接続と操作を行うために、下図のとおり装置の周囲には十分なスペースが必要です。







図 8.3 本体設置スペース〔単位:mm〕

保守を行うために、下図のとおりプリンタの周囲に十分なスペースが必要です。



図 8.4 保守スペース〔単位:mm〕

第8章 設置諸元

第9章 使用上の注意

本装置を使用するときは、次の点に注意してください。

9.1 使用上の注意

本装置は、精密な部品でできています。次の注意事項をよく読んで使用してください。

- (1) 装置
 - ・装置の上に物を乗せないでください。
 - ・装置上部の排出口をふさがないでください。



(2) 電源プラグ

▲ 警告		 ●電源プラグは、ぬれた手で持たないでください。また、電源プラグの 抜き差しは、装置の主電源スイッチを切断してから行ってください。 感電や火災のおそれがあります。 ●電源コンセントのアースは、必ず接地してください。 感電のおそれがあります。
------	--	--

(3) 内部

		●装置を使用中は、機構部が熱くなります。 主電源スイッチを切断した後、常温に戻るまで触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	Ø	●電極やコネクタの端子を手で触れないでください。 感電や静電気のため装置が破損する可能性があります。

▲ 注意	●規定外の入力電圧や周囲温度が継続した場合は電源内部の回路部品が 破損する過程で発煙、異臭、破裂音などの可能性があります。
	●電源内部には高電圧部や高温部があり、通電状態や切断直後には触れないでください。
	●電源内部に紙、プラスチックなどの可燃物やネジ、クリップなどの導電物を入れないでください。 感電や火災のおそれがあります。

- (4) 緊急時の装置停止手段
 - 本装置に異常が起きたら(異常な発熱、異常音など)、すぐに主電源スイッチをオフにし、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- (5) 印刷中
 - 印刷中は、電源を切断したり、電源ケーブルを抜かないでください。
 - 印刷中にはカバー類を開けたり、本体を移動したりしないでください。
 - 印刷中は給紙カセットを引き出さないでください。印刷が停止し、用紙がつまります。
 - 印刷中に本体の上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。
- (6) 清掃をするとき
 - ・ 電源を切断してから、清掃を行ってください。
 - ・ 清掃には、ベンジンやシンナーなどの揮発性のものを使用しないでください。
 - カバー類の汚れは、やわらかい布に水または薄めた中性洗剤を少し含ませて、軽く拭いてください。
- (7) 長期間使用しないとき
 - ・長期間(1週間以上)使用しないときは、用紙カセット内の用紙を取り出してください。
 - 用紙は湿度変動の少ない場所に保管してください。
 - ・電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。
- (8) その他
 - ネジなどで固定されているカバー類は、絶対に開けないでください。
 - ・装置を改造したり、部品を変えたりして使用しないでください。
 - 装置の近くで可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。
 - クリップなどの異物が本体の中に入らないようにしてください。

(9) 設置環境

- ・風通しが良く、水平で安定したところに置いてください。
 いつも良い条件で使用できる環境範囲は、次のとおりです。
 - 以下の図で示す範囲に収まる場所に設置してご使用ください。
 - -温度:10℃~32℃
 - -湿度:15%~80%
 - -最大湿温度:27℃ 80%RH
 - -標準湿温度:23℃ 50%RH
- 次のようなところには置かないでください。
 - 直射日光の当たるところ
 - 発熱器具 (ストーブやヒーターなど) の近く、油煙や湯気、蒸気が当たるところ
 - ーほこりっぽいところ
 - -温度が急激に変化するところ
 - クーラーや暖房器、換気口などからの風が直接当たるところ
 - -揮発性可燃物やカーテンに近いところ
- ・寒いところから暖かいところに移動させたり、温度変化の激しい場所に設置すると、機械内部に結 露が生じることがあります。結露が生じた場合は、1時間以上放置して環境になじませてからご使 用ください。
- ・本体内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立てかけたりして排気ロや 給気口をふさがないようにしてください。

- (10) 電源
 - ・機械は、電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、電源コンセントに確実に接続してください。(電源コードの長さは、2m)
 - ・電源の接続は、AC100V、15A 以上のものに接続してください。またできるだけ他の機器とは、ブレ ーカーが独立している電源に接続してください。
 - ・ 延長コードが必要な場合は、規格が 125V、15A以上、長さ5m 以下のものを使用してください。
 - タコ足配線は、絶対にしないでください。
 - ・電源ケーブルの踏みつけ、機械による押付けは、事故の原因となるため、設置時は十分に注意してください。また、電源ケーブルを足で引っかけたり、踏みつけたりしないように配線してください。
 - 他の電気製品(特にエアコンディショナーや複写機、シュレッダなど)と同じ電源コンセントを使用しないでください。(電気的ノイズや電圧変動により装置が誤作動します)
 - パソコンなどのサービスコンセントに、本装置の電源ケーブルを接続しないでください。
- (11) ラベル/刻印等

本装置は、他機種との共通部品を用いていることに伴い、実際の装置仕様と異なるラベルや刻印があります。

・ 給紙カセット(カセット1、2、3)の内側奥面のラベル(2種)の記載内容は、本装置の仕様と異なりま す。

本装置の給紙カセットで使用できる用紙の坪量は64~105g/mであり、厚紙は使用できません。

また、給紙カセットで使用できる用紙サイズはA4, B5, A5, レター, A3, B4です。(A4, B5, A5, レターは横送りのみ、A3, B4は縦送りのみ)

・ 給紙カセット(カセット1、2、3)底面の用紙サイズの刻印は、本装置の仕様と異なる箇所があります。

本装置の給紙カセットで使用できる用紙サイズはA4, B5, A5, レター, A3, B4です。(A4, B5, A5, レターは 横送りのみ、A3, B4は縦送りのみ)

 ・ 給紙カセット(カセット1、2、3)底面のレバー(2箇所)は使用できません。「2章 2.2 用紙をセット する(1)給紙カセットに用紙をセットする」の手順に従って、両方のレバーを手前側になるようセ ットしてください。

誤ってセットした場合、用紙づまり、重送、斜め送りの原因となります。

 ・ 定着器手前に貼付されている定着圧レバーの位置を示すラベル(緑色のラベル)は、本装置の仕様と は異なります。

本装置ではレバーは上側にセットしてください。

9.2 廃棄

本装置は、精密な部品でできています。次の注意事項をよく読んで使用してください。

(1) 装置の廃棄

本装置を廃棄するときは、保守員または営業に相談してください。

(2) 消耗品

・本装置の消耗品を廃棄するときは、富士通コワーコ 「エコ受付センター」にご連絡ください。
 なお、お客様で処理される場合は、関係する法令、条例に従ってください。
 (富士通コワーコの連絡先は、第4章参照)

9.3 受信障害

ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキ、ゆがみなど、本装置が原因と思われる電波障害が発生したと きは、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。

電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・ラジオやテレビの距離を離してみる。
- ・ラジオやテレビの位置や向きを変えてみる。
- ・ラジオやテレビの電源を別系統に接続してみる。
- ・アンテナ線を同軸ケーブルに取り替えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ配線の配置を換えてみる。

9.4 移動、移設

装置を移動、移設させるときは、保守員にご依頼ください。 担当保守員以外で移動、移設される場合は、プリントユニットを装置から取り出してください。 (取り出したプリントユニットは、梱包箱などに入れて、光に当てないでください) なお、本装置を移動、移設する場合は、必ず2人以上で運んでください。

第10章 清掃

本体の清掃について説明します。

10.1 清掃するときの注意

本体を清掃するときの注意事項です。

 ▲ 警告
 ・本書で指定している部分以外のカバーやネジは外さないでください。機 械内部には電圧の高い部分やレーザ光源があり、感電や失明の原因にな ります。機械内部の点検・調整・修理は保守員に依頼してください。
 ・この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、 レーザ放射により失明のおそれがあります。
 ・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってあ る周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

▲ 注意



・電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグ差込み部を清 掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

■ 重要

- ・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。
- ・ベンジンやシンナー,アルコールなどの揮発性の薬品や洗浄剤は使用しないでください。変形、変色、 ひび割れの原因となります。
- ・本体の内部にほこりや汚れがあるときは、乾いた清潔な布で拭いてください。
- ・本装置を良好な状態に保ち、きれいに印刷するために、定期的に清掃してください。まず、やわらかい布で空拭きします。空拭きで汚れが取れないときは、やわらかい布を水でぬらし、固く絞ってから拭いてください。水でも取れない汚れは、中性洗剤を使って拭き、水拭きして、その後空拭きし、水気を十分に取ります。

10.2 フリクションパッドを清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときなど、紙粉が多く出てフリクションパッドが汚れると、用紙が多重 送りされたり、つまったりする原因になります。その場合、フリクションパッドを清掃します。

■ 重要

- ・アルコールや洗浄剤などは使わないでください。
- ・用紙をセットした給紙カセットをプリンタにセットするときは、ゆっくりと入れてください。カ セットを勢いよく入れると、カセットの用紙ガイドがずれることがあります。

◆ 補足

- ・フリクションパッドを清掃しても用紙が多重送りされたり、つまったりする場合は、「第5章 5.2.2 給紙がうまくいかないとき」を参照してください。
- ・フリクションパッドの清掃は、各カセットについて実施してください。
- ・カセット3(オプション)を取り付けているときは、本体のカセットと同じようにカセット3のフ リクションパッドも清掃してください。
- 給紙カセットを止まるまで引き出し、前面をもちあげるようにして引き抜きます。用紙が入っている ときは取り出します。



2 水でぬらして固く絞った布で、フリクションパッドを拭きます。



3 用紙をセットしてから、給紙カセットを本体にゆっくりとセットします。



10.3 給紙コロを清掃する

カセット1~2、カセット3(オプション)の給紙コロの清掃手順について説明します。 標準紙以外の用紙を使用したときなど、紙粉が多く出て給紙コロが汚れると、用紙が送られなかった り、つまったりする原因になります。その場合、給紙コロを清掃します。

■ 重要

- ・ぐらついた台の上や、傾いたところなど不安定な場所で作業しないでください。
- ・アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。
- ・用紙をセットした給紙カセットをプリンタにセットするときは、ゆっくりと入れてください。カ セットを勢いよく入れると、カセットの用紙ガイドがずれることがあります。

◆ 補足

- ・給紙コロを清掃しても用紙が多重送りされたり、つまったりする場合は、「第5章 5.2.2 給紙が うまくいかないとき」を参照してください。
- ・給紙コロの清掃は、各カセットについて実施してください。
- ・カセット3(オプション)を取り付けているときは、本体のカセットと同じようにカセット3の給 紙コロも清掃してください。

1 本装置の電源を切る。

2 カセットを止まるまで引き出し、前面を持ち上げるようにして引き抜きます。



3 給紙コロ固定レバー(緑色)を左側にスライドさせて(1)、給紙コロを取り外します(2)。水でぬらして固く絞った布で、給紙コロのゴムの部分を拭きます。



4 給紙コロ固定レバー(緑色)を左側にスライドさせた状態で(1)、給紙コロをくぼみに入れ(2)、 レバーを戻します(3)。



◆ 補足

- ・緑色の給紙コロ固定レバーの先が、給紙コロの突起部分を完全に覆っていることを確認してください。覆っていない場合は、給紙コロを回しながらレバーを軽く戻し、再度固定し直してください。
- 5 カセットを本体にゆっくりとセットします。



6 本体の電源を入れます。

10.4 レジストローラー周辺を清掃する

推奨用紙以外の用紙を使用したときなど、多くの紙粉が出てレジストローラーの周辺が汚れることが あります。この状態で印刷を行うと、部分的にかすれたり、白ヌケが起きたりします。 また、用紙に汚れが出る場合は、レジストローラー周辺およびペーパーガイドにトナーが付着してい るおそれがあります。

このような場合は、レジストローラー周辺およびペーパーガイドを清掃してください。 なお、安全に作業いただくために、また、きれいに印刷を行うために、毎日の始業前(電源投入前) に清掃いただくことをお薦めいたします。

▲ 警告



本作業を行うときは、必ず本体の電源を切ってから十分に時間を空け、 装置内部(定着ユニット)が冷めた状態で作業してください。やけどの 原因になります。



・アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。

1 本装置の電源を切る。



本作業を行うときは、必ず本体の電源を切ってから十分に時間を空け、装置内部 (定着ユニット)が冷えた状態で作業してください。やけどの原因になります。

2 両面ユニット側面のレバーを押し下げ(1)、両面ユニットを止まる位置まで引き出します(2)。



▲ 注意

電源ケーブルが抜けないように注意して引き出してください。

3 両面ユニット底板のレバーを押して(1)、両面ユニットを本体から引き抜きます(2)。



4 定着ユニット固定レバーを上げてロックを解除します。



5 定着ユニットを取り出します。



```
▲ 注意
```

- ・定着ユニットは高温になります。定着ユニットを取り外す際は、定着ユニットが常温になってから 行ってください。やけどの原因になります。
- ・定着ユニットを取り外す際は定着圧レバーが切り替わらないように注意してください。 (定着圧レバーは上げた状態でご使用ください。)
- 6 前カバーオープンボタンを押して前カバーを開けます。





手差しトレイに用紙をセットしているときは、一度用紙を取り除いてください。(落下します)

7 プリントユニットの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。



▲ 注意

- ・プリントユニットを置くときは、机などの平らで突起物などのない場所を選んでください。
- ・プリントユニットは、斜めに立て掛けたり逆さまにしないでください。
- 8 金属製のレジストローラー周辺およびその奥にあるペーパーガイド全面を、水でぬらし固く絞った布で拭きます。



■ 重要

- ・本作業を行うときは、必ず本体の電源を切ってから十分に時間を空け、装置内部(定着ユニット) が冷えた状態で作業してください。やけどの原因になります。
- ・転写ローラーには触れないでください。
- 9 プリントユニットの取っ手を持ち、プリンタ内部に押し込みます。



▲ 重要
 ・前カバーのコネクタに当たらないよう注意してください。

10 奥に突き当たったところで、プリントユニットを押し下げます。



11 前カバーを閉めます。



■ 重要

プリントユニットは傾けずに奥まで正しくセットしてください。正しくセットされていないと、前 カバーが閉まりません。そのときは無理に閉めずにプリントユニットを一度取り出し、セットし直 してください。

12 定着ユニットをプリンタ内部にセットします。



▲ 注意

定着ユニットを取り付ける際は、定着圧レバーが切り替わらないように注意してください。(定着圧 レバーは上げた状態でご使用ください。) 13 定着ユニット固定レバーをカチッと音がするまで押し下げます。



▲ 注意

レバーが固い場合は定着ユニットが正しくセットされていない可能性があります。一度取り外して 再度取り付けてください。

14 電源ケーブルを両面ユニット側面の溝に沿わせて両面ユニットを本体背面のレールに差し込みます。



15 両面ユニットをゆっくり本体に押し込みます。



▲ 注意

- ・カチッと音がするまでしっかり押し込んでください。
- ・左側の電源ケーブルがかみ込まないように注意して押し込んでください。

16 本体の電源を入れます。

第10章 清 掃

付録1 メッセージー覧

付1.1 通常動作

メッセージ	内容	操作
$\begin{array}{ccc} \text{INITIALIZING} \\ \rightarrow & \rightarrow & \rightarrow & \rightarrow & \rightarrow \end{array}$	IPL時、装置初期化中。	初期化終了後、スタート画面へ。
スタート 123	動作可能状態(共通画面) *****:装置寿命または消耗品ライフが	操作不要
	先生時メッセーン表示する	フカ、し、フレップナ、畑下ボフカ
	ストッノ回国 (共通回国)	ート画面へ遷移する
78-66XX	66XX72~~ b 画 面	揭 作不更
		JKIPTY
ストップ 66XX 又	66XXストップ画面	スタート・ストップキー押下でスタ ート画面へ遷移する
スタート 69XX []	69XXスタート画面	操作不要
ストップ 69XX 又	69XXストップ画面	スタート・ストップキー押下でスタ ート画面へ遷移する
オンライン 400F 左 75% ① 縦余白 1-A4	FMスタート画面	操作不要
オフライン 400F 左 75% 🔀 縦余白 1-A4	FMオフライン画面	スタート・ストップキー押下でスタ ート画面へ遷移する
オンライン 600 左 66% ① 縦 1-A4	FNPスタート画面	操作不要
オフライン 600 左 66% 区 縦 1-A4	FNPオフライン画面	スタート・ストップキー押下でスタ ート画面へ遷移する
オンライン 400F 左 75% ☑ 上位装置電源断	上位装置との接続が不可能である	上位装置との接続が確立するとエラ- 表示消去。
電源を切断できます 電源スイッチを オフして下さい	主電源スイッチをオフできる状態	
電源断準備中 メカ情報 退避中	メカ情報を退避中	
電源断準備中	電源断準備中	

(続く)

(続き)

メッセージ	内容	操作
電源断準備中 文字キャッシュ情報 退避中	文字キャッシュ情報を退避中	
電源断準備中 メカ シャットダウン 処理中	メカシャットダウン中	
用紙排出中	用紙排出動作中	
割込による中断 排出中	割込みSW操作後、受信分のデータ排出中	
割込印刷 印刷しますか? Y/N	割込みSW操作後、データ排出完了時の確認 表示	
用紙づまり履歴 なし	用紙づまり履歴表示機能で用紙づまり履歴 がない状態の表示	
用紙づまり履歴 1. E R 9 1 – 1 8	用紙づまり履歴表示機能で用紙づまり履歴 が1つだけの状態の表示	
用紙づまり履歴 1. E R 9 1 – X X 2. E R 9 1 – X X	用紙づまり履歴表示機能で用紙づまり履歴 が2つ以上の状態の表示	
リクエスタ未接続モード	リクエスタ未接続モード立ち上げ中表示	
	6680-NMC未接続モード立ち上げ中表示	

付1.2 共通ストップ画面

メッセージ	内容	操作
ストップ メメメ	ストップ画面(共通画面)	スタート・ストップキー押下でスタ
		ート画面へ遷移する
カセット ショウモウヒン ネットワーク		
カセット1 LT 用紙なし	カセット用紙補給表示画面	リセット:ストップ画面へ戻る
カセット2 B4 用紙 10%		
カセット3 未セット		
プリントユニット	消耗品情報表示画面	リセット:ストップ画面へ戻る
残量 30%		
正期父換部品キット 消耗素 XX%		
有効プロトコル	ネットワーク設定情報画面	リセット:ストップ画面へ戻る
IPv4	(IPv4設定時)	
IPv4-IPプトッレス		
NNN : NNN : NNN : NNN		
	-	
$1Pv4 - \overline{\lambda}v + \overline{\lambda}z$		
INININ • INININ • INININ		
$IPv4-\overline{r}$ 7+ μ	•	
NNN : NNN : NNN		
有効プロトコル	ネットワーク設定情報画面	リセット:ストップ画面へ戻る
IPv6	(IPv6設定時)	
	-	
IPv6-IP(リンクローカル)		
XXXX : XXXX : XXXX : XXXX		
$IPv6-IP(\eta^* \mu - n^* \mu)$		
XXXX:XXXX:XXXX:XXXX		
XXXX:XXXX:XXXX		
IPv6ーケ゛ートウェイアト゛レス		
XXXX:XXXX:XXXX:XXXX		
XXXX:XXXX:XXXX:XXXX		
有効ブロトコル	ネットワーク設定情報画面 (ID:4/ID:43:空時)	リセット:ストップ画面へ戻る
1 F V 4 / 1 F V 0	(111/4/11/0页)(上时)	
TPv4-TPプトンレス	-	
NNN : NNN : NNN : NNN		
IPv4-ネットマスク		
NNN : NNN : NNN : NNN		
	4	
$1Pv4-\overline{\tau}$, $7\pi h h h - g$		
TUTUEN + TUTUEN + TUTUEN + TUTUEN		
	1	
XXXX:XXXX:XXXX:XXXX		
XXXX:XXXX:XXXX	1	
$IPv6-IP(p^*p-n^*)$		
XXXX:XXXX:XXXX:XXXX		
	4	
1Pv6-ケートウェイアトンレス vvvv・vvvv・vvvv		
XXXX : XXXX : XXXX : XXXX		

付1.3 異常メッセージ(消耗品)

メッセージ	内容	操作
スタート	プリントユニット 交換準備	
プリントユニット準備		
プリントユニット寿命 (トナーエンプティ) プリントユニット交換	プリントユニット寿命 (トナー要因)	
プリントユニット寿命 (廃トナーフル) プリントユニット交換	プリントユニット寿命 (廃トナー要因)	
スタート 定期交換部品キット準備	定期交換部品キット 交換準備	
スタート 定期交換部品キット交換	定期交換部品キット 寿命	
スタート	装置寿命	

付1.4 異常メッセージ (受信データ 66XX/69XX)

メッセージ	内容	操作
スタート ****	データエラー発生 (オペチェックエラー)	リセット:データエラー表示消去
データエラー=XX		
	XX:異常コード(66XX) 10:水平スキップオーハ、 11:MPP・LM指定エラー 12:SAオーダエラー 13:SLDオーダエラー 14:オーダインバリッド 15:用紙指定ミス 16:文字バッファフル 17:フォームズオーバレイパタ 1A:フォームズオーバレイパタ 1A:フォームズオーバレイパタ 1A:フォームズオーバレイパタ 1A:フォームズオーバレイパタ 1A:フォームズオーバレイパタ 1A:フォームズオーバレイパタ 1C:フォームズオーバレイコと 1D:印刷モード指定ミス/MPL 1E:フォームズオーバレイリロ 1F:フォームズオーバレイサイ 20:未サポートコマンド 21:DTPシーケンスエラー 23:コマンドシーケンスエラー 23:コマンドシーケンスエラー 24:原点位置指定エラー 25:文字セットIDエラー 26:文字コード未定義 29:グラフ出力機構なし(拡張 2A:文字パターンローディンク (10分以内に転送されな 2B:OVLパターンローディング (10分以内に転送されな 34:イメージデータエラー 39:イメージ出力機構なし(拡	 ファフル マンなし タエラー ペーシーケンスエラー ・TM指定エラー)エラー (ズエラー - 出力機構未実装) (ダイムアウト かった) (グタイムアウト かった) 張出力機構未実装)
スタート **** データエラー=XX	XX:異常コード(69XX) 2A:文字パターンローディングタイムアウト (10分以内に転送されなかった) 2B:OVLパターンローディングタイムアウト (10分以内に転送されなかった) 3D:SNDCG未受信状態でデータを受信した。 30,33~35,37,38 :キャラクタに関する異常コード 3A,3B 40,44~4F,51 :グラフィックに関する異常コード 60,64~6E :イメージに関する異常コード 84~8F,91 :フォームオーハ ⁵ レイに関する異常コード A2,A3,A8~AE,E1 :新ブ [*] リントブウトコントロールに関する異常コート ⁵ B2,B3 :フォームコントロールデ [*] -ウに関する異常コート ⁵ C2~C4	

(続く)

(続き)

メッセージ	内容	操作
スタート **** 1	上位装置との接続が不可能である。 **** : 66XX/69XX	上位装置との接続が確立するとエラ- 表示消去。
上位装置電源断		
スタート 69XX ① SNDCG 未受信	SNDCG未受信 (69XXエミュレーション)	装置にSNDCGを行う。
スタート 69XX ① SNDCG 受信中	SNDCG受信中 (69XXエミュレーション)	SNDCG実行中
スタート 69XX SNDCG完了 電源再投入	SNDCG受信終了 (69XXエミュレーション)	電源再投入により受信済みCGが利 用可能となる。
ストップ **** 区 印刷データあり	未印刷データを保持中である。 **** : 66XX/69XX	

付1.5 異常メッセージ (オペレータコール)

メッセージ	内容	操作
カヤット*を	カヤットオーフ゜ン	指定カヤットを閉める
確認して下さい	*: htv)番号	北京の「世界」の「
	ст. ж. ж. на с	
用紙がありません	カヤット用紙なし	用紙補給
カセット*=##	*:加小番号	リセット:装置復旧
	##:用紙サイズ	
用紙がありません	手差しトレイ用紙なし	用紙補給
手差しトレイ=##	##:用紙サイズ	リセット:装置復旧
排紙トレイフル	排紙トレイが満杯	用紙を取り除く
紙を取り除いて下さい		リセット:装置復旧
スタート 123	プリントユニットのニアライフ発	
	生	
プリントユニット準備		
スタート 123	装置寿命	
000		
装置寿命		
スタート	定期交換部品のニアライフ発生	定期交換部品キット(定着器、転
		写ローラー、給紙コロ)交換(C
定期交換部品キット準備		E交換)
スタート 123	定期交換部品劣化発生	定期交換部品キット(定着器、転
		写ローラー、給紙コロ)交換(C
定期交換部品キット交換		E交換)
プリントユニット寿命	トナーなし	プリントユニット交換
(トナーエンプティ)		
プリントユニット交換		
プリントユニット寿命	感光体回転時間のライフ発生	プリントユニット交換
(廃トナーフル)		
プリントユニット交換		
カバーオープン	本体前カバーオープン	本体前カバーを閉める
カバーを閉じて下さい		リセット:装置復旧
间刀八一		
カバーオーブン	本体排紙ロカバーオープン	本体排紙ロカバーを閉める
カバーを閉じて下さい		リセット:装置復旧
カバーオーフン	本体両面ユニットカバーオーワン	本体回面ユニットカバーを閉める
カハーを闭して下さい		リセット:装直復旧
	ウギュー レーインク ロック用学	合業マールしたより
上有ユーツト唯認	正有ユニットインターロック 異吊	正有ユニットをセット
た イーン ト 小 思 と 確認して下さい		シェンド・衣匣後旧
プリントコーットなし	プリントコニットインターロック	プリントファットをセット
プリントユニットを	エンシューーショインショムソン	リヤット・装置復旧
セットして下さい	7 11	/ - / I · & E & H
、 こ、 こ、、、、、、	両面ユニットインターロック異党	両面ユニットをヤット
両面ユニットを		リセット:装置復旧
セットして下さい		

(続く)

メッセージ	内容		操	作
用紙づまり 9X-YY	9X:90は残紙の用紙づまり	を示す。91は通常	常の用紙づまりをえ	示す。
* * * * * * * * * *	YY:用紙づまり詳細コード	* * * * * * *	**:メッセージ	(□):場所
(□)				
	・残紙用紙づまり			
	01:カセット2	(Y1)		
	02:カセット3	(Y2)		
	03: カセット1-本体転写	(A)		
	04:本体定着	(B)		
	05:本体排紙	(B)		
	06:両面ユニット入口	(Z)		
	07:両面ユニット内部	(Z)		
	08:両面ユニット出口	(Z)		
	・通常用紙づまり			
	11:カセット2出口	(Y1)		
	12:カセット3出口	(Y2)		
	13:手差しトレイ-本体転写	(A)		
	14: カセット1-本体転写	(A)		
	16: カセット2-本体転写	(A)※カセッ	ット2から印刷し~	ているとき
	カセット2,3-本体転写	(A) ※カセッ	ット3から印刷し~	ているとき
	17:両面ユニットー本体転写	(A)		
	18:本体転写	(A)		
	19:本体定着	(B)		
	20:本体排紙	(B)		
	21:用紙サイズ不一致	(A)		
	22:用紙サイズ不一致	(A)		
	31:本体定着一両面入口	(Z)		
	32:両面入口	(Z)		
	33:両面入口一両面内部	(Z)		
	34: 両面内部	(Z)		
	35:両面内部一両面出口	(Z)		
	36:両面出口	(Z)		

付1.6 異常メッセージ (メカエラー CEコール)

メッセージ	内容	操作
6 X-YY CEコール ********* *******	メカサービスコール YY:SV-callコード (\$00~FF)	電源再投入 復旧しない場合、または頻発する場 合は保守員に連絡
	6 X 6 0 : モータ系 6 3 : 定着系 6 5 : 通信系 ******************* ****************	*部表示 *示は1行のみの場合もある)
	[モータ系] 60-01 :メインモータ異常 [帯電系] 62-41 :帯電エラー 62-42 :現像エラー	 [光学系] 64-61:ポリゴンモータ異常 64-62:第1ビーム 同期検知エラー 64-63:第2ビーム 同期検知エラー 64-64:FGATEエラー 64-65:LDエラー※ ※本エラーが 発生しますと装置 は停止しますが、 発生前後の出力結 果が異常画像となっている場合があ りますので印刷物 を確認してください。
	[定着系] 63-51 :定着ファン異常 63-52 :電源ファン異常 63-53 :サーミスタ異常 63-54 :定着低温異常 63-55 :定着高温検知異常 63-56 :定着高温検知異常 63-57 :ヒータ連続点灯 63-58 :ゼロクロス周波数 検知異常 63-59 :定着用紙づまり 連続3回検知	 [通信系] 65-91 :メカボード通信エラー 65-92 :給紙ユニット 通信エラー 65-93 : EEPROM 通信エラー 65-94 :ビデオ転送エラー 65-95 :シリアル通信異常
プリンタ リセット中 しばらくお待ち下さい	メカ系エラーおよびインターロックエラーのリセット中表示。	リセット動作終了後、通常画面へ 復旧不可の場合は再度エラー表示
XX xxxxxxxxxx 用紙確認後 リセット して下さい	各種ハート、異常 42:機構部(メカ)	用紙を取り除く リセット:装置復旧 復旧しない場合、または頻発する場 合は保守員に連絡
XX xxxxxxxxxx CEコール xxxxxxx 担当CEにご連絡下さい	各種^-ト 異常 4X:機構部(メカ) 8X:制御部 CX:INF異常 DX:HD異常	電源冉投入 復旧しない場合、または頻発する場 合は保守員に連絡

付1.7 異常メッセージ(電源投入時/通常動作中)

メッセーシ		探 1F
IPエラー	IPアドレス重複エラー	「電源切断準備キー」により電源切
XXXXXXXX	xx:相手MACアドレス	断後、アドレスの重複を解決し、電源再
***. ***. ***. ***	* : IPアドレス	投入。
		プリンタの設定変更が必要な場合は、一
		旦LAN から切り離して再設定を行う。
MACアドレス	同一ネット上に同じMACアドレスの装置あり	他の装置と重ならないアドレスを設定
設定ミス		する。
再設定して下さい		
INITIALIZING	IPL 時、66XX資源のローディング中。	資源ロード完了後スタート画面へ。
66XX資源ロード中	PrintWalkerPM TCP/IP	
	66XXまたはlpd TCP/IP 66XX設定時	
リクエスタサーバと	リクエスタサーハ、からの資源ローディンク、で異常発生。	セットアップ: 共通セットアップ画面に遷移し、
接続できません		リクエスタサーバのIPアドレスを確認する。
再接続中です		セットアップを行わない場合はリクエスタとの
		接続をポーリング。
本設定後、電源再投入	リクェスタサーハ゛からの資源ローテ゛ィンク゛で異常発生	Yes:環境設定メニュー画面へ。
が必要です	時、セットアップキーを押下。	No :リクエスタサーハ、接続異常画面へ。
設定しますか? Y/N		
プリンタ 準備中	メカのウォームアップ中。	ウォームアップ終了後、印刷再開。
しばらくお待ち下さい		
キー操作は無効です		
データ受信中	データ受信中に電源断キーが押された。	Yes:印刷を継続する。
印刷を継続しますか?		No :電源断処理を行う。
Y/N		

付1.8 異常メッセージ (セットアップ)

メッセージ	内容	操作
印刷データが残ってい ます。全印刷が終了後 再度、設定して下さい	データ受信中にセットアップキーが押された。	リセット:ストップ 画面
拡張出力機構なし 論理プリンタを再設定 しますか? Y/N	拡張出力機構の取り外しによる論理プリンタ 削除を確認。	Yes:下記画面へ。 No :拡張出力機構確認画面へ。
電源切断後、 拡張出力機構を 確認して下さい	拡張出力機構確認画面。	「電源切断準備キー」により電源を 切断し、拡張出力機構を確認。
論理プリンタを 再設定しますか? Y∕N	論理ブリンタ設定の再設定を確認。	Yes:論理プリンタ設定へ。 No :下記画面へ。
選択不可 拡張出力機構なし	 1. 拡張出力機構未搭載時、2つ目の論理プリンタを選択したとき 2. 拡張出力機構未搭載時、「69XX」を 選択したとき 	リセット:選択画面へ。
設定に誤りがあります 再設定して下さい	マジン名設定時、一文字目に空白を入力した ため、設定不可	リセット:選択画面へ戻る
選択不可 設定可能な最大数を オーバしています	論理ブリンタ環境設定のサボートサーバ/エミュレーショ ン選択時、設定可能な最大数を越えている ため、選択不可。	リセット:選択画面へ戻る 他の論理プリンタのサポートサーバ/エミュレー ションの設定を確認。
エラー 使用可能なカセットが ありません	論理プリンタセットアップのカセット設定時、すべての カセットが使用不可となっている。	リセット: 選択画面へ戻る 1つ以上のカセットを設定する。
ポート番号に矛盾が あります 再定義して下さい	異なるサーハ [*] 連携で、同一ボート番号を設定し ているか、同一サーハ [*] 連携で、異なるボート番 号を設定している。 注) BSNPSとPrintWalkerPMは同一サーハ [*] 扱いと する。	リセット: IPL継続 π^* ート番号設定を以下のように変更 \cup IPLを継続する。 FNA+- n^* →00747 1pd →00515 BSNPS →09313 PrintWalkerPM →09313 リクエスタサ- n^* →06670
プリントユニット異常 正しいユニットを セットして下さい	非純正品のプリントユニットがセットされた場合の エラー表示	純正品のプリントエットに交換後、 リセット:共通ストップ画面に戻る
プリントユニットが 品質保証外品です。 使用しますか?Y/N	再充填品のブリントユニットがセットされた場合の エラー表示	Yes:共通ストップ画面に戻る No:プリントユニット異常表示

付録1 メッセージー覧

付録2 PrintWalker/RS_Lightのご紹介

PrintWalker/RS_Light (Remote Service_Light)は、従来のPrintWalker/RS (Remote Service)の機能の一部を 搭載し、より簡易的にVSPシリーズネットワークプリンタの運用管理をリモートで行うソフトウェアです。 本ソフトウェアは次のような特徴があります。

(1) プリンタ状態監視機能

プリンタの一覧画面より、監視対象プリンタ装置の状態(ステータス)の確認ができます。 表示するアイコンの種類で状態を表します。また、プロパティ画面でプリンタごとの詳しい情報(ネッ トワークアドレス、ファームウェア版数等)を確認することができます。



(2)消耗品監視

プリンタの一覧画面より、監視対象プリンタ装置の消耗品の使用状況を確認することが可能です。また、指 定したタイミングでログに記録することができます。

付2.1 装置パネル表示-PrintWalker/RS_Light状態表示 対応表

通常動作

表 し ハ ヤ ル 衣 小	PrintWalker/RS_Light表示
INITIALIZING	
$\rightarrow \rightarrow \rightarrow \rightarrow \rightarrow \rightarrow \rightarrow$	通信不可状態
9 h. 1 [1]0]0]	プリンク始組由
	フリンク核側中
* * * *	
ストップ リ23	プリンタ停止中
カヤット ショウチウトン ネットワーク	
$x \beta - b = 66 X X$	プリンタ稼働中
1	
* * * * *	
ストップ 66XX	プリンタ停止中
ىن * * * * *	
$Z \beta - h = 69 X X$	プリンタ稼働中
* * * * * 7 L y - C O V V	プリンク信止中
	フリンタ停止中
* * * * *	
オンライン 400F	プリンタ稼働中
 ホフライン 400F	プリンタ停止中
左 75% ①	
縦余白 1-A4	
オンライン 600	プリンタ稼働中
E 66% 山 縦 $1-44$	
オフライン 60.0	プリンタ停止中
左 66% Մ	
縦 1-A4	
	フリンダ印刷甲
電源切断準備中	
* * * * * * *	[表示不可]
<u>* * * * * * * *</u> 雪湄を切断できます	
電源スイッチを	[表示不可]
オフして下さい	
割込み印刷メッセージ

VSP4530B装置パネル表示	PrintWalker/RS_Light表示
印刷中 12"3	プリンタ印刷中
スタート ①233	プリンタ稼働中
割込による中断 排出中	プリンタ印刷中
割込印刷 印刷しますか? V / N	プリンタ稼働中

異常メッセージ(消耗品)

VSP4530B装置パネル表示	PrintWalker/RS_Light表示
スタート	プリンタ稼働中
プリントユニット準備	
スタート	プリンタ稼働中
定期交換部品キット準備	
スタート	プリンタ稼働中
定期交換部品キット交換	
スタート	ブリンタ稼働中
装置寿命	
プリントユニット寿命	消耗品(プリントユニット/トナー)
(トナーエンプティ) プリントユニット交換	
プリントユニット寿命	消耗品(プリントユニット/廃トナー)
(廃トナーフル)	
プリントユニット交換	

VSP4530B装置パネル表示	PrintWalker/RS_Light表示
スタート 6*XX	プリンタ稼働中
データエラー=XX	
$X \beta - F = 6 * X X$	プリンタ稼働中
上位装置電源断	
$X \beta - F = 69 X X$	プリンタ稼働中
1	
SNDCG 未受信	
スタート 69X <u>X</u>	プリンタ稼働中
1	
SNDCG 受信中	
スタート 69XX	プリンタ稼働中
SNDCG完了 🛽	
電源再投入	
ストップ ****	プリンタ停止中
Ū.	
印刷データあり	
上位装置電源断 スタート 69XX SNDCG 未受信 スタート 69XX SNDCG 受信中 スタート 69XX 国 SNDCG 宮NDCG 受信中 スタート 69XX 国 第四日 スタート 69XX 国 第四日 京原再投入 **** 印刷データあり 1	プリンタ稼働中 プリンタ稼働中 プリンタ稼働中 プリンタ停止中

異常メッセージ (受信データ 66XX/69XX)

異常メッセージ (オペレータコール)

VSP4530B装置パネル表示	PrintWalker/RS_Light表示
カセット*を	ホッパ異常 (カセット*)
確認して下さい	
田純がなりません	田紙無し (カセット*ーササ田紙)
カセット*ーササ	$\Pi_{\text{ALM}} \cup (\Sigma_{\text{ALM}} \cup \nabla_{\text{ALM}} - \Pi_{\text{ALM}})$
x c y r x - # #	
用紙がありません	用紙無し(手差しトレイ=##用紙)
手差しトレイ=##	
排紙トレイフル	スタッカフル
紙を取り除いて下さい	
カバーオープン	カバーオープン(前カバー)
カバーを閉じて下さい	
前カバー	
カバーオープン	カバーオープン(排紙口カバー)
カバーを閉じて下さい	
排紙ロカバー	
カバーオープン	カバーオープン(両面ユニットカバー)
カバーを閉じて下さい	
定者ユニット催認 ウギュー しいおた	インダーロック異常(定着ユニット)
正有ユニット	
\mathcal{T}	インターロック異党(プリントコーット)
プリントユニットを	
セットして下さい	
両面ユニットなし	インターロック異常(両面ユニット)
両面ユニットを	
セットして下さい	
用紙づまり 90-XX	用紙詰まり(90-XX/****)
* * * *	
(*)	
用紙づまり 91-XX	用紙詰まり(91-XX/****/カセット*=##)
* * * *	# # = 用紙サイス
(*)	
ノリントユニット英常	ノリントユニット共常
エレいユーツトを ヤットして下さい	
$\frac{-c_{1}+c_{1}+c_{2}+c_{2}}{2}$	プリンタ値正由
こう ニーシール 品質保証外です	
使用しますか? Y/N	

VSP4530B装置パネル表示	PrintWalker/RS_Light表示
6 X - X X C E コール	CE-CALL (6X-XX/********)
* * * *	
* * * *	
4 2 **** ****	CE-CALL (42-1X/機構部割込異常) または
用紙確認後、リセット	CE-CALL(42-30/機構部タイムアウト異常)または
して下さい	CE-CALL(42-31/機構部Waitタイムアウト異常)
$4\ 2\ 4000\ 0000\ 0000$	CE-CALL(42-40/メカパワーダウン)
CEコール 0000 0000	
担当CEにご連絡下さい	
4 imes **** ****	[表示不可]
СЕЭ—IV **** ****	
担当CEにご連絡下さい	
8 imes **** ****	[表示不可]
CEコール **** ****	
担当CEにご連絡下さい	
C× **** ****	[表示不可]
СЕЭ—IV **** ****	
担当CEにご連絡下さい	
$\mathrm{D} imes$ **** ****	[表示不可]
CEコール **** ****	
担当CEにご連絡下さい	

異常メッセージ (メカエラー CEコール)

付録2 PrintWalker/RS_Lightのご紹介

付録3 リモート電源制御機能

本装置は、PRIMERGY 6000から電源制御が可能です。

※PrintWalker/RSの電源切断機能には未対応です。

※PRIMERGY 6000からの電源切断を行った場合、本装置の電源は切断されず、電源切断準備キー を押下した場合と同じ状態になります。

※本機能を使用する場合は装置側で設定が必要です。保守員にご確認願います。

プリンタ装置の各状態における、リモート電源制御を実施した場合の動作について説明します。

- オンライン(スタート)及びオフライン(ストップ)状態 電源切断可能状態になります。主電源スイッチにて電源を切断してください。
- ② 印刷中 印刷中の用紙を排出した後に、電源切断可能状態になります。 主電源スイッチにて電源を切断してください。
- ③ PRYMERGY 6000からのSNDCG中 不可
- ④ PRYMERGY 6000からのSNDOVLP中 不可
- ⑤ VSPリクエスタ経由での資源ロード中 資源ロード途中でも、電源切断可能状態になります。 主電源スイッチにて電源を切断してください。 受信途中のデータは破棄されますが、それまでに保存したデータは有効です。
- ⑥ エラー発生時 電源切断可能状態になります。主電源スイッチにて電源を切断してください。 ただし、プリンタ制御部が停止するようなエラーの場合、電源切断されません。
- ⑦ Unix(Solaris)サーバからの66xx(JEF)用CG/0VLパターンロード中 パターンロード途中でも、電源切断可能状態になります。
 受信途中のデータは破棄されますが、それまで正常に受信したパターンについては有効です。
- ⑧ 6680-NMCの論理プリンタが設定されている場合 不可 ただし、装置が「6680-NMC未接続モード」で立ち上がっている場合は電源切断可能状態となりま す。

付録3 リモート電源制御機能

付録4 外字登録(TrueType) ツールのご紹介

外字登録ツールは、Microsoft Windowsシステム(以降、Windows)上で動作し、Windows上で作成した外字フォントファイル(以降、外字ファイル)をVSP4530Bに登録、登録済みの外字ファイルの削除および登録済みの外字ファイルの確認を可能とするソフトウェアです。

※詳しくは、添付のPrintWalker CD-ROM内の外字フォント登録コマンド.txtをご覧ください。 CD-ROM格納場所:¥PRINTMON¥WINX86¥外字フォント登録コマンド.txt もしくは ¥PRINTMON¥WINX64¥外字フォント登録コマンド.txt

※Windows付属の外字エディタで作成された外字フォントを印刷する場合は、プリンタ装置に外 字ファイルを登録する前に、外字変換ツール(PWTTFCNV. EXE)にて外字ファイルの変換処理が必 要となります。変換処理を実施後、外字をプリンタ装置に登録してから印刷を実行してくださ い。

変換処理を行わずにWindows付属の外字エディタで作成された外字を印刷した場合は、ボール ド指定時に外字の線が細く印刷されるなどの不具合が発生することがあります。

なお、InterStage Charset Managerにて作成された外字フォントについては、変換処理は不要です。

また、上記以外の外字エディタによって作成された外字フォントについては、運用前に実際に 使用される文字サイズにて試し印刷を実施いただき、不具合が発生しなければ変換処理は不要 です。

外字変換ツールの使用方法については、添付のPrintWalker CD-ROM内のReadme.txtをご覧くだ さい。

CD-ROM格納場所: ¥PWTTFCNV¥Readme.txt

※外字を400dpi以上でご使用されることを推奨します。 240dpiでは文字によって字形がくずれる場合があります。

付4.1 インストール

 特にインストールの必要はありません。CD-ROMよりそのまま実行可能です。
 必要であれば、実行するOSにあった以下のものをコピーください。
 タキフォント登録コマンド : PRINTMON¥WINX86¥UTILITY¥F5EQTFLD.exe または PRINTMON¥WINX64¥UTILITY¥F5EQTFLD.exe
 情報を定義ファイルの雛型 : PRINTMON¥WINX86¥UTILITY¥f5eqtfld.inf または PRINTMON¥WINX64¥UTILITY¥f5eqtfld.inf

付4.2 動作概要

Windows上の外字エディタで作成した外字フォントファイル(TrueTypeフォント)をプリンタ装置 へ登録するコマンドです。

コマンドパラメタ指定により、登録/登録済みフォントの確認/登録済みフォントの削除が可能 です。

明朝体、ゴシック体フォントをそれぞれ1ファイルの登録が可能です。

付4.3 外字フォントファイルの登録手順

付4.3.1 外字の作成

外字エディタを起動し、文字を作成します。

- Windows XP/Vista/7およびServer 2003/2008の場合
 - [ファイル]メニューより"フォントのリンク"を選びます。
 - フォントのリンク画面で「外字フォントの種類」で"指定したフォントにリンク"を指定 し、「フォントの選択」で"MS明朝"または"MSゴシック"を指定して作成します。

付4.3.2 登録情報定義ファイルの作成

作成した外字フォントの情報および外字フォントを登録するプリンタ装置に関する情報を定義 ファイルとして作成します。

雛型ファイル(f5eqtfld.inf)では";;"により各情報はコメントとして記述してあります。

登録情報定義ファイルは以下のような形式で記述する必要があります。

[section] key=string .

[section] key=string

•

•

sectionには[COMINFO]およびIPアドレス[xxxxxxxxx]が指定可能です。 [COMINFO]セクションは省略可能です。 [COMINF0] セクション

[COMINFO]セクションは登録コマンドの動作指定を定義するもので指定可能なkeyを以下に説明します。

TRCGET=0 or 1 or 2 : 通信トレースログの採取の有無を指定します。

- 0 : 採取しません。
- 1 : トレースサイズに従いサイクリックで採取します(デフォルト)。
- 2 : トレースサイズに関係なく採取します。

f5eqtfld.logおよびf5eqtfld.log.oldのファイル名で採取します。

- TRCSIZE=SIZE : トレースログファイルサイズをKB単位で指定します。
 デフォルトは512KBです。
 サイズには1~4194303(KB)の範囲が指定可能ですが、システム環境に応じて設定してください。
 また、範囲外の値を指定した場合はサイズが不定となりますのでご注意願います。
- TRCDIR=FOLDER : トレースログファイルの格納先フォルダを指定します。
 デフォルト(指定なし)はシステム環境変数"TEMP"で設定されているフォルダです。
 ※Server 2008で任意の格納先フォルダを指定してコマンドを実行する場合、フォルダのアクセス許可で実行ユーザに"変更"を許可してください。
- OUTPUT=0 or 1: コマンド処理結果をファイルに出力する・しないを指定します。デ
フォルトは"1"の出力します。
 - 0 : 出力しない
 - 1 : 出力する

f5eqtfld.outおよびf5eqtfld.out.oldのファイル名で採取します。

- OUTPUTDIR=FOLDER : コマンド処理結果出力ファイルの格納先フォルダを指定します。デ フォルト(指定なし)はシステム環境変数"TEMP"で設定されてい るフォルダです。 ※Server 2008で任意の格納先フォルダを指定してコマンドを実行 する場合、フォルダのアクセス許可で実行ユーザに"変更"を許可 してください。
- OUTPUTSIZE=SIZE : コマンド処理結果出力ファイルサイズをKB単位で指定します。デフ オルトは512KBです。 サイズには1~4194303(KB)の範囲が指定可能ですが、システム環境 に応じて設定してください。 また、範囲外の値を指定した場合はサイズが不定となりますのでご 注意願います。

② [IPアドレス]セクション

[IPアドレス]セクションは外字フォントを登録するプリンタ装置のIPアドレスを記述します。

記述可能なアドレス形式は以下のとおりです。

- ・IPv4形式のIPアドレス(以降、IPv4アドレス)
- ・IPv6形式のIPアドレス(以降、IPv6アドレス)
- ・ホスト名

IPv6アドレスは、プリンタ装置でIPv6アドレスがサポートされている機種のみ有効となります。

Windows XP/Server 2003、または、複数イーサネットアダプタ構成の環境で、プリンタ装置のリンクローカルアドレスを指定する場合は、IPv6アドレスの後にスコープIDを指定する 必要があります。スコープIDはイーサネット アダプタのインタフェースIDです。

以下のコマンドで確認できます。

・netsh interface ipv6 show interface または

• ipconfig

IPv4アドレスの場合、複数論理プリンタに対し、同時に処理を行いたい場合などは、論理 プリンタ番号を":"の後に記述することで可能となります。

IPv6アドレス、または、ホスト名の場合、後述するLOGCALPNUMキーで指定できます。

複数のプリンタ装置に対し、同時に処理を行いたい場合は、[IPアドレス]セクションを複数記述することで可能となります。

例) IPv4アドレスが"10.111.222.333"のプリンタ装置の論理プリンタ1~3に対して処理を 行う場合は

[10.111.222.333:1-3]または[10.111.222.333:1,2,3] と記述することができます。

なお、論理プリンタ番号が指定されていない場合は論理プリンタ1が指定されたとして処理 します。

また、論理プリンタ番号は1~8の範囲で指定可能です。範囲外の値を指定した場合は指定 されていないものとして処理します。

[IPアドレス]セクションで指定可能なkeyを以下に説明します。

HOSTNAME=Y or N	:	[IPアドレス]セクションがホスト名であるか指定します。 Y : ホスト名形式 N : IPv4、またはIPv6アドレス形式(デフォルト)
PORTNUM=NUM	:	プリンタ装置のポート番号を指定します。 デフォルトは9313です。
LOGCALPNUM=NUM2	:	対象となる論理プリンタ番号を半角数字で指定します。 デフォルトは論理プリンタ番号1です。 複数の論理プリンタに対して同時に処理を行う場合は、 "1,2,5"のようにカンマで区切って指定するか、 "1-3"のようにハイフンで範囲を指定します。 [IPアドレス]セクションで有効な論理プリンタ番号を 指定している場合、本キーで指定した論理プリンタ番号 と合わせて共に有効になります。

TTFFOLDER=PATH	: 外字フォントファイルの格納先フォルダを記述します。
TTFNAMEM=FILENAME	: 明朝体の外字フォントファイル名を指定します。
TTFNAMEG=FILENAME2	: ゴシック体の外字フォントファイル名を指定します。
TTFAREA=AREA	: 登録する外字フォントの有効範囲を指定します。
A :	UNICODE全範囲[0xE000~0xF8FF](デフォルト)
J :	JEF拡張文字登録範囲[0xF1F0~0xF84F]を除く範囲

設定例

ļ	
	;;[COMINFO]
	;;TRCGET=1
	;;TRCSIZE=512
	;;TRCDIR=
	;;OUTPUT=1
	;;OUTPUTSIZE=512
	;;OUTPUTDIR= [192.168.1.10]
	;;PORTNUM=9313
	TTFFOLDER=C:¥Temp
	TTFNAME=MINCYOU. TTE
	TTFAREA=A
	$[192.\ 168.\ 1.\ 10:1,\ 3,\ 5,\ 7]$
	;;PORTNUM=9313
	TTFFOLDER=C:\Temp
	TTFNAME=MINCYOU2. TTE
	TTFAREA=A
	[192. 168. 1. 10:1-3, 5-8]
	;;PORTNUM=9313
	TTFFOLDER=C:¥Temp
	TTFNAME=MINCYOU3. TTE
	TTFAREA=A

付4.3.3 登録コマンドにより外字フォントをプリンタ装置へ登録

コマンド起動パラメタは「付4.4 コマンド起動形式」で説明します。

付4.4 コマンド起動形式

```
F5EQTFLD. EXE [-a コマンド処理モード] -d 登録情報定義ファイルパス [-e 動作モード] []は省略可能。
[コマンドパラメタ]

a コマンド処理モード : 対話型かバッチ型かを指定する。
1 : メッセージBOXで処理結果を通知する (デフォルト)。
2 : メッセージBOXで処理結果を通知しない。

-d 登録情報定義ファイルパス : 登録情報定義ファイル名パス

(フルパス)を指定する。
-e 動作指定モード : コマンド動作モードを指定する。
1 : 登録済みの外字フォントの確認をする (デフォルト)。
2 : 外字フォントを登録する。
3 : 登録済みの外字フォントを削除する。

(例) F5EQTFLD. exe -a 1 -d c:¥temp¥F5EQTFLD. inf -e 1
```

付4.5 メッセージー覧

登録コマンドが対話型処理モード時に表示するメッセージです。

付4.5.1 登録動作時に表示するメッセージ

対話型動作時、以下のメッセージが出力されます。 注)メッセージボックスの内容は表示例です。

- 登録確認メッセージ

F5EQTFL	.D.EXE 🔀
?	ブリンタ装置へ指定の外字フォントを登録します。 【ブリンタ装置】 アドレス = 172.27.176.221 論理ブリンタ = 1 【フォント】 明朝体フォント = testfont.tte
	はい:登録する いいえ:登録しない
	<u>(ばい空)</u> いいえ(N)

- 登録完了メッセージ(例)

F5EQTFL	D.EXE	x
į	ブリンタ装置へ外字フォントを登録しました 【ブリンタ装置】 アドレス = 172.27.176.221 論理プリンタ = 1	50
	ŎK.	

- 付4.5.2 削除動作時に表示するメッセージ
 - 削除動作時

F5EQTFL	.D.EXE 🔀
?	ブリンタ装置には以下の外字フォントが登録されています。 【ブリンタ装置】 アドレス = 172.27.176.221 論理ブリンタ = 1 【フォント】 明朝体フォント = testfont.tte
	プリンタ装置から登録済みの外字フォントを削除します。
	はい:削除する いいえ:削除しない
	(北い文型) いいえ(N)

- 削除完了時



付4.5.3 確認動作時に表示するメッセージ

- 登録確認メッセージ



- 登録済みフォントが存在しない場合



付4.5.4 その他のメッセージ

- プリンタ装置アクセスでエラー発生時



詳細情報 = ステータス-エラー詳細を表示します。 ステータス一覧は以下のとおりです。

20010000	:	ストップ状態またはカバーオープン
20010100	:	用紙なし
20010200	:	カセット関連エラー
20010400	:	スタッカフル
20010500	:	トナーなし
20010600	:	カバーオープンまたは搬送系異常
20010800	:	用紙づまり
20010900	:	用紙エラー
20020000	:	ハードエラー
20030000	:	パラメタエラー
20030100	:	未定義コマンド受診
20030200	:	コマンドヘッダエラー
20030300	:	コマンドシーケンスエラー
20030400	:	データチェックエラー
20040000	:	プリンタ装置獲得エラー
20040100	:	ユニットアテンション
20050000	:	プリンタ装置が他で使用中(プリンタビジー)
20070000	:	オペレータコール系エラー発生
20080000	:	インタロック系エラー発生
30000004	:	電源断、通信異常

付録4 外字登録(TrueType)ツールのご紹介

付録5 PrintWalker/LXEのご紹介

付5.1 PrintWalker/LXEの概要

付5.1.1 概要

PrintWalker/LXEは、LinuxシステムからLAN(Ethernet TCP/IP)接続されたVSP4530Bプリンタ装置の 印刷制御を行うソフトウェア製品です。

PrintWalker/LXEは、弊社ホームページよりダウンロードできます。

付5.1.2 機能

- 操作性
 - 用紙づまりや用紙なしなどが発生した場合、PrintWalker/LXEはアラート機能により、詳細 なメッセージを操作端末上に表示し、プリンタ装置側の処置だけで、異常が発生したペー ジから再印刷を行います。(ページリカバリ)
 - PrintWalker/LXEのアラート機能では、印刷中に異常が発生したジョブの削除を指定することが可能です。
 - バナーページの排紙口指定が可能です。バナーページに色紙などを使用することで、仕分けが簡単になります。
 - VSPシリーズは、他の弊社サーバ(GS/PRIMEFORCE、PRIMEPOWER、SPARC Enterprise、S series、 PRIMEQUEST、PRIMERGY6000、PRIMERGY)、またはパソコン(FMVシリーズ)プリンタとして共用 が可能です。
- 2) NetCOBOLシリーズとMeftとの連携
 - 本ソフトウェアは、NetCOBOLシリーズとMeftとの連携印刷が可能です。フォームオーバレ イ印刷、バーコード(カスタマコードを含む)印刷、用紙コードの指定、給紙口指定、用紙 サイズ指定等、きめ細やかな印刷制御が可能です。
- 3) サポートデータ形式

PrintWalker/LXEからVSP4530B装置などのカット紙プリンタや連続紙プリンタへの印刷で使用 できるデータ形式は、以下のとおりです。

- MeftまたはFNP出力可能なアプリケーション
- simple出力
- cobol(UVPI)

また、VSPシリーズのインパクトラインプリンタや多目的プリンタでは、以下のデータ形式をサ ポートしています。

- SIA形式出力するアプリケーション
- simple出力
- cobol(UVPI)

付5.2 動作環境

PrintWalker/LXEは、以下の動作環境で動作するソフトウェアです。

(1) サポートOS

- Red Hat Enterprise Linux AS (v.3 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v. 4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)

(2) 対応印刷システム

- CUPS 1.1.17以降を対象
- (3) 必須ソフトウェア
 - Interstage Charaset Manager Standard Edition Agent V6.0以上 ただし、OSが下記の場合は、
 Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)
 Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)
 - Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V9.1.1以上

付5.3 システム構成



注1)標準コード変換は、Interstage Charset Managerに含まれており、別途購入していただくこ とが必要です。

付5.4 留意事項

- PrintWalker/LXEでは、Interstage CharsetManager Standard Edition Agentは必須製品ですので、必ず購入してください。
- (2) 本製品には環境ファイルが1個ありますが、環境ファイルを変更しているときのみメジャーアップ時にその退避/復元が必要です。
- (3) KOL5,6オーバレイのサポートには、いくつかの制限があります。詳細については、本製品のオ ンラインマニュアルを参照してください。
- (4) 直打ち印刷(イミデート印刷)は、未サポートです。
- (5) PrintWalker/LXEは、1サーバ(プリントサーバ)におけるプリンタ接続台数の制限を設けており ません。ただし、印刷性能など十分考慮し、接続するプリンタ台数など運用システムの構築を 行ってください。
- (6) PrintWalker/LXEでの印刷時、プリンタ装置側の設定は、 "サポートサーバ"をBSNPSに設定 "エミュレーション"をFMに設定 してください。
- (7) 印刷中にサーバ側のプリンタ定義の変更を行わないでください。印字完了後に設定変更を行ってください。
- (8) 本ソフトウェアをご使用になる場合は、「Support Desk Product」の契約をお願いします。

付録6 リクエスタ未接続モード立ち上げ

付6.1 リクエスタ未接続モード

リクエスタ接続の論理プリンタ(サポートサーバが PrintWalker/PM、またはlpdの 66XXエミュレーション)において、リクエスタが未接続の場合、他の論理プリンタに割り付いている エミュレーションを有効にするモードです。このモードではリクエスタ接続の論理プリンタは無効とな り印刷不可ですが、他の論理プリンタに割り付いているエミュレーションの印刷は可能となります。

付6.2 立ち上げ方法

電源投入時に、「リセット」キーと「セット」キーを押下しながら、電源を投入します。 キー押下は「INITIALIZING」表示が「リクエスタ未接続モード」表示に変わるまで必要です。



[「]一」はリクエスタ未接続の論理プリンタ

付6.3 解除方法

リクエスタ未接続モードを解除するには、装置の再立ち上げを行ってください。

付6.4 リクエスタ未接続モードでの注意事項

- (1) リクエスタ未接続の論理プリンタはパネル上「一」で表示されます。
- (2) リクエスタ未接続モードでは、「セレクト」キー押下による、リクエスタ接続のプリンタ画面は表示されません(リクエスタ接続以外のプリンタ画面は表示されます)。
- (3) リクエスタ未接続モードでは、共通セットアップおよび各論理プリンタセットアップはできません。
- (4) リクエスタ接続の論理プリンタのみ割り付いている場合は、リクエスタ未接続モードの立ち上げは無 効であり、通常モードで立ち上がります。
- (5) リクエスタ接続の論理プリンタが存在しない場合は、リクエスタ未接続モード立ち上げは無効であり、 通常モードで立ち上がります。
- (6) リクエスタ未接続モードでの立ち上げ後、電源を再投入し通常モードで立ち上げた場合は、リクエス タ未接続モード立ち上げ前の論理プリンタ設定となります。
- (7) リクエスタ未接続モードでは、PrintWalker/FTとの接続はできません(PrintWalker/RS_Lightとの接続は可能です)。

付録7 6680-NMC未接続モード立ち上げ

付7.1 6680-NMC未接続モード

6680-NMC未接続モードは、サポートサーバが「6680-NMC」に設定されている論理プリンタを無効として起動 するモードです。

本モード起動時は、同時にリクエスタ未接続モードも起動となります。(リクエスタ接続プリンタも無効とな ります)。

本モードは、6680-NMC接続/リクエスタ接続以外の論理プリンタから資源ロードを実施する場合に使用する モードです。(ただし、実際は資源ロードだけでなく、印刷も可能です)

サポートサーバ= "6680-NMC"の論理プリンタが定義されている場合(すなわち、HOST PRINT</VSPサービス> で利用する論理プリンタを含む場合)、自動的に "6680-NMC優先状態"となり、他の論理プリンタへの各種コマ ンドにはBusyが応答されます。

後述の各コマンド/ツールは、装置からのBusy応答にて処理を中断することから、"6680-NMC優先状態"では 正しく動作しません。このような場合、本装置を6680-NMC未接続モードで起動してからコマンド/ツールを実 行してください。

6680-NMC優先状態で正常に動作しないコマンドには以下のようなものがあります。

<PRIMERGY 6000>

- CGパターンの一括ダウンロードコマンド (SNDCG)
- オーバレイの一括ダウンロードコマンド (SNDOVLP)
- リモート電源切断コマンド (POFFPRT, POWEROFF, CANALJOB)

<Unix(Solaris)サーバ>

- 66XXのCGプレロードコマンド (stupfont)
- 66XXのOVLプレロードコマンド (stupovly)
- FNP外字登録コマンド (stupttf)

<Windowsサーバ>

- 外字登録ツール (F5EQTFLD. exe)

付7.2 立ち上げ方法

電源投入時に、「セット」キーと「下」キー(▽キー)を押下しながら、電源を投入します。 キー押下は「INITIALIZING」表示が「6680-NMC未接続モード」表示に変わるまで必要です。



「-」は6680-NMCおよびリクエスタ未接続の論理プリンタ

付7.3 解除方法

6680-NMC未接続モードを解除するには、装置の再立ち上げを行ってください。

付7.4 6680-NMC未接続モードでの注意事項

- (1) 6680-NMCおよびリクエスタ未接続の論理プリンタはパネル上「-」で表示されます。
- (2) 6680-NMC未接続モードでは、「セレクト」キー押下により、6680-NMC接続のプリンタ画面およびリクエ スタ接続のプリンタ画面は表示されません(それ以外のプリンタ画面は表示されます)。
- (3) 6680-NMC未接続モードでは、共通セットアップおよび各論理プリンタセットアップはできません。
- (4) リクエスタ接続の論理プリンタのみ割り付いている場合は、リクエスタ未接続モードの立ち上げは無効であり、通常モードで立ち上がります。
- (5) 以下のケースでは6680-NMC未接続モードの立ち上げは無効であり、通常モードで立ち上がります。
 - ・6680-NMC接続の論理プリンタのみ割り付いている場合
 - ・リクエスタ接続の論理プリンタのみ割り付いている場合
 - ・6680-NMC接続とリクエスタ接続の2つの論理プリンタのみ割り付いている場合
- (6) 6680-NMC接続プリンタがなく、リクエスタ接続プリンタとその他のプリンタが定義されている場合は、 リクエスタ未接続モードと同様の動作となります(リクエスタ接続プリンタが無効となります)。
- (7) 6680-NMC接続、リクエスタ接続の論理プリンタがいずれも定義されていない場合は、6680-NMC未接続 モード立ち上げは無効であり、通常モードで立ち上がります。
- (8) 6680-NMC未接続モードでの立ち上げ後、電源を再投入し通常モードで立ち上げた場合は、6680-NMC未 接続モード立ち上げ前の論理プリンタ設定となります。
- (9) 6680-NMC未接続モードでは、PrintWalker/FTとの接続はできません(PrintWalker/RS_Lightとの接続 は可能です)。

付録8 綴じ方向揃えについて

本機能は、綴じ方向が固定の用紙(穴あき用紙/プレプリント用紙)を使用した混在出力時の印刷方向を制御し、綴じ方向を揃える機能です。

本機能により、印刷方向(ポート/ランド)ごと、両面/片面ごとに用紙セット方向を変更する必要がなくな ります。

ただし、ポートレート出力においては「左綴じ」、ランドスケープ出力においては「上綴じ」のみ考慮するもので、すべての綴じ方向について対応する機能ではありません。 また、対応するエミュレーションは、「FM/FNP」および「69xx」であり、66xxでは機能しません。

本機能をご使用の場合は、上記内容と用紙セット方向をご確認の上、ご利用ください。

〔機 能〕

- ポートレート出力/ランドスケープ出力混在時の、綴じ位置に対する印刷方向を揃える
 ※ ただし、手差しトレイからの給紙は未対応
- 2.片面出力/両面出力混在時の、綴じ位置に対する印刷方向を揃える※ ただし、手差しトレイからの給紙は未対応

【FM/FNPエミュレーション 綴じ方向揃え仕様】

注意1:ENPエミュレーションにおいては、手差しトレイからの絡紙も可能(プリンタドライバからの印刷時のみ)ですが、本機能では未対応となっております。 よって、手差しトレイから絡紙された用紙に対しては、綴じ揃え機能に関する動作保証はいたしませんので注意願います。

【片面印刷】



下図は、本体トレイに排出された用紙の状態を、 装置正面に立ち、真上から見た場合 を示します。 文字列となれ、印刷価における印刷開開方向を示します。 - メニョーは、10m価に出たりは自動力を示します。			ランド下 綴じ	◆ - つ86 (重:/vv]目)	ABC - → ≘,
		向揃え∶有 効	い畿エュイト	(表:1/>'目) VBC - →	ABC - → ≘ = :: :: :::::::::::::::::::
		綴じ方	ランド右綴じ	(表: tv ⁻ ··'目) VBC - →	ABC - → □
	Jan Barris		シンド右線じ	★ - → (1.1 ⁻¹ -1)	ABC - → □
	(面の展開方向(実線の夭印) 片回		ランド下 綴じ	(表: h ¹ シ ⁻ 目) VBC - →	ABC - → 澱
) ● :見える	向揃え∶無 効	い酸すすべき	VBC - → (∄:۱٬-י́-I])	ABC - → ⊛ .<
	にい面の展開方向 (点線の夭印	綴じ方	ついた右線に	(表:1^-少目) VBC - →	ABC - → ⊛ .<
	▼ : 見えな		ランド左綴じ	(表: I^、-ジ目) VBC - →	ABC - → ∰ .< 1
-		カセットへの用紙セット方向	(装置止面に立ち、 真上から見た場合)	* 印刷谷村る面	* 8月 8月 8月 8月 8月 9日 8月 8月 8月 9日 8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月
-		送り方向		短辺送り (A4,A5,B5,LT)	馬辺送り (A3, B4)

イに排出された用紙の状態を、装置正面に立ち、真上から見た場

				ランド下 綴じ	(表:1^`-シ`目) VBC - → (裏:2^`-シ`目) ・最初に印刷される面	ABC - → 戦 		
				ランド上綴じ	YBC - → (目∵-`∧1:轰) (目∵-`∧2:裏) (目∵-`^2)	(湯:: ト・・・) (湯:: ト・・・・) (湯:: ト・・・・) (湯:: ト・・・・) (湯:: ト・・・) (湯:: ト・・) (湯:: ト・) (湯:: ト・・) (湯:: ト・) (湯:: ト・) (湯:: ト・) (湯:: ト・) (湯:: ト・) (湯:: ト・) (湯:: ト・) () (湯:: ト・) () () () () () () () () () () () () ()		
						ランド右綴じ	 ← - つ組 (素:1[∧]-ジ目) (素:2[∧]-ジ目) (裏:2[∧]-ジ目) * 最初に印刷される面 	(湯: i v' ジ田 (湯: 2v' - j· 田) * 鳥のに印刷 なたる間
				ランド左綴じ	(表:1ページ目) VBC - → * 最初:50刷される面 (裏:2ページ目) →3 BY	ABC - → (※) (※) (※) (※) (※) (※) (※) (※)		
歯合 춘示します。	面の展開方向(実線の矢印)			ポート下綴じ	(歳: い・・、ヨ) (歳: い・・、ヨ) (濃: 2ペ-,、ヨ) (濃: 2ペ-,、ヨ)	(後::1^`-ゞ目) VBC - → (後:2^'-ゞ目) * 最初に印刷		
置正面に立ち、真上から見た	示します。 ●●● :見える	囤慳	綴じ方向揃え: 無効/有効	綴じ方向揃え: 無効/有効	綴じ方向揃え: 無効/有効	ポート上級じ	ABC - → (憲:1^゚-ン`目) * 康初に印刷される面 (震:2^゚-ン`目) ● BC	VBC → (目 ベー・ヘ1: 愚) (目 ビー・・・): 愚) (目 ビー・・・): 愚)
に排出された用紙の状態を、	1刷面における印刷展開方向を い面の展開方向(点線の矢印)			ポート右綴じ	(楽: 1 v ^{-,-} , 日) (楽: 1 v ^{-,-} , 日) (第: 2 v ^{-,-} , 日) (第: 2 v ^{-,-} , 日)	(表:1 ^{×-→} 目) VBC - → される面 (裏:2 ^{∧-→} 目)		
下図は、本体トレイ	文字列と矢印は、印 > 見えな			ポート左綴じ	ABC - → (表: t^.','目) (裏: 2^.','目) (裏: 2^.','目)	← - つ組A (後:1 ^{×'-',} 目) (後:2 ^{×'-',} 目) (後:2 ^{×'-',} 目) * 最初(-印刷 **16 [∞]		
			カセットへの用紙セット方向 /社墨エエニーナ+	(変量圧固に立つ、 真上から見た場合)	* #301-00月947-6 面 給級方向	* (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		
【両面印刷】			送り方向		短辺送り (A4,A5,B5,LT)	東辺 (A3. B4) (A3. B4)		

下図は、本体トレイに排出された用紙の状態を、 義置正面に立ち、真上から見た場合 を示します。 文字列と矢印法、印刷面に15はや6印刷展開方向を示します。 		「「「」「」「」「」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」	綴じ方向揃え:有効	ポート下綴じ	ABC - → 〔 ⁽ ≇: 1, , , , <u>□</u>)	(凄: i vi – vi ⊟) VBC – →
				ポート上綴じ	ABC - → (⊞::+,-,:) (≇::+	(ا≣ َ````, ABC - →
				ポート右綴じ	ABC - → (筆: 1√,-六田)	(激: rv ⁻ ->'E) VBC - →
				ポート左綴じ	ABC - → (筆: ! ン,-, Ⅲ)	(目 ڬ= ܐ (田 ܐ – ↔
	面の展開方向(実線の矢印)		織心方向揃え:無効	ポート下綴じ	ABC - → 第:1	(溃:1v ¹⁻ 2°E) VBC - →
)			ポート上綴じ	ABC - → (売, 小, ト) (田)	ABC - → (≣`(-`-`(憲)
	にい面の展開方向(点線の矢印)			ポート右綴じ	ABC - → (筆: ビーン:目)	(溃: rv`-``目) VBC - →
	► : 見えな			ポート左綴じ	ABC - → (三 ^{····} - = →	(目`\-`-`*) (1) (1)
			カセットへの用紙セット方向 / ** 澤 ェ あ ー ゥ +	√疾世エ囲によっ、 真上から見た場合)	* 印题改计 e maintaine * maintain	* 印刷やいる画 *約紙 *約 ・
-			送り方向		短辺送り (A4,A5,B5,LT)	長辺送り (A3.B4)

【69××エミュレーション 綴じ方向揃え仕様】

:1ページ目) (表:1ページ目) ランド下綴じ ABC - -> ABC [®]...→ ABC- - → ,,, (¥::-,,,, (¥::-,,,,,) (表:1ページ目) ランド上織じ VBC - -> 綴じ方向揃え:有効 ABC- - → ① (筆:12° (表:1ページ目) ランド右籤じ VBC - -> (表:1ページ目) 1 ペ―ジ目) ランド左綴じ VBC - -> **ABC--**→⊛ ---▶:見える面の展開方向(実線の矢印) 1 ^ ゚ージ 目) (表:1ページ目) ランド下綴じ 百里 VBC --> **ABC--**►∰ ABC - -+ **ABC - - ►** (表:1ページ目) ランド上織じ 綴じ方向揃え:無効 表 ABC - -+ (表:1ページ目) ランド右綴じ (表:1ページ目) 1ページ目) ランド左綴じ VBC - → **ABC--**► ∰ カセットへの用紙セット方向 (装置正面に立ち、 真上から見た場合) * 印刷される面 給紙方向 給紙方向 * 印刷される通 ⇒ ⇒ 短辺送り (A4,A5,B5,LT) 送り方向 長辺送り (A3,B4)



				レンドト織じ	(表:1^^-ジ目) VBC-→ (裏:2^^-ジ目) (裏:2^^-ジ目)	ABC-→ 級
				ランド上綴じ	YBC→ (目、-,-,: 表) (目、-,-,: 表) ABC - →	(法::-,-,-,=) ※記:2,-,-,=) ※記:2,-,-,1 (法:2,-,-,1) (法:2,-,-,1)
				ランド右綴じ	 → つ組A (康:1^->,目) (康:2^->,目) (康:2^->,目) * 最初に印刷される面 	(後:1√→田A (後:1√→二) (後:1√→二) (後:1√→二) (後:1√→二) (後:1√→二) (後:1√→二)
			:無効/有効	ランド左綴じ	(表:1 ^{ペーン} 目) VBC- → *最初に印刷される面 (表:2 ^{ペーン} 目)	ABC-→ ● (第:1 * * * * * * * * * * * * *
	場合 を示します。 展開方向 (実線の矢印)	퇻몓	綴じ方 向揃え	ポート下綴じ	(歳:1 ^{イー} ン [*] 日) → (歳:2 ^{イー} ン [*] 日) - → (濃:2 ^{ベーン} [*] 日)	(後:1∧ジ目) (後:1∧ジ目) VBC - → (漢:2∧ジ目) * 最初に印刷 よれる面
	置正面に立ち、真上から見た RLます。 			ポート上綴じ	ABC - → (表: 1 ^,1) (人) (人) (表: 2 ^,1) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人	▲BC - → (国:ベーハ1:後) (国:ベーハ1:後) (国:(マーハ5:()) (国:(マーハ5:()))
	こ排出された用紙の状態を、 は、 、 、 、 、 、 、 の の 展開方向 (点線の 矢印)			ポート右綴じ	ABC> (第:1-, ⁻ , 三) (第: 5-, ⁻ , ⁻ , 三) (第: 5-, ⁻ , ⁻ , 三) * 最初に印刷される面 *	(後:1 ^{√-→,} 目) BC - → される面 (集:2 ^{×-→,} 目) → -OBY
	下図は、本体トレイ/ 文字列と矢印は、印 - ● ▼:見えな			ポート在綴じ	ABC (溃: 1 * '-','∃) → (溃: 1 * '-','∃) (濃: 2 * '-','∃) (濃: 2 * '-','∃)	 ← - つ組A (溃:1^{×1−×})目) (濃:2^{×1−×})目) (濃:2^{×1−×})目)
			カセットへの用紙セット方向	(装直止回に立ち、 真上から見た場合)	*最初に印刷される面 給紙方向	* 849-159 86 第一 一 一 一 一 人 合
【両面印刷】			送り方向		短辺送り (A4,A5,B5,LT)	長辺送り (A3,B4)
VSP4530Bプリンタ装置 取扱説明書

2012年 6月	1版
2013年12月	2版
2015年 4月	3版

All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 2012-2015

●本書を無断で他に転載しないようにお願いします。

●本書は、改善のため予告なしに変更されることがあります。

●本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、 損害については、当社はその責を負いません。

●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

